

### 19) 一緒に夕食をたべる

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 83.7%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3~4 回」が 8.7%となっている。

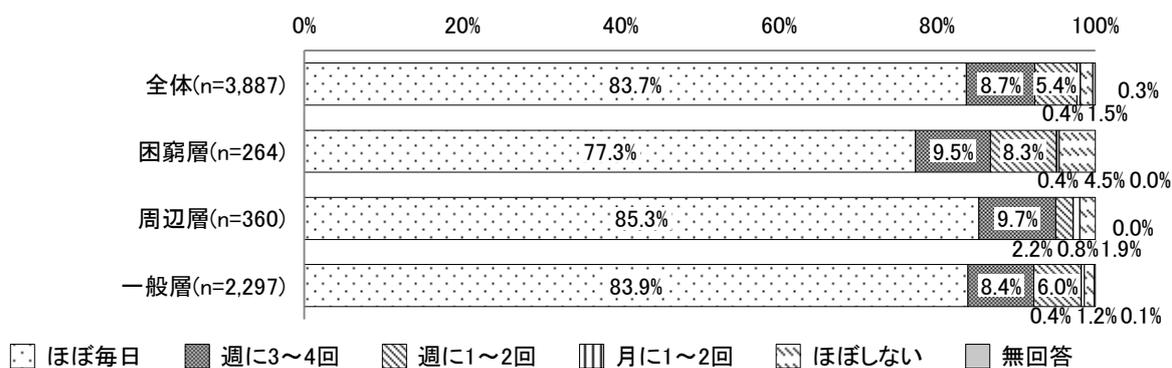
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 77.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 85.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 83.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 75.4%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3~4 回」が 12.8%となっている。

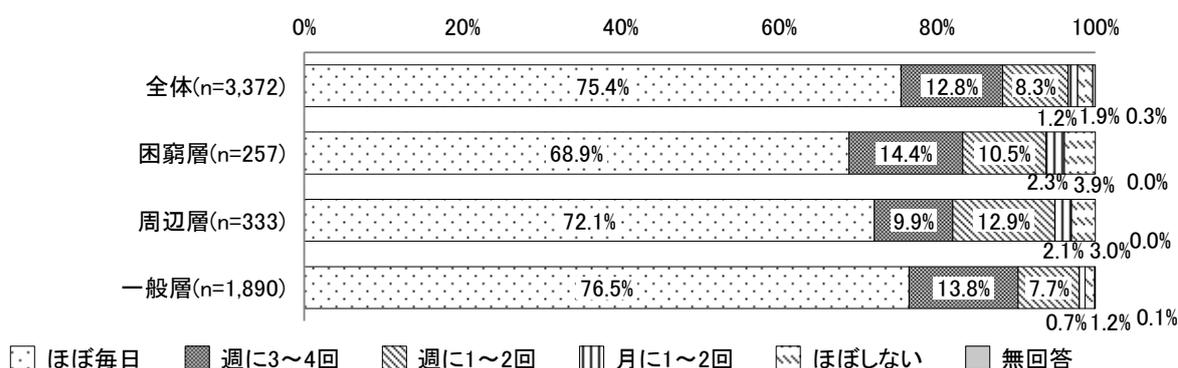
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 68.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 72.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 76.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 78 一緒に夕食をたべる：単数回答 (Q33B) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 20) 勉強をみてあげる

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 28.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 26.1%となっている。

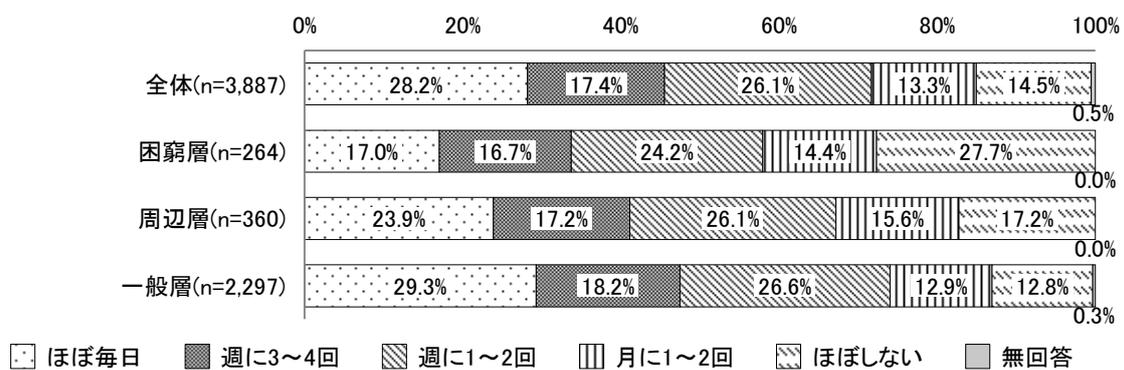
「困窮層」では、「ほぼしない」が 27.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に 1～2 回」が 26.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 29.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼしない」が 50.4%でもっとも割合が高く、次いで「月に 1～2 回」が 22.1%となっている。

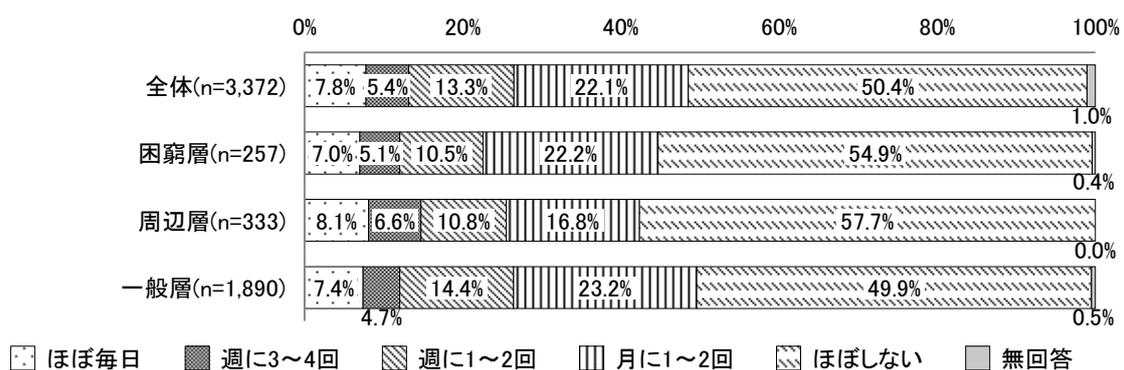
「困窮層」では、「ほぼしない」が 54.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼしない」が 57.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼしない」が 49.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 79 勉強をみてあげる：単数回答 (Q33C) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.05)



## 21) 一緒に遊んだり体を動かしたりする

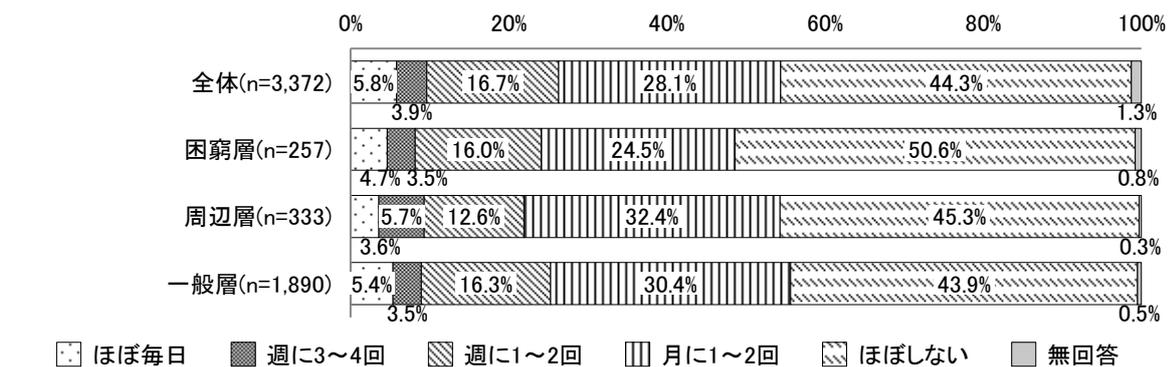
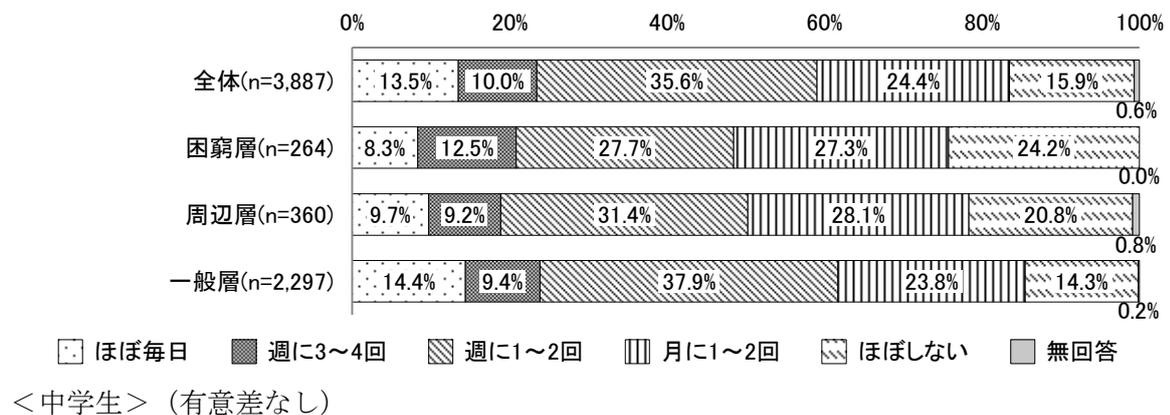
小学生の「全体」では、「週に1~2回」が35.6%でもっとも割合が高く、次いで「月に1~2回」が24.4%となっている。

「困窮層」では、「週に1~2回」が27.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に1~2回」が31.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に1~2回」が37.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼしない」が44.3%でもっとも割合が高く、次いで「月に1~2回」が28.1%となっている。

「困窮層」では、「ほぼしない」が50.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼしない」が45.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼしない」が43.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 80 一緒に遊んだり体を動かしたりする：単数回答（Q33D）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



## 22) 学校生活の話をする

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 70.9%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3~4 回」が 17.1%となっている。

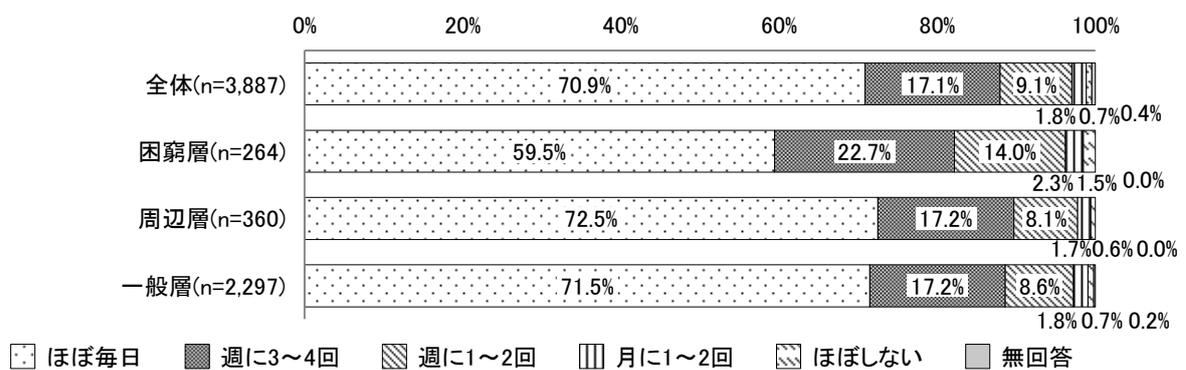
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 59.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 72.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 71.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 58.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に 3~4 回」が 19.6%となっている。

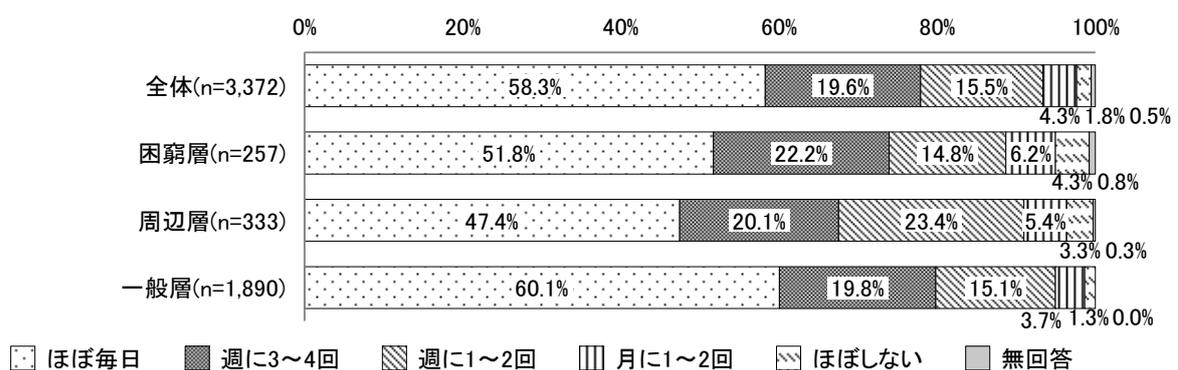
「困窮層」では、「ほぼ毎日」が 51.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 47.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 60.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 81 学校生活の話をする：単数回答（Q33E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



### 23) ニュースなどの社会のできごとについて話す

小学生の「全体」では、「ほぼ毎日」が 31.2%でもっとも割合が高く、次いで「週に 1～2 回」が 25.8%となっている。

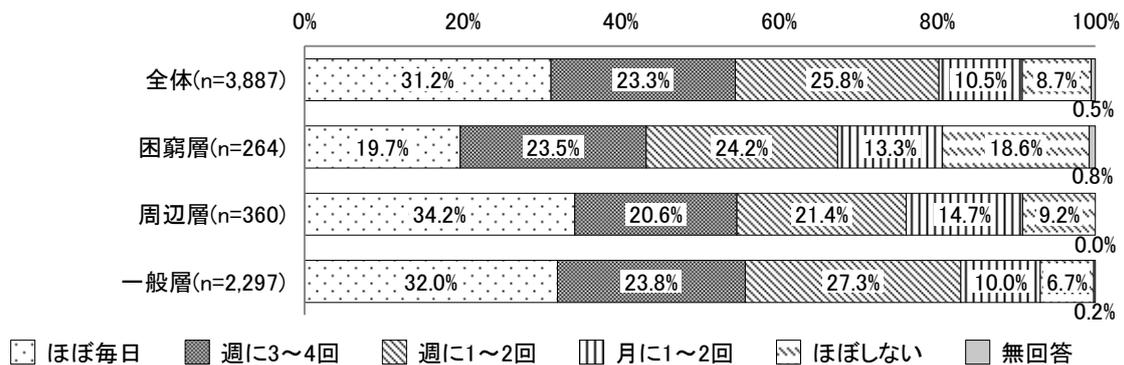
「困窮層」では、「週に 1～2 回」が 24.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼ毎日」が 34.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼ毎日」が 32.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「週に 1～2 回」が 28.6%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 27.1%となっている。

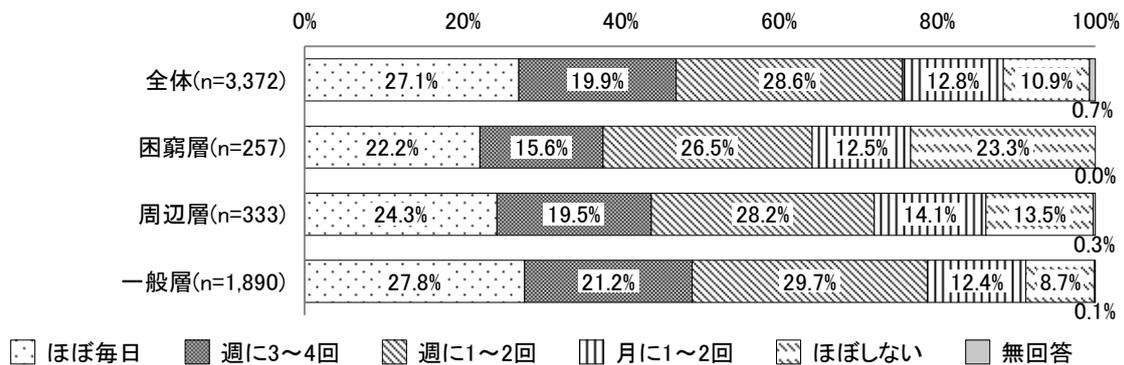
「困窮層」では、「週に 1～2 回」が 26.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に 1～2 回」が 28.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に 1～2 回」が 29.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 82 ニュースなどの社会のできごとについて話す：単数回答（Q33F）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 24) 一緒に料理をする

小学生の「全体」では、「月に1～2回」が41.8%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼしない」が30.0%となっている。

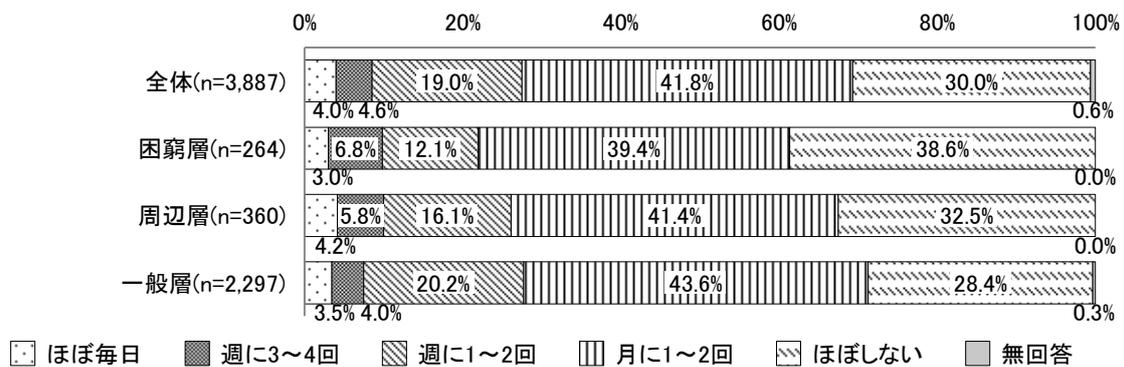
「困窮層」では、「月に1～2回」が39.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「月に1～2回」が41.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「月に1～2回」が43.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「ほぼしない」が51.2%でもっとも割合が高く、次いで「月に1～2回」が32.0%となっている。

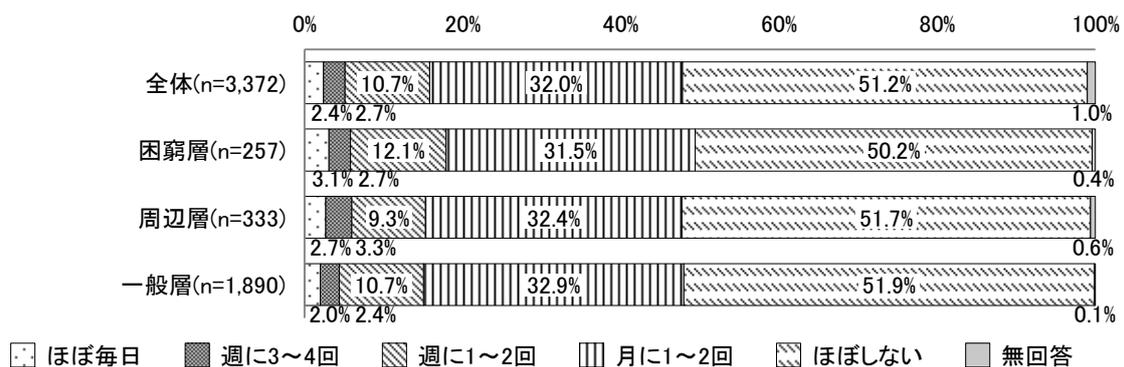
「困窮層」では、「ほぼしない」が50.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「ほぼしない」が51.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「ほぼしない」が51.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 83 一緒に料理をする：単数回答 (Q33G) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (有意差なし)



## 25) 一緒に外出する

小学生の「全体」では、「週に1~2回」が53.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に3~4回」が15.9%となっている。

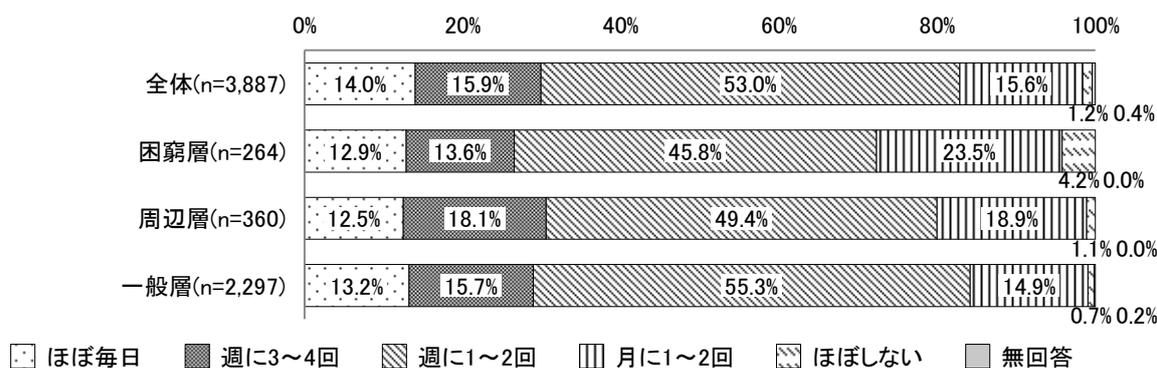
「困窮層」では、「週に1~2回」が45.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「週に1~2回」が49.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「週に1~2回」が55.3%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「月に1~2回」が41.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に1~2回」が38.9%となっている。

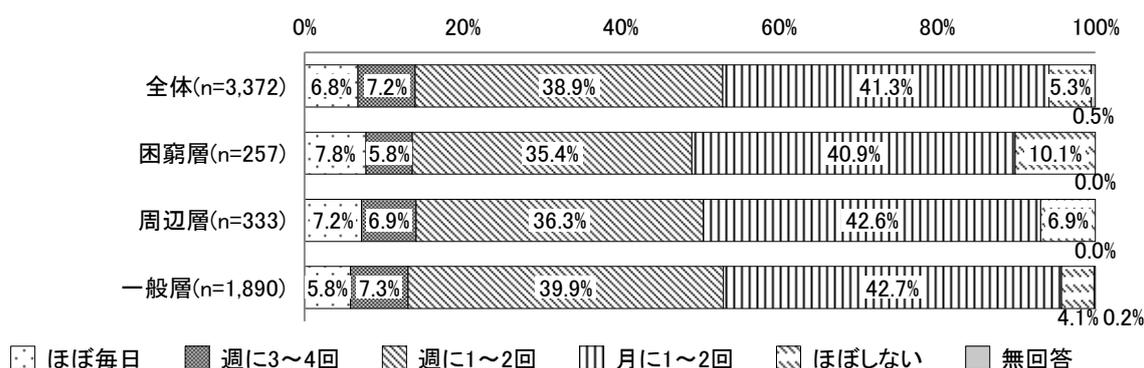
「困窮層」では、「月に1~2回」が40.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「月に1~2回」が42.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「月に1~2回」が42.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 84 一緒に外出する：単数回答（Q33H）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## (6) 新型コロナウイルス感染症の影響

### 1) コロナ流行頃の生活状況\_世帯全体の収入の変化

小学生の「全体」では、「変わらない」が 65.8%でもっとも割合が高く、次いで「減った」が 25.0%となっている。

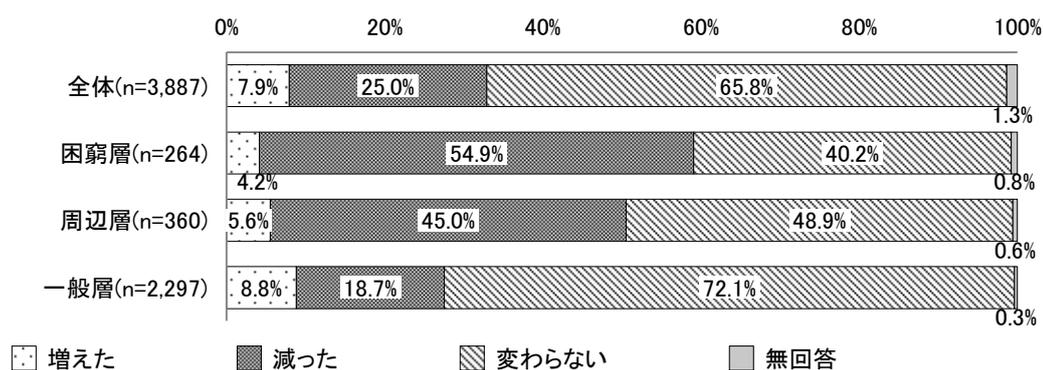
「困窮層」では、「減った」が 54.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 48.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 72.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 67.1%でもっとも割合が高く、次いで「減った」が 24.9%となっている。

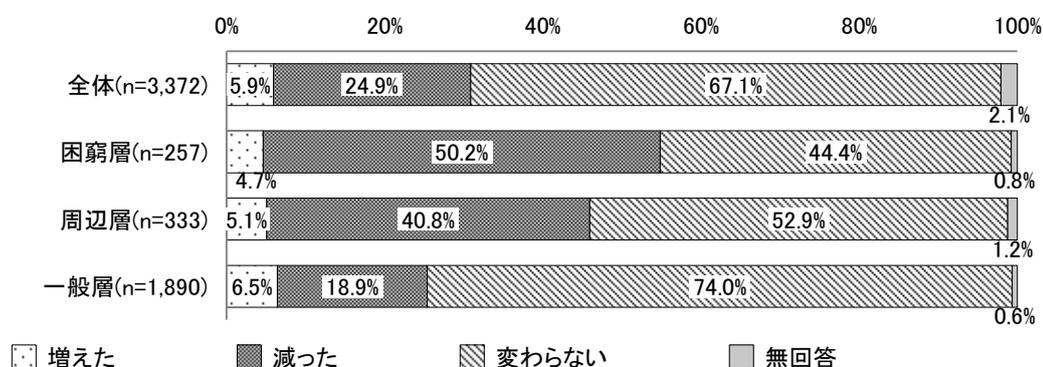
「困窮層」では、「減った」が 50.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 52.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 74.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 85 コロナ流行頃の生活状況\_世帯全体の収入の変化：単数回答（Q34A）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 2) コロナ流行頃の生活状況\_生活に必要な支出の変化

小学生の「全体」では、「変わらない」が 45.6%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 43.7%となっている。

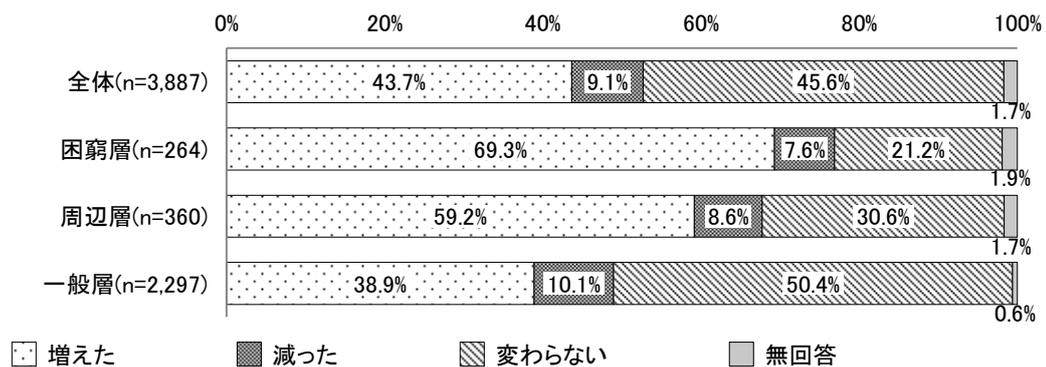
「困窮層」では、「増えた」が 69.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「増えた」が 59.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 50.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「増えた」が 44.8%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が 43.5%となっている。

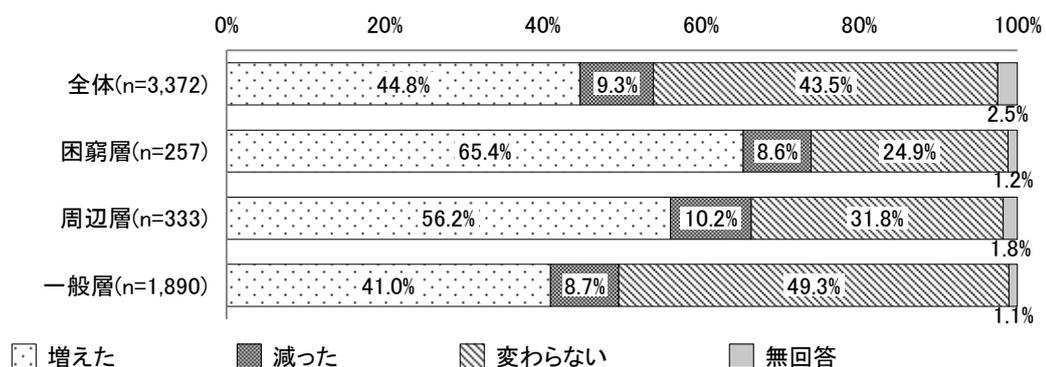
「困窮層」では、「増えた」が 65.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「増えた」が 56.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 49.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 86 コロナ流行頃の生活状況\_生活に必要な支出の変化：単数回答（Q34B）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 3) コロナ流行頃の生活状況\_お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと

小学生の「全体」では、「変わらない」が 81.6%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 13.2%となっている。

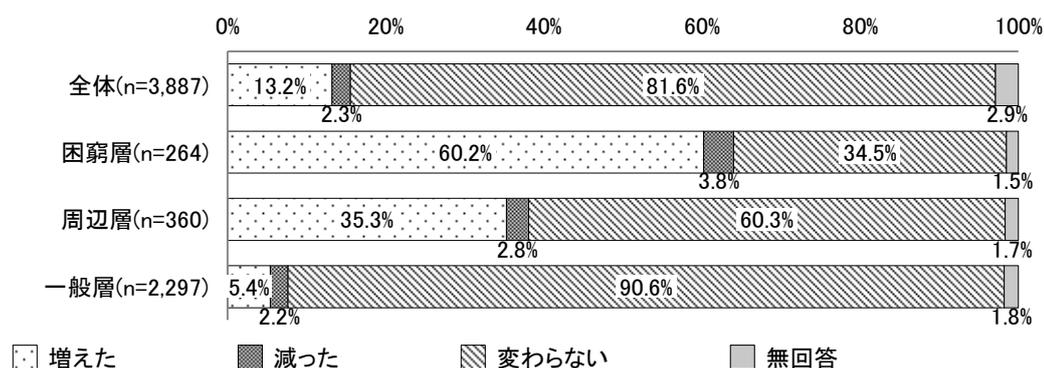
「困窮層」では、「増えた」が 60.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 60.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 90.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 82.1%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 12.2%となっている。

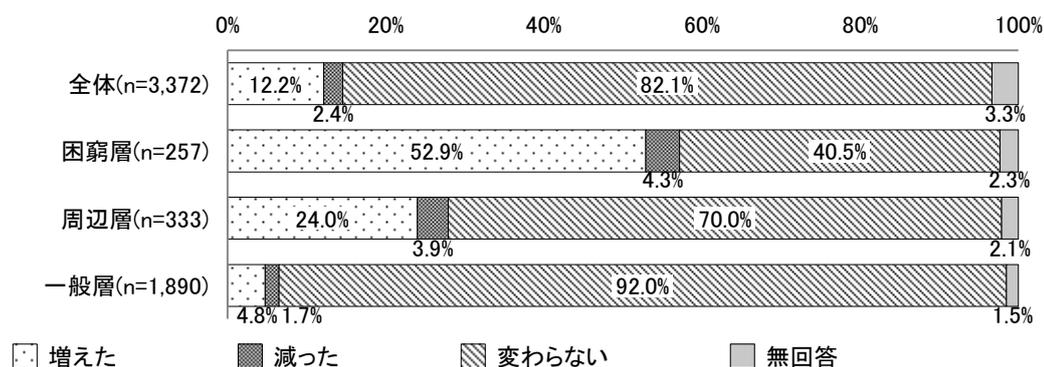
「困窮層」では、「増えた」が 52.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 70.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 92.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 87 コロナ流行頃の生活状況\_お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと：単数回答 (Q34C) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



#### 4) コロナ流行頃の生活状況\_お子さんと話をすること

小学生の「全体」では、「変わらない」が 67.2%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 28.7%となっている。

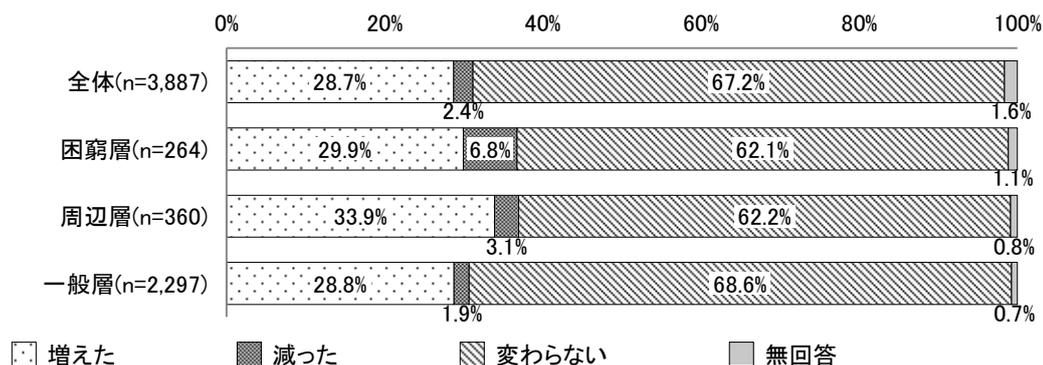
「困窮層」では、「変わらない」が 62.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 62.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 68.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 67.6%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 26.9%となっている。

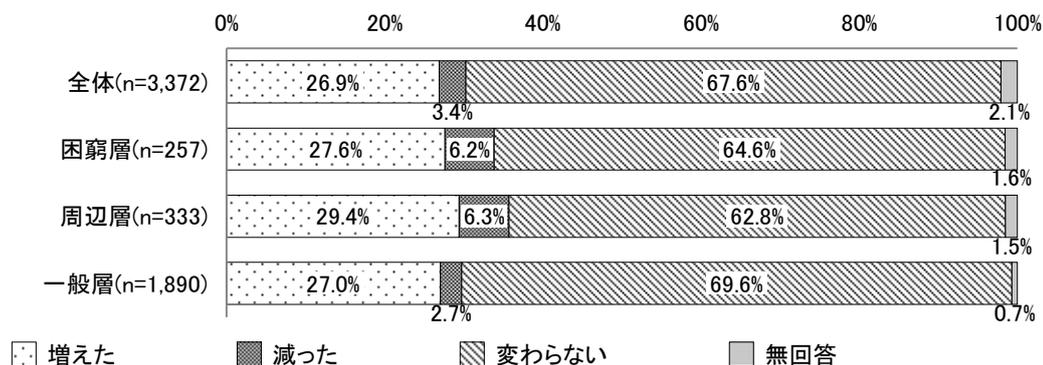
「困窮層」では、「変わらない」が 64.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 62.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 69.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 88 コロナ流行頃の生活状況\_お子さんと話をすること：単数回答（Q34D）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



5) コロナ流行頃の生活状況\_家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

小学生の「全体」では、「変わらない」が 78.2%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 16.6%となっている。

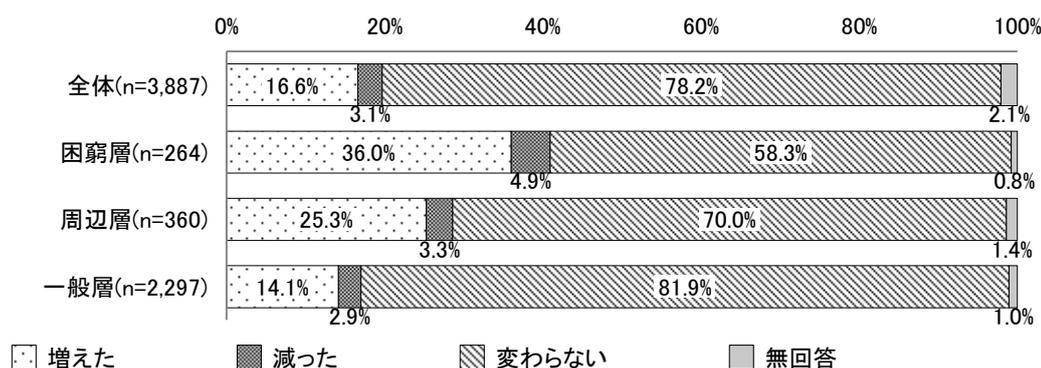
「困窮層」では、「変わらない」が 58.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 70.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 81.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 79.1%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 14.3%となっている。

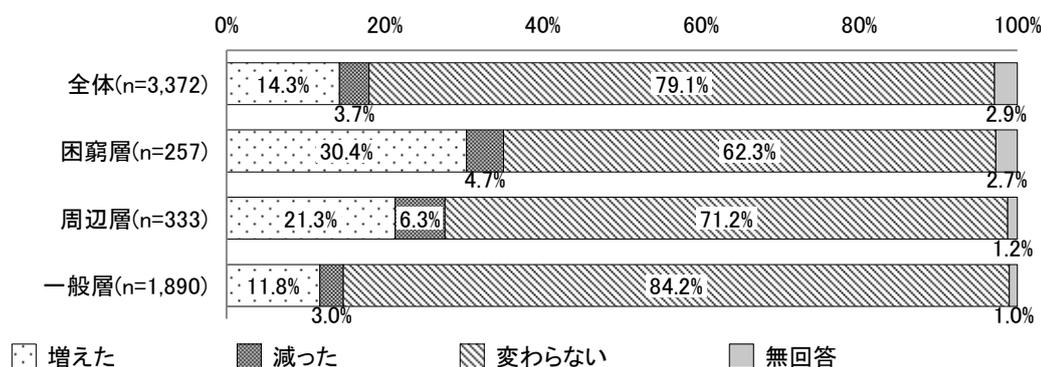
「困窮層」では、「変わらない」が 62.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 71.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 84.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 89 コロナ流行頃の生活状況\_家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること：単数回答 (Q34E) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



6) コロナ流行頃の生活状況\_あなたがイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

小学生の「全体」では、「変わらない」が 58.9%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 36.7%となっている。

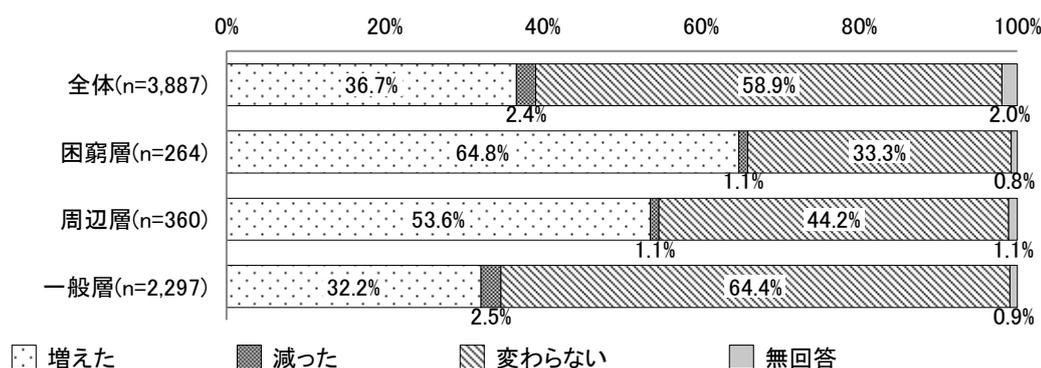
「困窮層」では、「増えた」が 64.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「増えた」が 53.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 64.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 61.7%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 33.1%となっている。

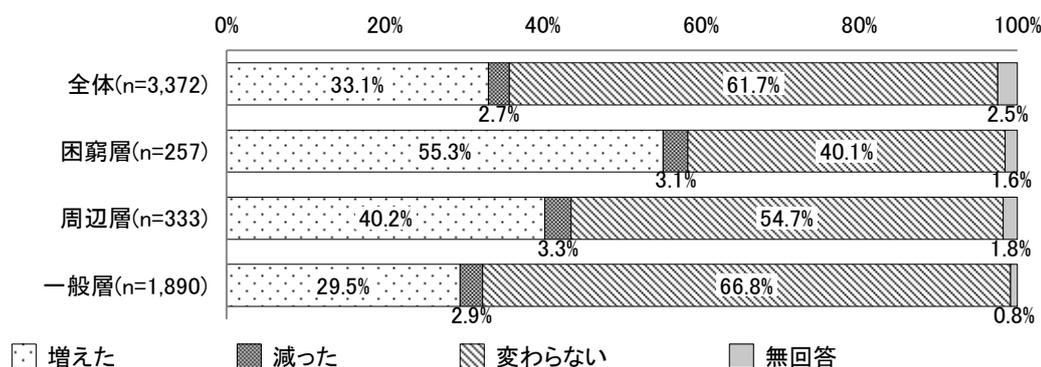
「困窮層」では、「増えた」が 55.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 54.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 66.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 90 コロナ流行頃の生活状況\_あなたがイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと：単数回答 (Q34F) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 7) コロナ流行頃の生活状況\_こども食堂やフードバンクを利用すること

小学生の「全体」では、「変わらない」が 87.0%でもっとも割合が高く、次いで「減った」が 3.0%となっている。

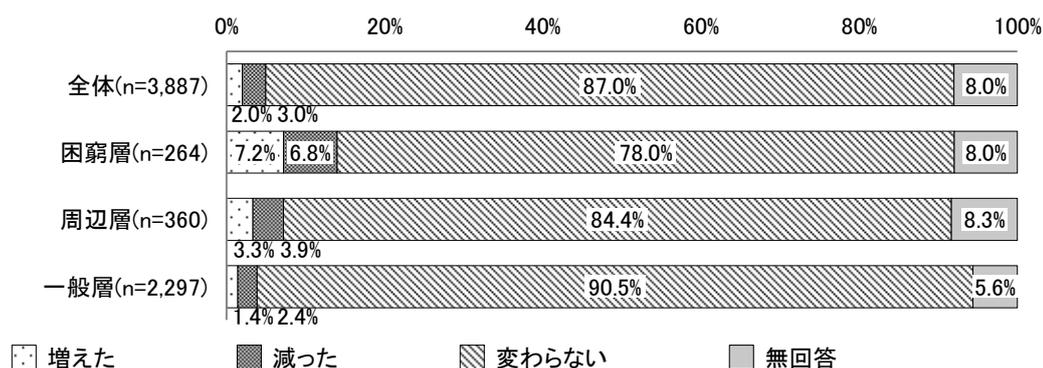
「困窮層」では、「変わらない」が 78.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 84.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 90.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 85.7%でもっとも割合が高く、次いで「減った」が 3.1%となっている。

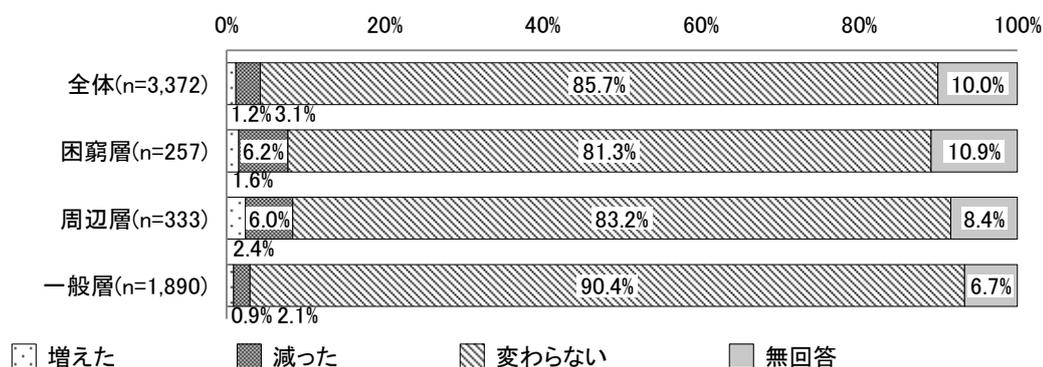
「困窮層」では、「変わらない」が 81.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 83.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 90.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 91 コロナ流行頃の生活状況\_こども食堂やフードバンクを利用すること：単数回答  
(Q34G) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 8) 現在の生活状況\_世帯全体の収入の変化

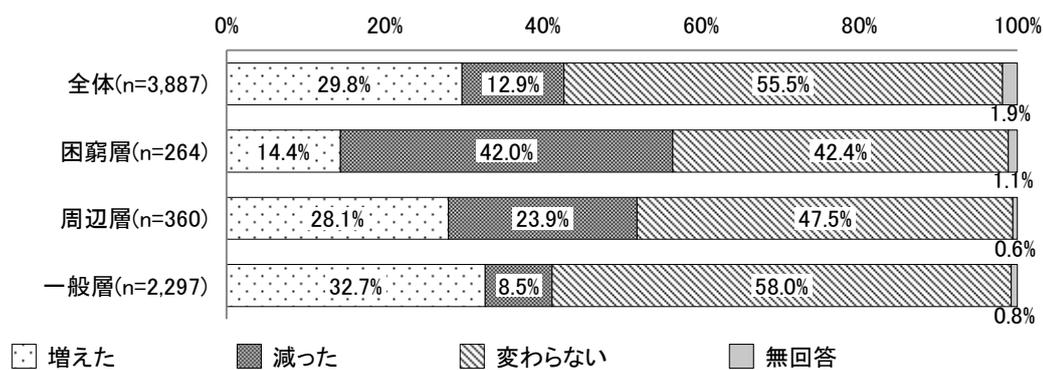
小学生の「全体」では、「変わらない」が 55.5%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 29.8%となっている。

「困窮層」では、「変わらない」が 42.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 47.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 58.0%でもっとも割合が高くなっている。

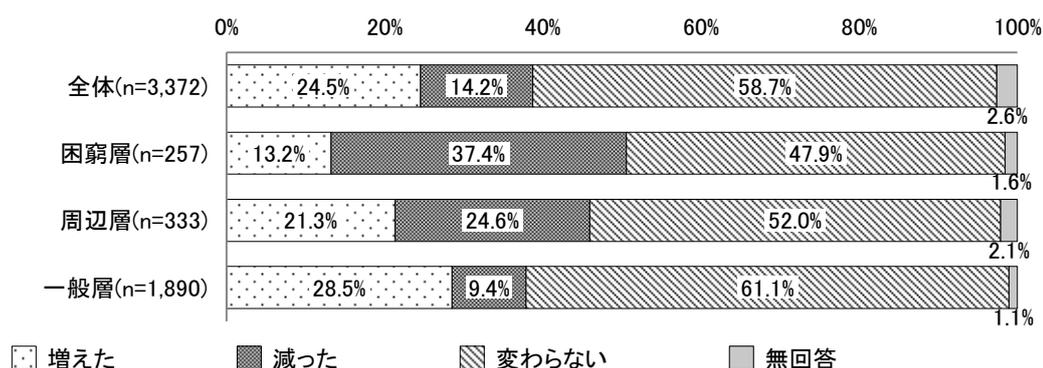
中学生の「全体」では、「変わらない」が 58.7%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 24.5%となっている。

「困窮層」では、「変わらない」が 47.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 52.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 61.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 92 現在の生活状況\_世帯全体の収入の変化：単数回答（Q35A）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 9) 現在の生活状況\_生活に必要な支出の変化

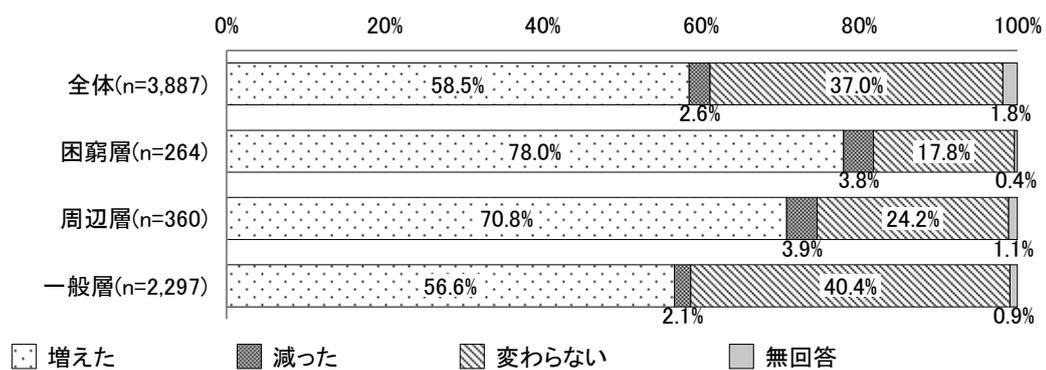
小学生の「全体」では、「増えた」が 58.5%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が 37.0%となっている。

「困窮層」では、「増えた」が 78.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「増えた」が 70.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「増えた」が 56.6%でもっとも割合が高くなっている。

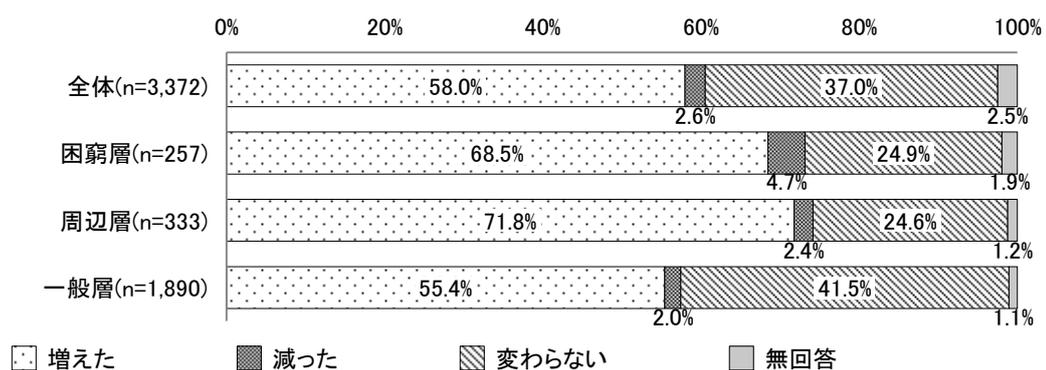
中学生の「全体」では、「増えた」が 58.0%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が 37.0%となっている。

「困窮層」では、「増えた」が 68.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「増えた」が 71.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「増えた」が 55.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 93 現在の生活状況\_生活に必要な支出の変化：単数回答（Q35B）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 10) 現在の生活状況\_お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと

小学生の「全体」では、「変わらない」が 80.1%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 13.4%となっている。

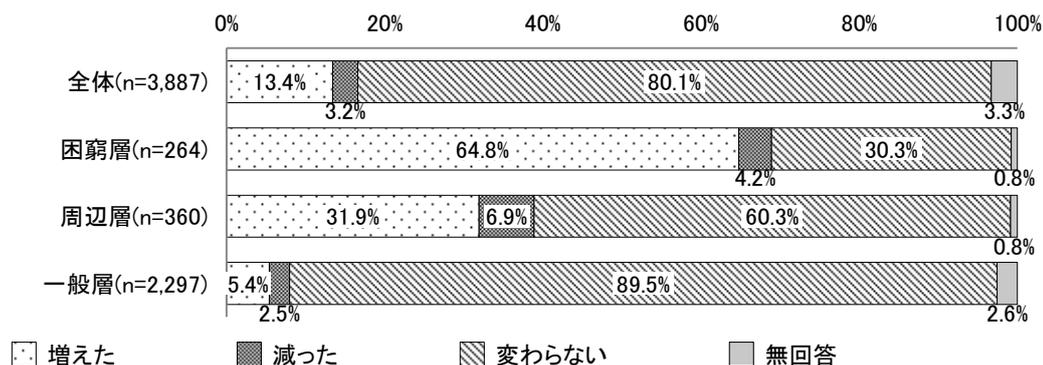
「困窮層」では、「増えた」が 64.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 60.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 89.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 80.7%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 12.5%となっている。

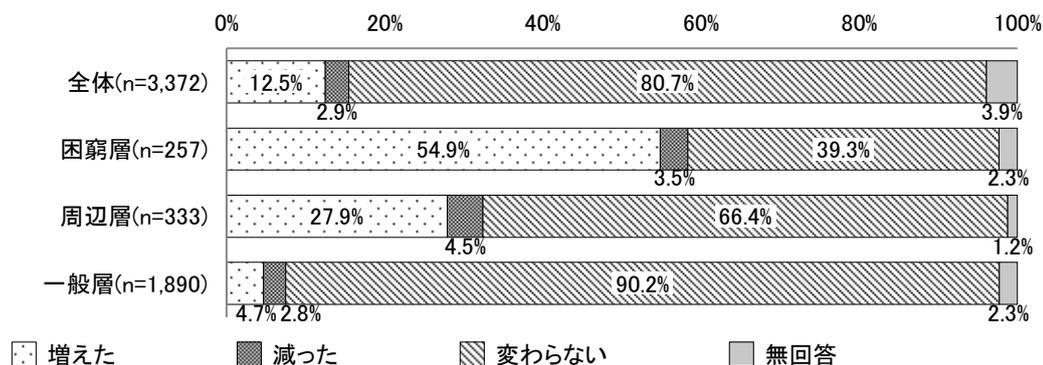
「困窮層」では、「増えた」が 54.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 66.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 90.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 94 現在の生活状況\_お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと：単数回答 (Q35C) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 11) 現在の生活状況\_お子さんと話をすること

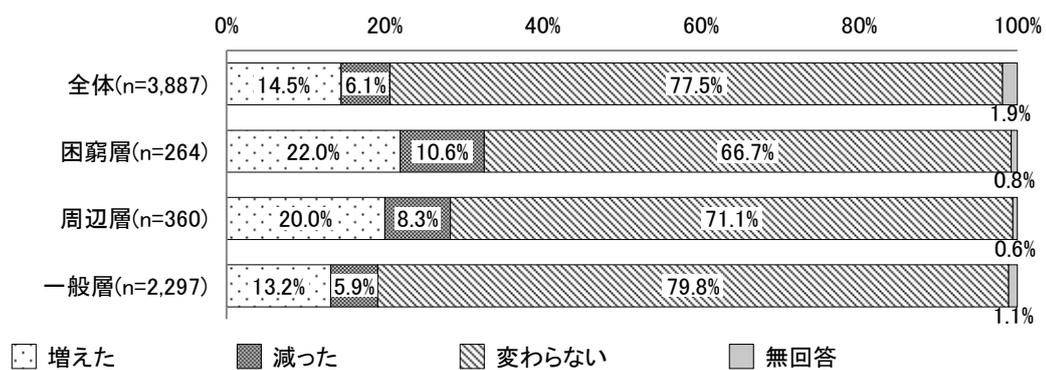
小学生の「全体」では、「変わらない」が 77.5%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 14.5%となっている。

「困窮層」では、「変わらない」が 66.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 71.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 79.8%でもっとも割合が高くなっている。

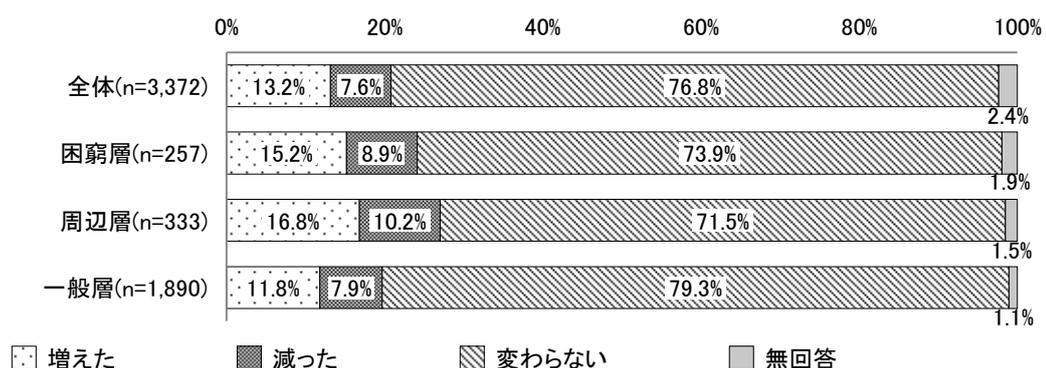
中学生の「全体」では、「変わらない」が 76.8%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 13.2%となっている。

「困窮層」では、「変わらない」が 73.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 71.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 79.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 95 現在の生活状況\_お子さんと話をすること：単数回答（Q35D）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.05)



## 12) 現在の生活状況\_家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

小学生の「全体」では、「変わらない」が 78.5%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 10.8%となっている。

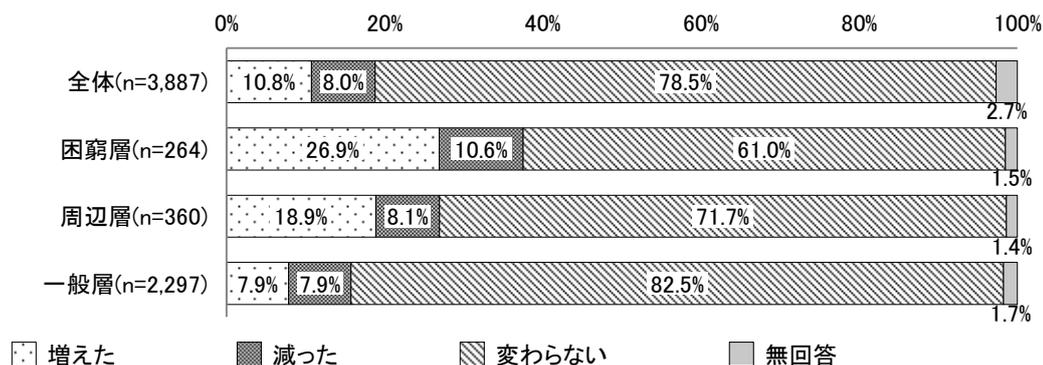
「困窮層」では、「変わらない」が 61.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 71.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 82.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 80.2%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 9.4%となっている。

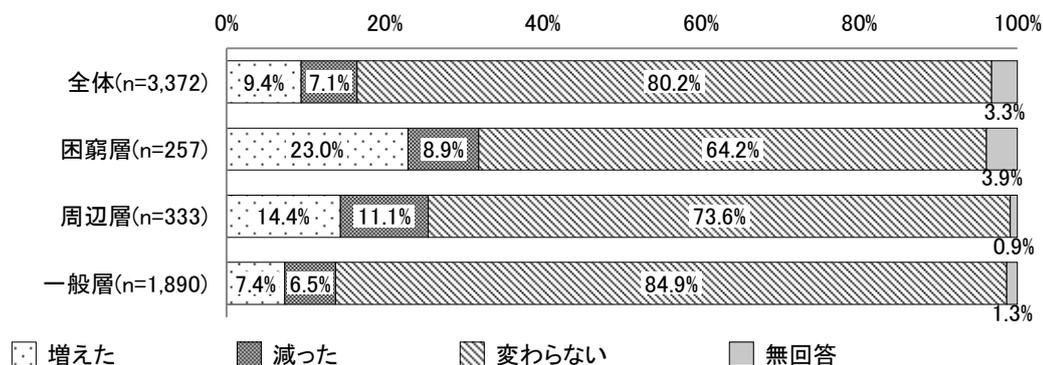
「困窮層」では、「変わらない」が 64.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 73.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 84.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 96 現在の生活状況\_家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること：単数回答 (Q35E)  
(生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 13) 現在の生活状況\_あなたがイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

小学生の「全体」では、「変わらない」が 66.5%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 19.3%となっている。

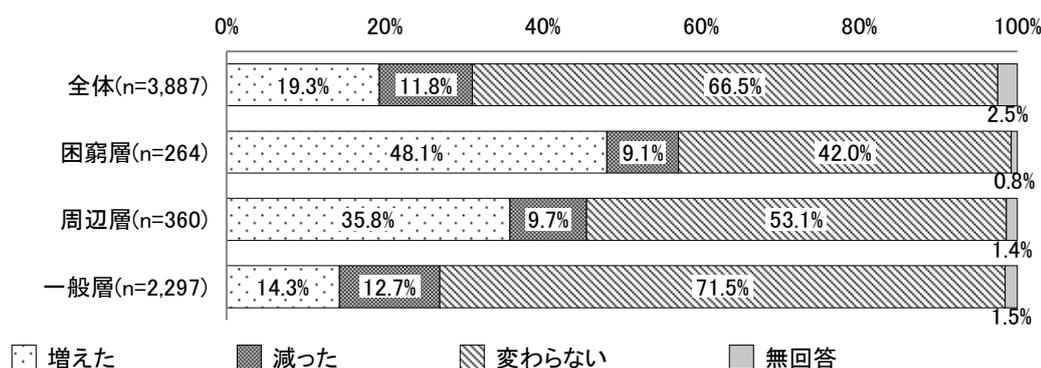
「困窮層」では、「増えた」が 48.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 53.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 71.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が 68.2%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が 18.6%となっている。

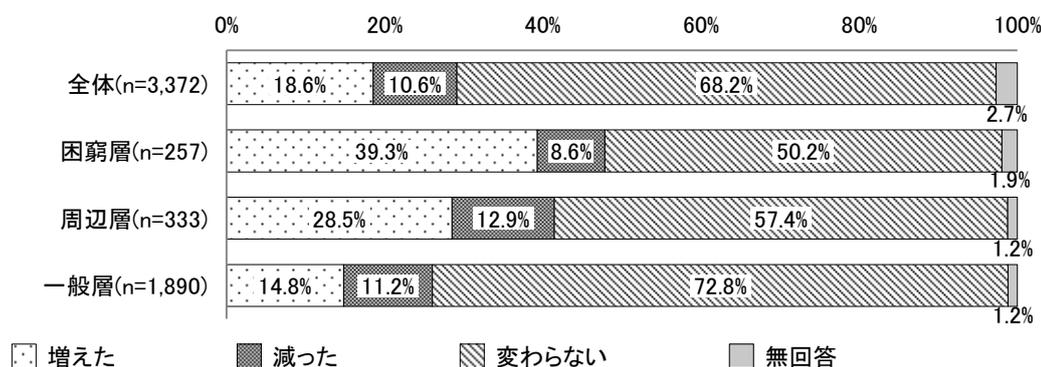
「困窮層」では、「変わらない」が 50.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が 57.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が 72.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 97 現在の生活状況\_あなたがイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと：単数回答 (Q35F) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



#### 14) 現在の生活状況\_子ども食堂やフードバンクを利用すること

小学生の「全体」では、「変わらない」が86.6%でもっとも割合が高く、次いで「増えた」が2.5%となっている。

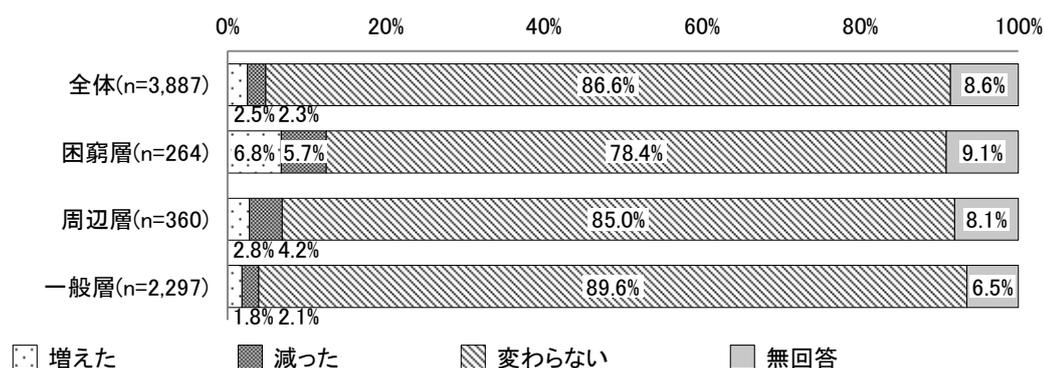
「困窮層」では、「変わらない」が78.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が85.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が89.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「変わらない」が85.9%でもっとも割合が高く、次いで「減った」が2.2%となっている。

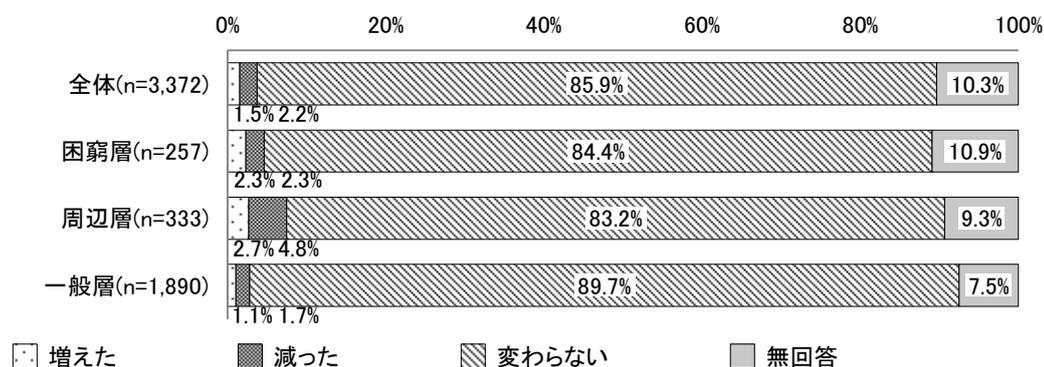
「困窮層」では、「変わらない」が84.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「変わらない」が83.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「変わらない」が89.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 98 現在の生活状況\_子ども食堂やフードバンクを利用すること：単数回答（Q35G）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



(7) 相談相手、過去の経験、自己肯定感など

1) 困ったとき等、相談できる人の有無

小学生の「全体」では、「いる」が92.4%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が7.0%となっている。

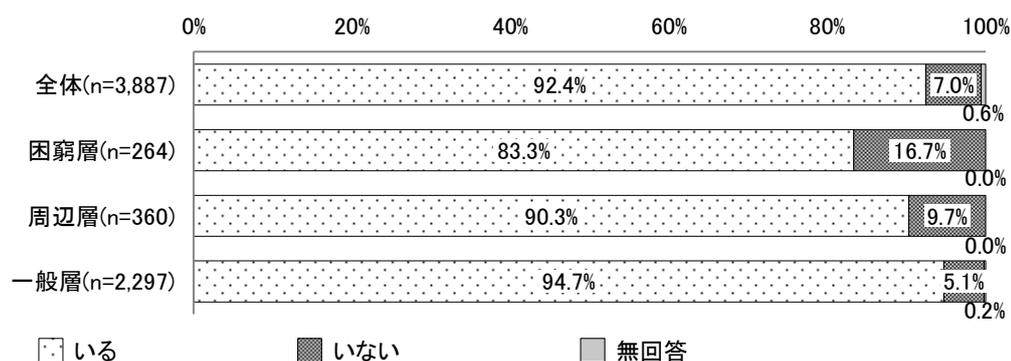
「困窮層」では、「いる」が83.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が90.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が94.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いる」が90.4%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が9.0%となっている。

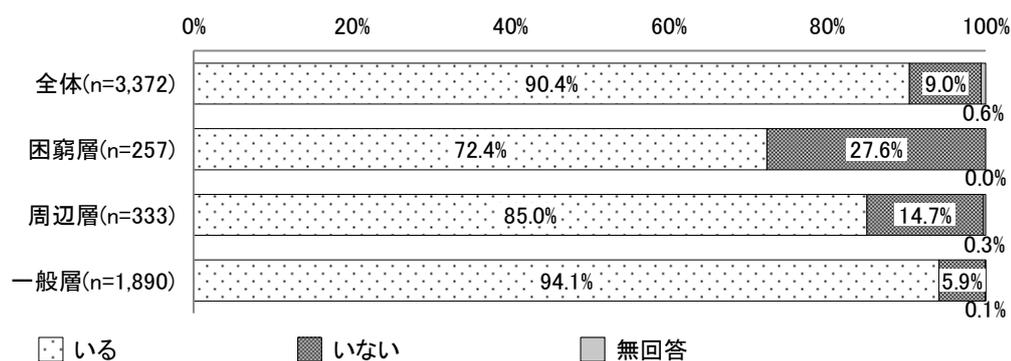
「困窮層」では、「いる」が72.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が85.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が94.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 99 困ったとき等、相談できる人の有無：単数回答（Q36）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

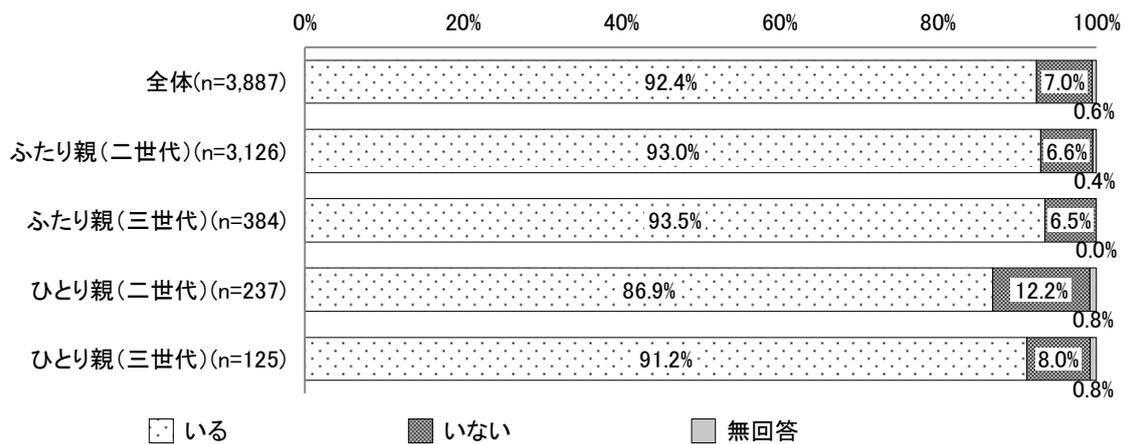


<中学生> (p<.01)

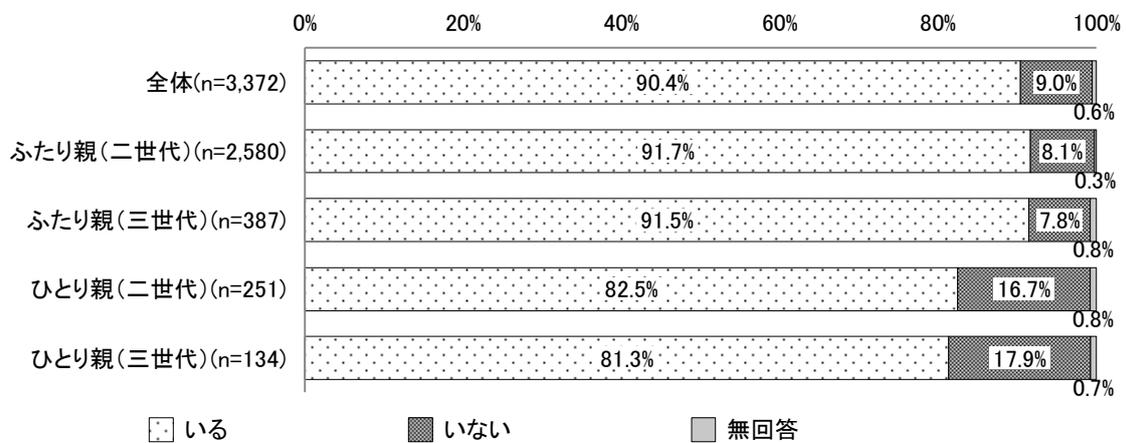


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「いない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「いない」とする割合が高くなっている。

図表 100 困ったとき等、相談できる人の有無：単数回答（Q36）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



## 2) 近隣に、挨拶や日常会話をする知人等の有無

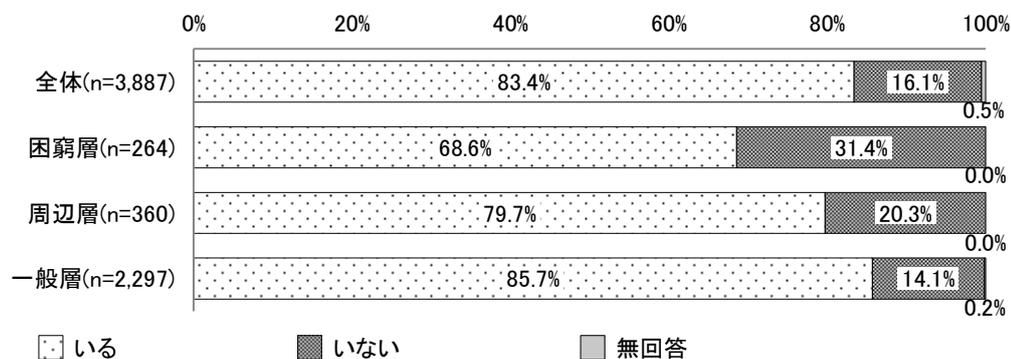
小学生の「全体」では、「いる」が83.4%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が16.1%となっている。

「困窮層」では、「いる」が68.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が79.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が85.7%でもっとも割合が高くなっている。

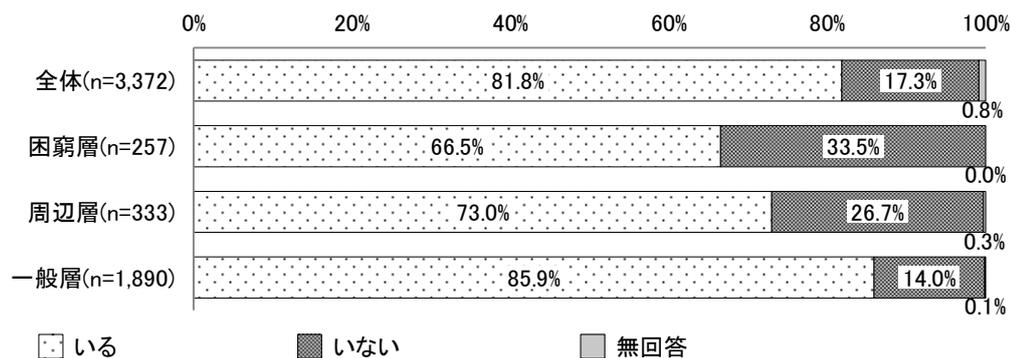
中学生の「全体」では、「いる」が81.8%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が17.3%となっている。

「困窮層」では、「いる」が66.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が73.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が85.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 101 近隣に、挨拶や日常会話をする知人等の有無：単数回答（Q37）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

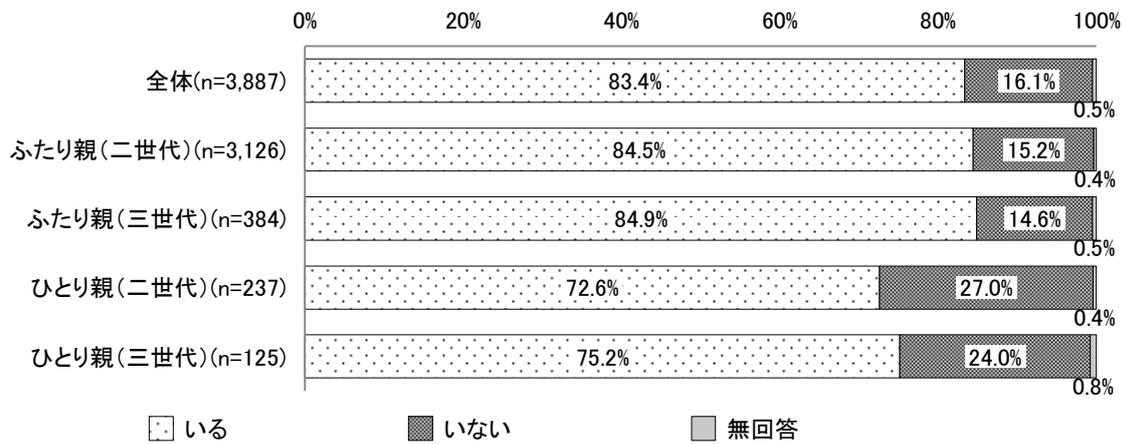


<中学生>（p<.01）

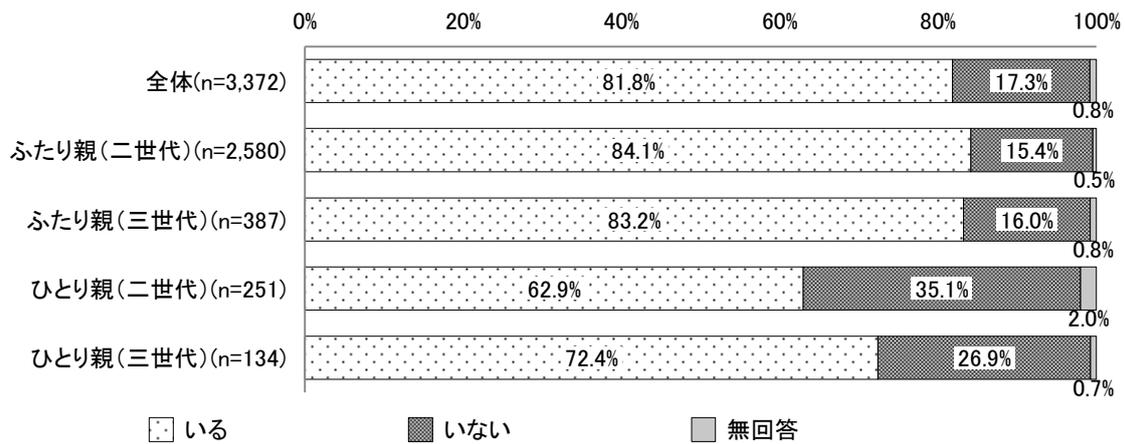


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「いない」とする割合が高くなっている。

図表 102 近隣に、挨拶や日常会話をする知人等の有無：単数回答（Q37）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 3) 近隣に、悩みを打ち明けたり、相談することができる知人等の有無

小学生の「全体」では、「いる」が73.5%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が25.9%となっている。

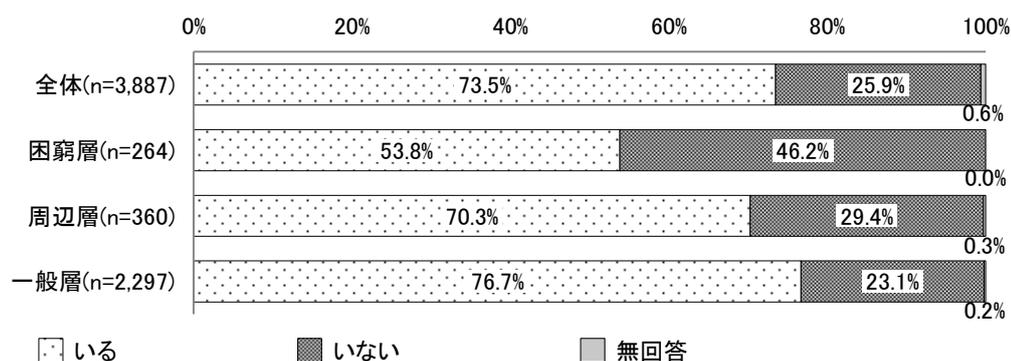
「困窮層」では、「いる」が53.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が70.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が76.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いる」が71.5%でもっとも割合が高く、次いで「いない」が27.6%となっている。

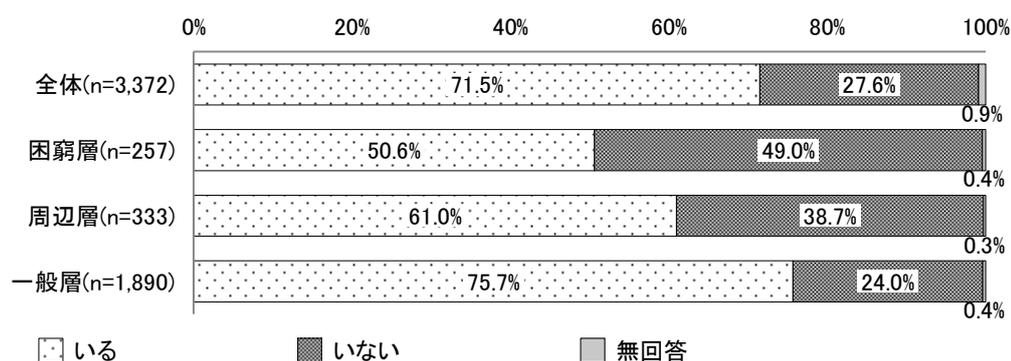
「困窮層」では、「いる」が50.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いる」が61.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いる」が75.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 103 近隣に、悩みを打ち明けたり、相談することができる知人等の有無：単数回答  
(Q38) (生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



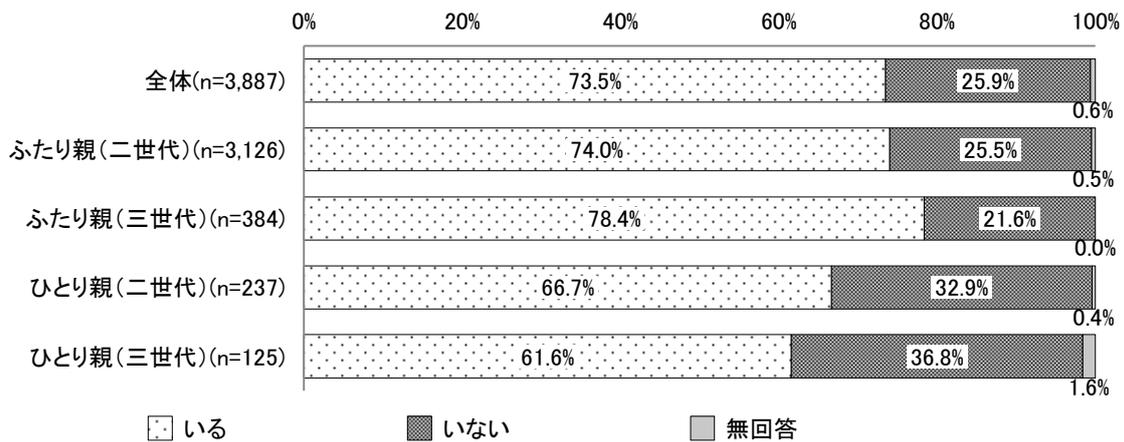
<中学生> (p<.01)



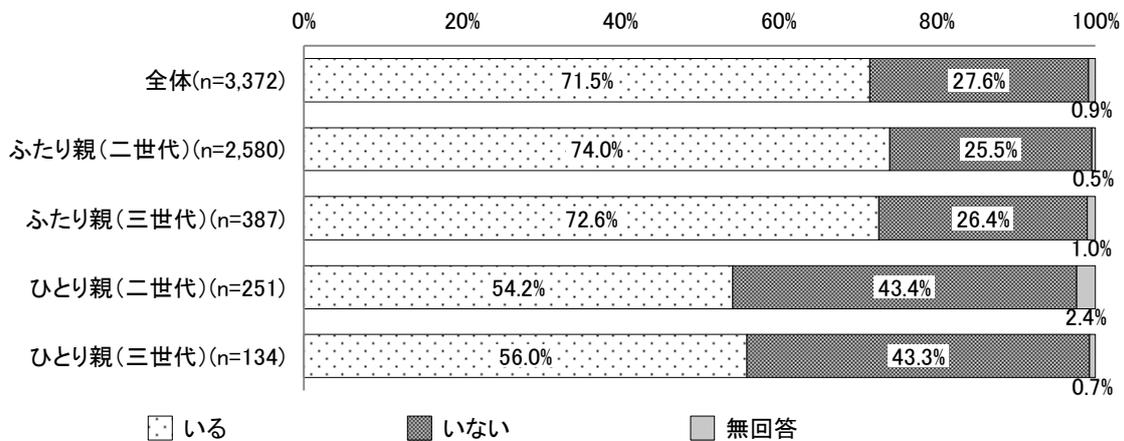
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「いない」とする割合が高くなっている。

図表 104 近隣に、悩みを打ち明けたり、相談することができる知人等の有無：単数回答 (Q38) (世帯タイプ別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



#### 4) 最後に卒業した学校\_母親

母親と同居している場合について、母親が最後に卒業した学校をみると、小学生の「全体」では、「短大、高専、専門学校等」が40.0%でもっとも割合が高く、次いで「大学」が28.1%となっている。

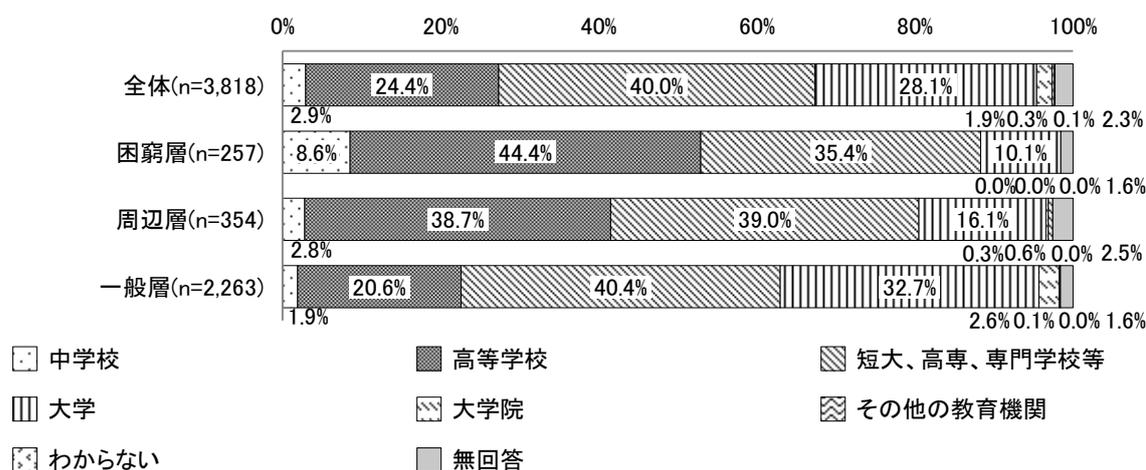
「困窮層」では、「高等学校」が44.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「短大、高専、専門学校等」が39.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「短大、高専、専門学校等」が40.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「短大、高専、専門学校等」が42.4%でもっとも割合が高く、次いで「高等学校」が28.3%となっている。

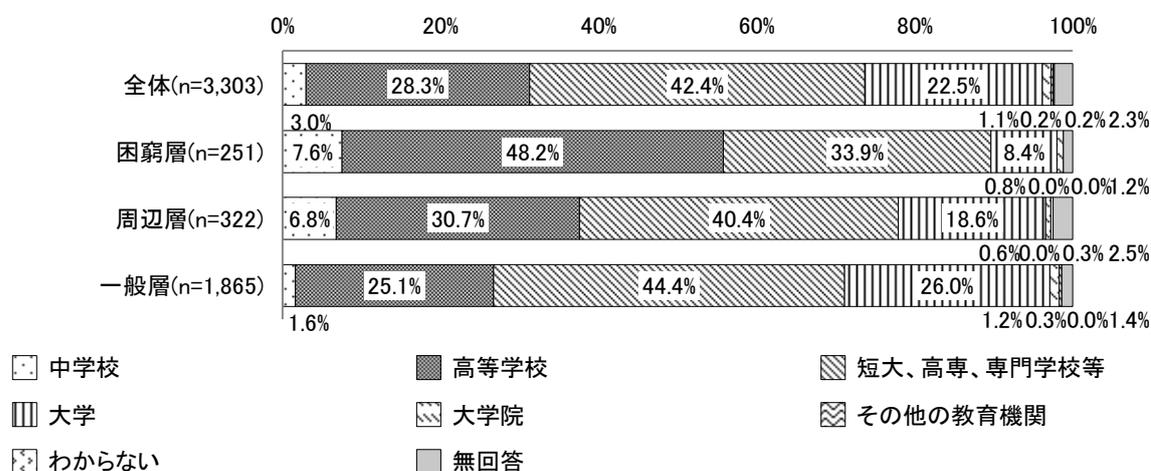
「困窮層」では、「高等学校」が48.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「短大、高専、専門学校等」が40.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「短大、高専、専門学校等」が44.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 105 最後に卒業した学校\_母親：単数回答（Q39\_1）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



注) 対象は Q4 で「母親と同居」と回答した者に限定

### 5) 最後に卒業した学校\_父親

父親と同居している場合について、父親が最後に卒業した学校をみると、小学生の「全体」では、「大学」が41.6%でもっとも割合が高く、次いで「高等学校」が26.1%となっている。

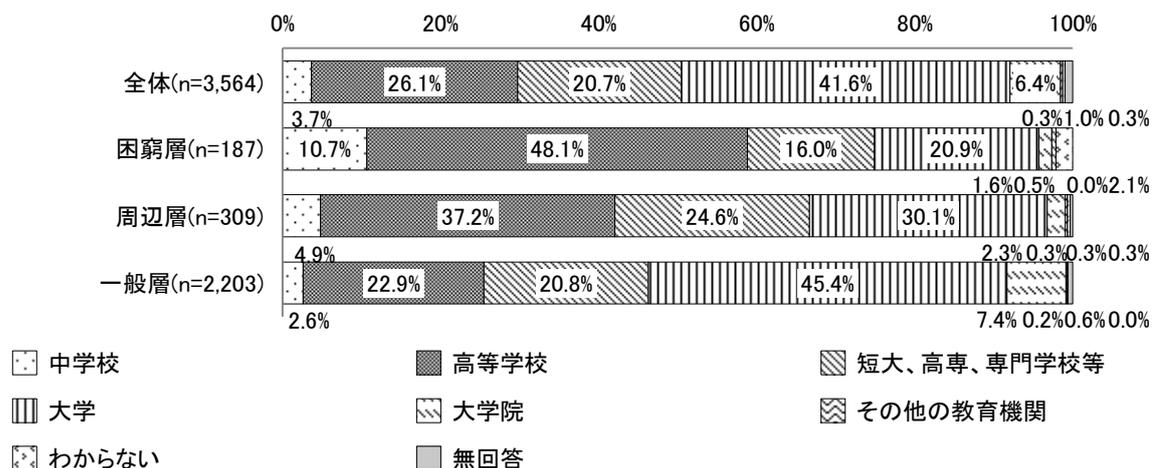
「困窮層」では、「高等学校」が48.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「高等学校」が37.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「大学」が45.4%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「大学」が39.1%でもっとも割合が高く、次いで「高等学校」が27.3%となっている。

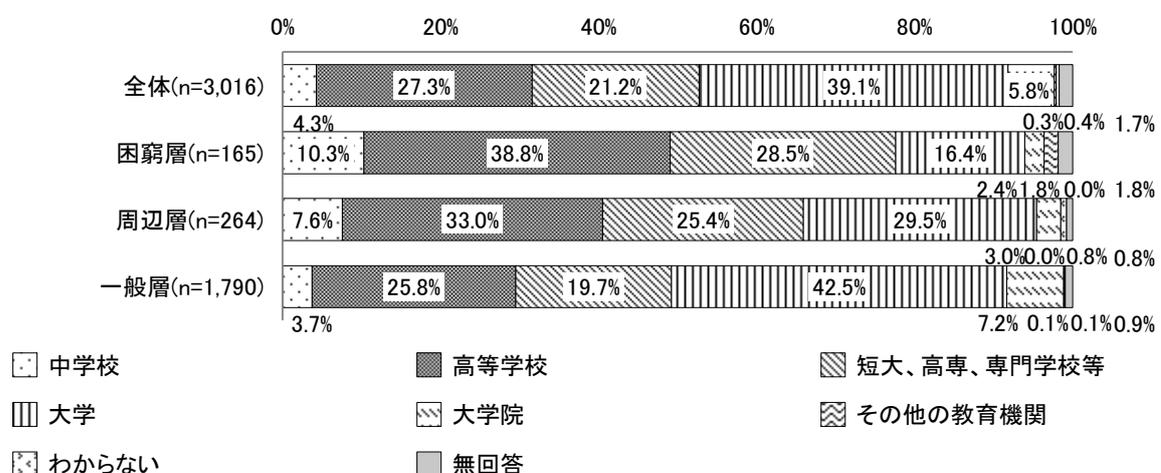
「困窮層」では、「高等学校」が38.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「高等学校」が33.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「大学」が42.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 106 最後に卒業した学校\_父親：単数回答（Q39\_2）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



注) 対象は Q4 で「父親と同居」と回答した者に限定

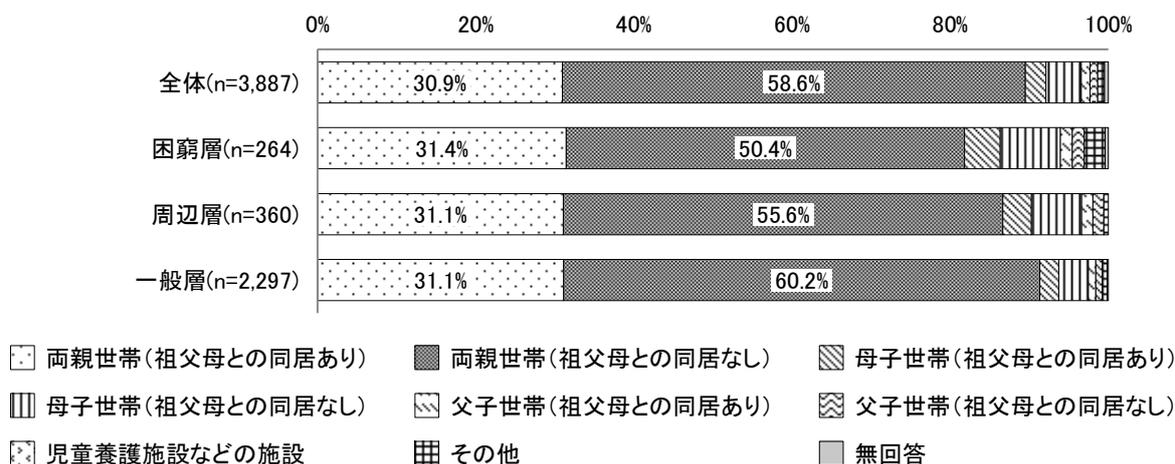
## 6) 15歳の頃の家庭の様子

小学生の「全体」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が58.6%でもっとも割合が高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」が30.9%となっている。「困窮層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が50.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が55.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が60.2%でもっとも割合が高くなっている。

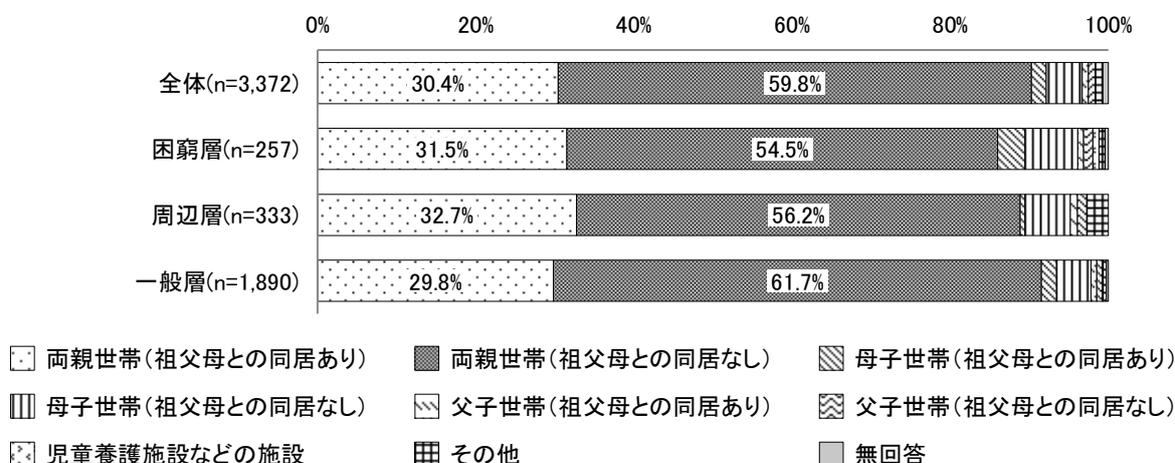
中学生の「全体」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が59.8%でもっとも割合が高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」が30.4%となっている。「困窮層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が54.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が56.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が61.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 107 15歳の頃の家庭の様子：単数回答（Q40）（生活困難度別）

<小学生>（検定不可）



<中学生>（p<.01）



<数値表：小学生>

	合計	Q40 15歳の頃の家庭の様子								
		両親世帯 (祖父母 との同居 あり)	両親世帯 (祖父母 との同居 なし)	母子世帯 (祖父母 との同居 あり)	母子世帯 (祖父母 との同居 なし)	父子世帯 (祖父母 との同居 あり)	父子世帯 (祖父母 との同居 なし)	児童養護 施設など の施設	その他	無回答
全体	3,887	30.9	58.6	2.6	4.5	1.1	1.0	0.0	0.9	0.5
困窮層	264	31.4	50.4	4.5	7.6	1.5	1.5	0.0	2.7	0.4
周辺層	360	31.1	55.6	3.6	6.4	1.4	1.4	0.0	0.6	0.0
一般層	2,297	31.1	60.2	2.4	3.8	0.9	0.8	0.0	0.6	0.1

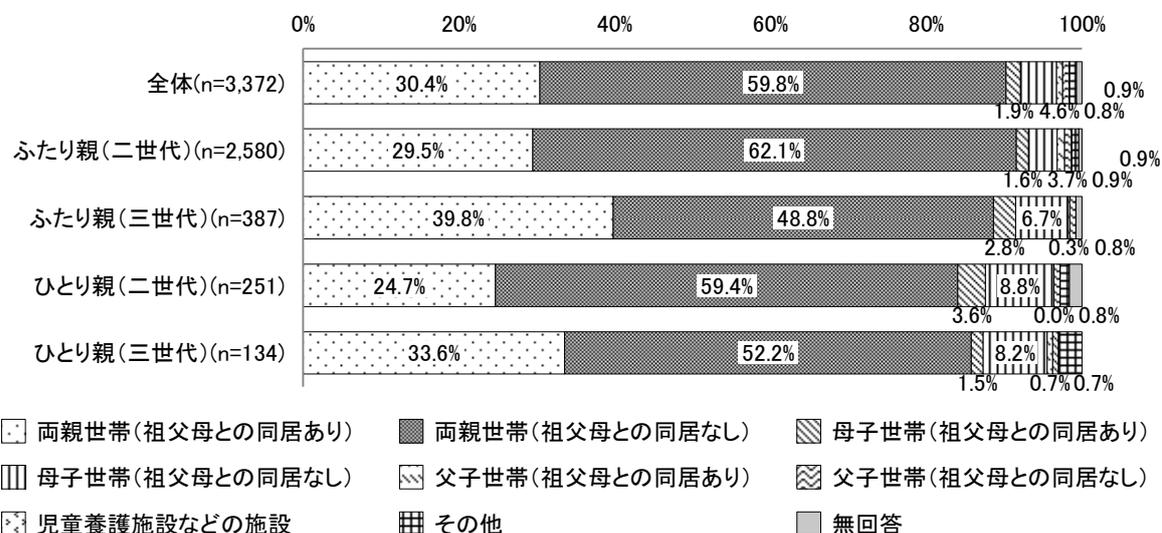
<数値表：中学生>

	合計	Q40 15歳の頃の家庭の様子								
		両親世帯 (祖父母 との同居 あり)	両親世帯 (祖父母 との同居 なし)	母子世帯 (祖父母 との同居 あり)	母子世帯 (祖父母 との同居 なし)	父子世帯 (祖父母 との同居 あり)	父子世帯 (祖父母 との同居 なし)	児童養護 施設など の施設	その他	無回答
全体	3,372	30.4	59.8	1.9	4.6	0.8	0.9	0.1	0.9	0.7
困窮層	257	31.5	54.5	3.5	6.6	0.8	1.2	0.8	0.8	0.4
周辺層	333	32.7	56.2	0.6	5.7	0.9	1.2	0.0	2.7	0.0
一般層	1,890	29.8	61.7	1.9	4.4	0.7	0.7	0.1	0.5	0.2

世帯タイプ別にみると、中学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」において「両親世帯（祖父母との同居あり）」とする割合が高くなっている。小学生では有意な差はみられなかった。

図表 108 15歳の頃の家庭の様子：単数回答（Q40）（世帯タイプ別）

<中学生> (p<.01)



<数値表：中学生>

	合計	Q40 15歳の頃の家庭の様子								
		両親世帯 (祖父母 との同居 あり)	両親世帯 (祖父母 との同居 なし)	母子世帯 (祖父母 との同居 あり)	母子世帯 (祖父母 との同居 なし)	父子世帯 (祖父母 との同居 あり)	父子世帯 (祖父母 との同居 なし)	児童養護 施設など の施設	その他	無回答
全体	3,372	30.4	59.8	1.9	4.6	0.8	0.9	0.1	0.9	0.7
ふたり親(二世帯)	2,580	29.5	62.1	1.6	3.7	0.9	0.9	0.1	0.9	0.4
ふたり親(三世帯)	387	39.8	48.8	2.8	6.7	0.3	0.8	0.0	0.0	0.8
ひとり親(二世帯)	251	24.7	59.4	3.6	8.8	0.0	0.8	0.0	1.2	1.6
ひとり親(三世帯)	134	33.6	52.2	1.5	8.2	0.7	0.7	0.0	3.0	0.0

## 7) 15歳の頃の家庭の暮らし向き

小学生の「全体」では、「普通」が50.3%でもっとも割合が高く、次いで「ややゆとりがあった」が19.5%となっている。

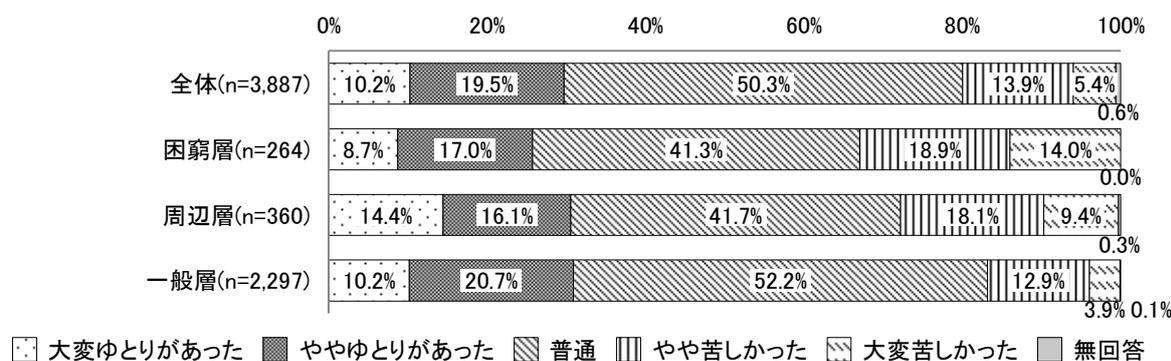
「困窮層」では、「普通」が41.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「普通」が41.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「普通」が52.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「普通」が50.6%でもっとも割合が高く、次いで「ややゆとりがあった」が17.6%となっている。

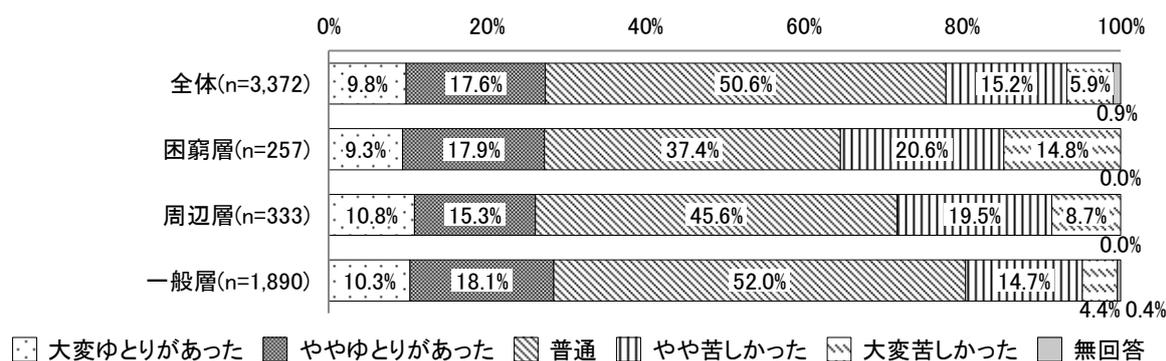
「困窮層」では、「普通」が37.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「普通」が45.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「普通」が52.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 109 15歳の頃の家庭の暮らし向き：単数回答（Q41）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 8) 10年前の家庭の暮らし向き

小学生の「全体」では、「普通」が55.3%でもっとも割合が高く、次いで「ややゆとりがあった」が20.2%となっている。

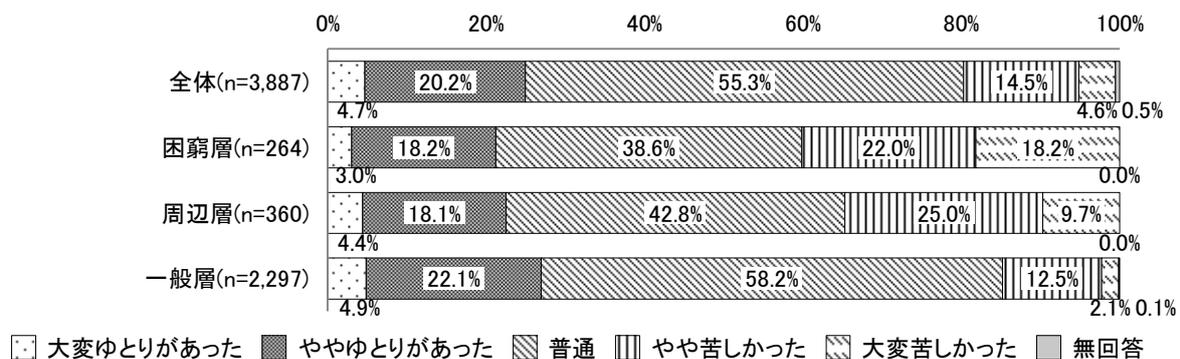
「困窮層」では、「普通」が38.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「普通」が42.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「普通」が58.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「普通」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「ややゆとりがあった」が18.3%となっている。

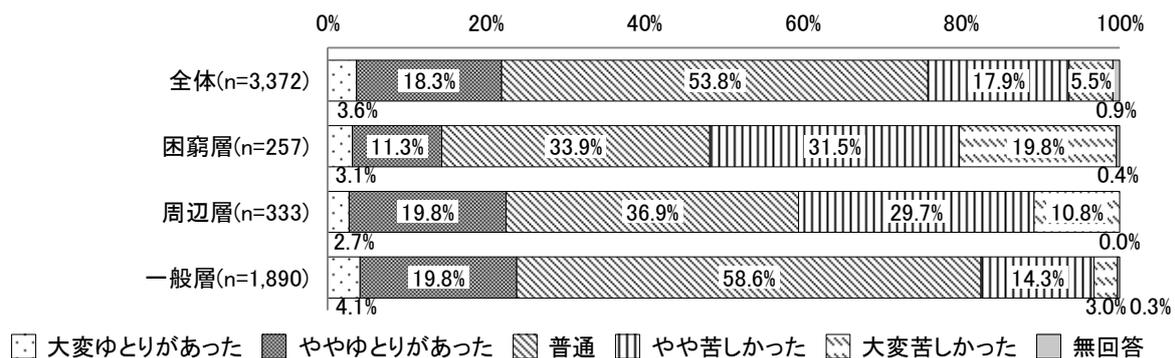
「困窮層」では、「普通」が33.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「普通」が36.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「普通」が58.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 110 10年前の家庭の暮らし向き：単数回答（Q42）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 9) 成人する前に体験したこと

小学生の「全体」では、「いずれも経験したことがない」が78.9%でもっとも割合が高く、次いで「両親が離婚した」が9.5%となっている。

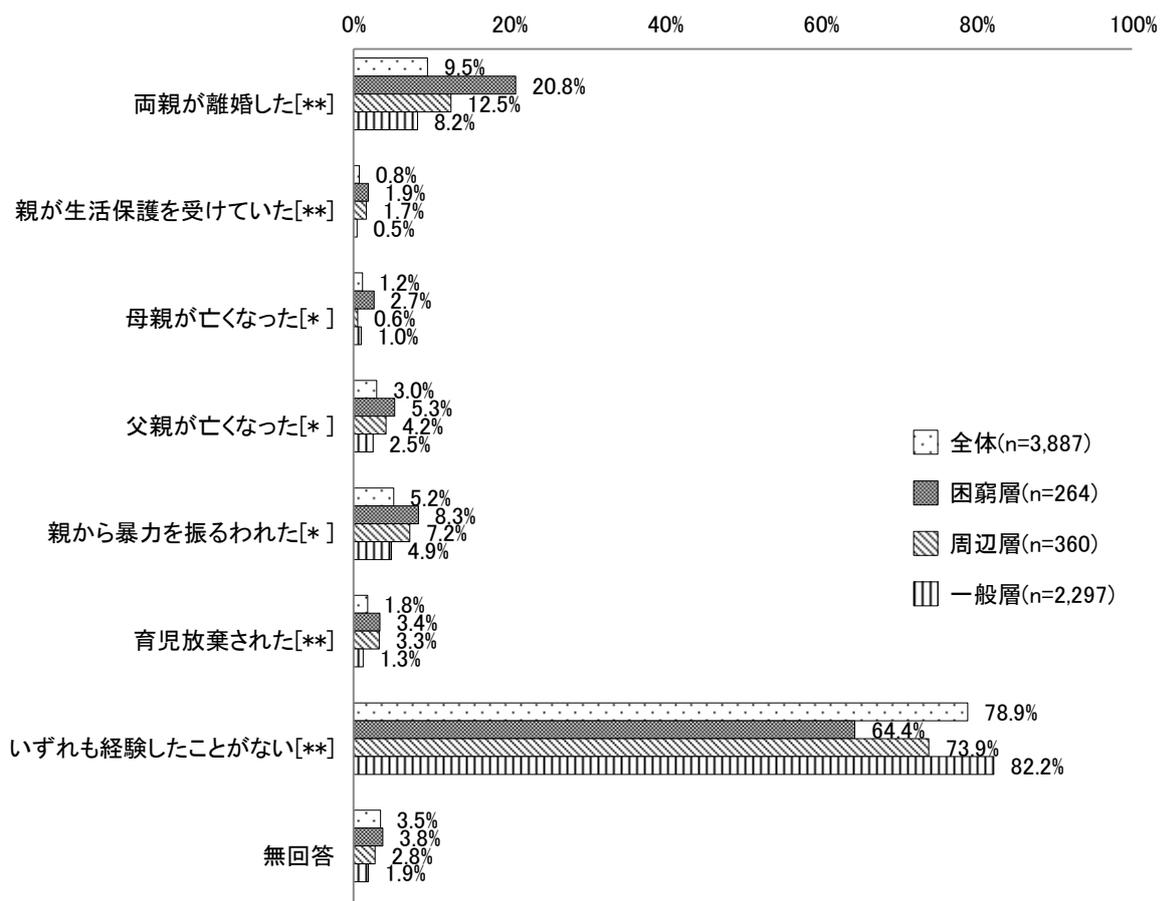
「困窮層」では、「いずれも経験したことがない」が64.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いずれも経験したことがない」が73.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いずれも経験したことがない」が82.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いずれも経験したことがない」が78.3%でもっとも割合が高く、次いで「両親が離婚した」が8.7%となっている。

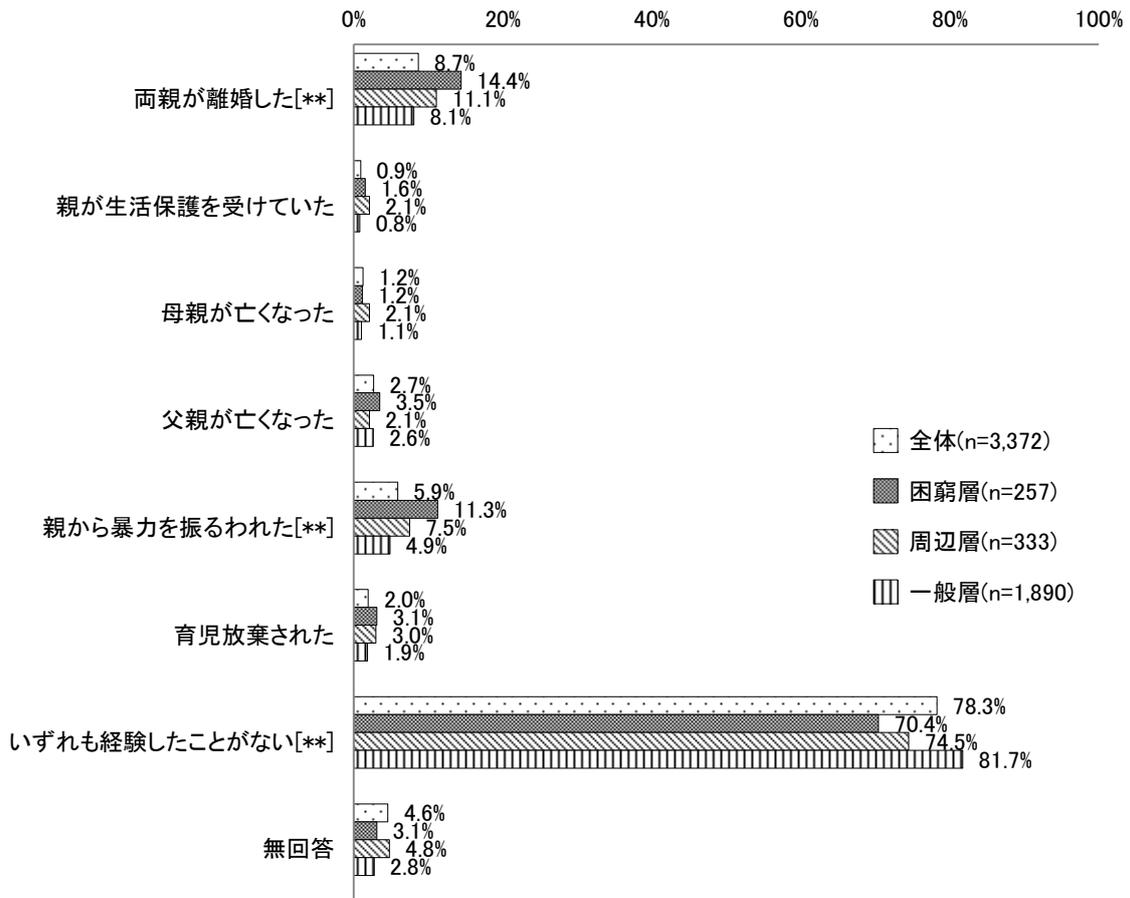
「困窮層」では、「いずれも経験したことがない」が70.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いずれも経験したことがない」が74.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いずれも経験したことがない」が81.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 111 成人する前に体験したこと：複数回答（Q43）（生活困難度別）

<小学生>



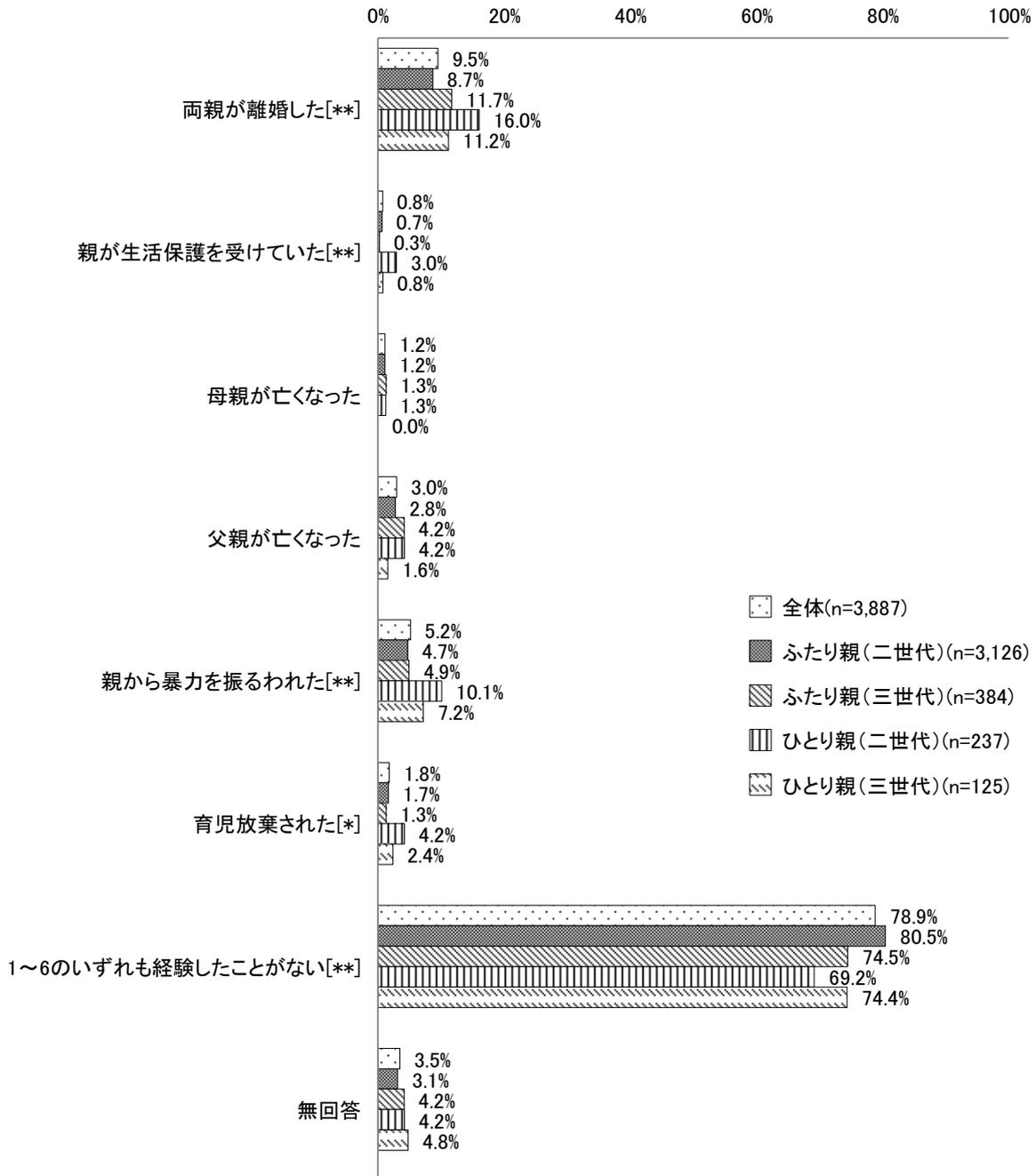
<中学生>



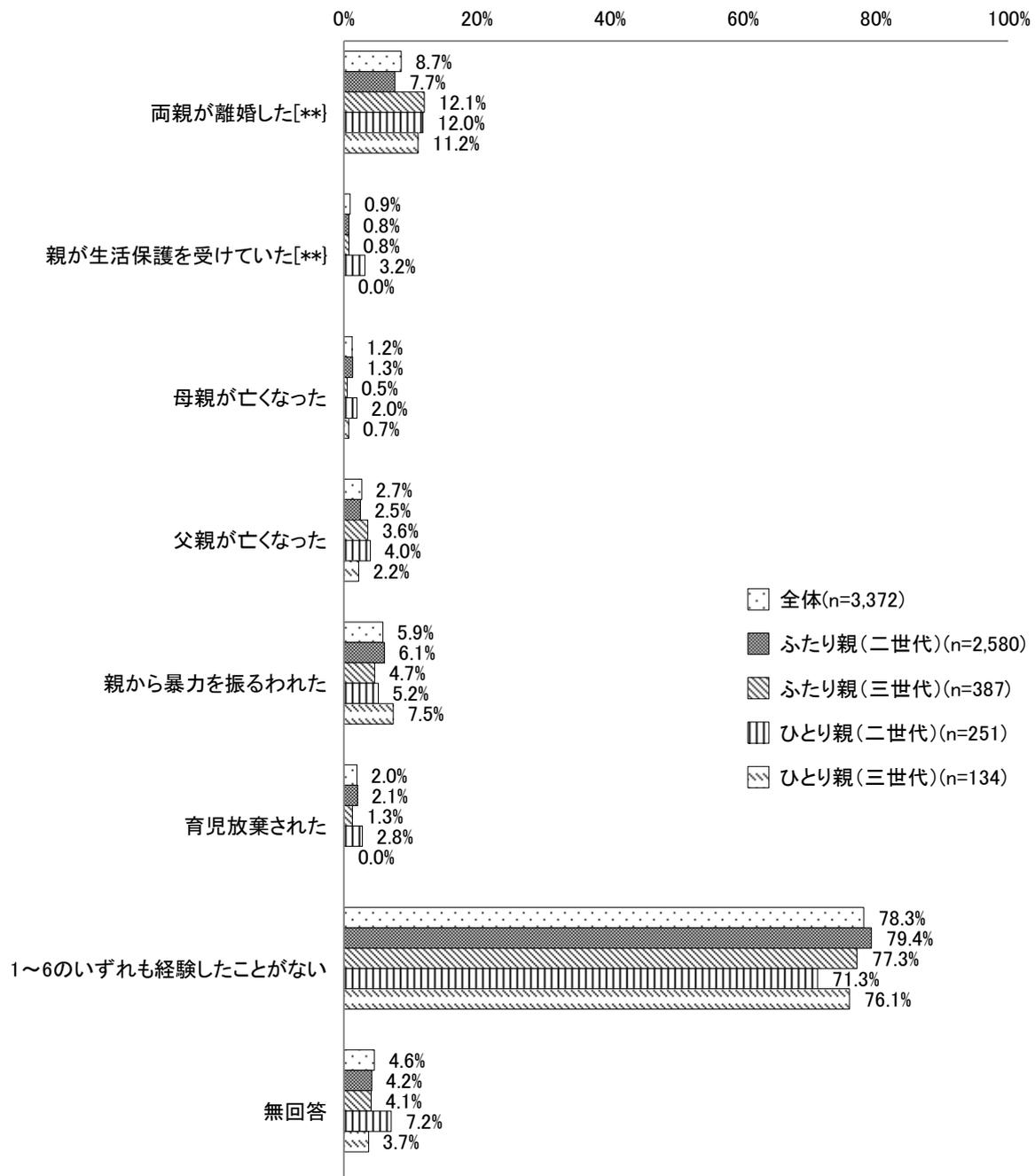
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「両親が離婚した」「親から暴力を振るわれた」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「親が生活保護を受けていた」とする割合が高くなっている。

図表 112 成人する前に体験したこと：複数回答（Q43）（世帯タイプ別）

<小学生>



< 中学生 >



## 10) お子さんをもってから経験したこと

小学生の「全体」では、「いずれも経験したことがない」が64.0%でもっとも割合が高く、次いで「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が15.7%となっている。

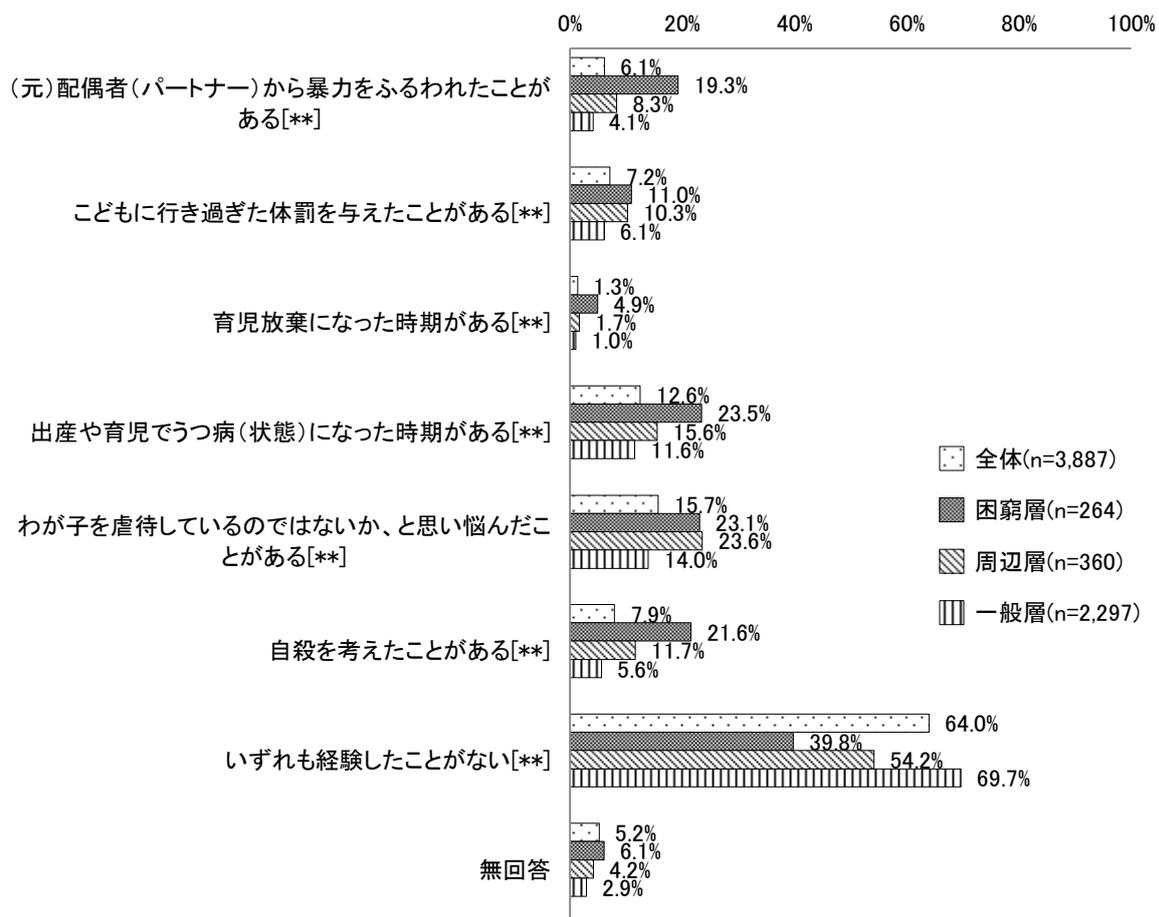
「困窮層」では、「いずれも経験したことがない」が39.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いずれも経験したことがない」が54.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いずれも経験したことがない」が69.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「いずれも経験したことがない」が63.5%でもっとも割合が高く、次いで「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が14.1%となっている。

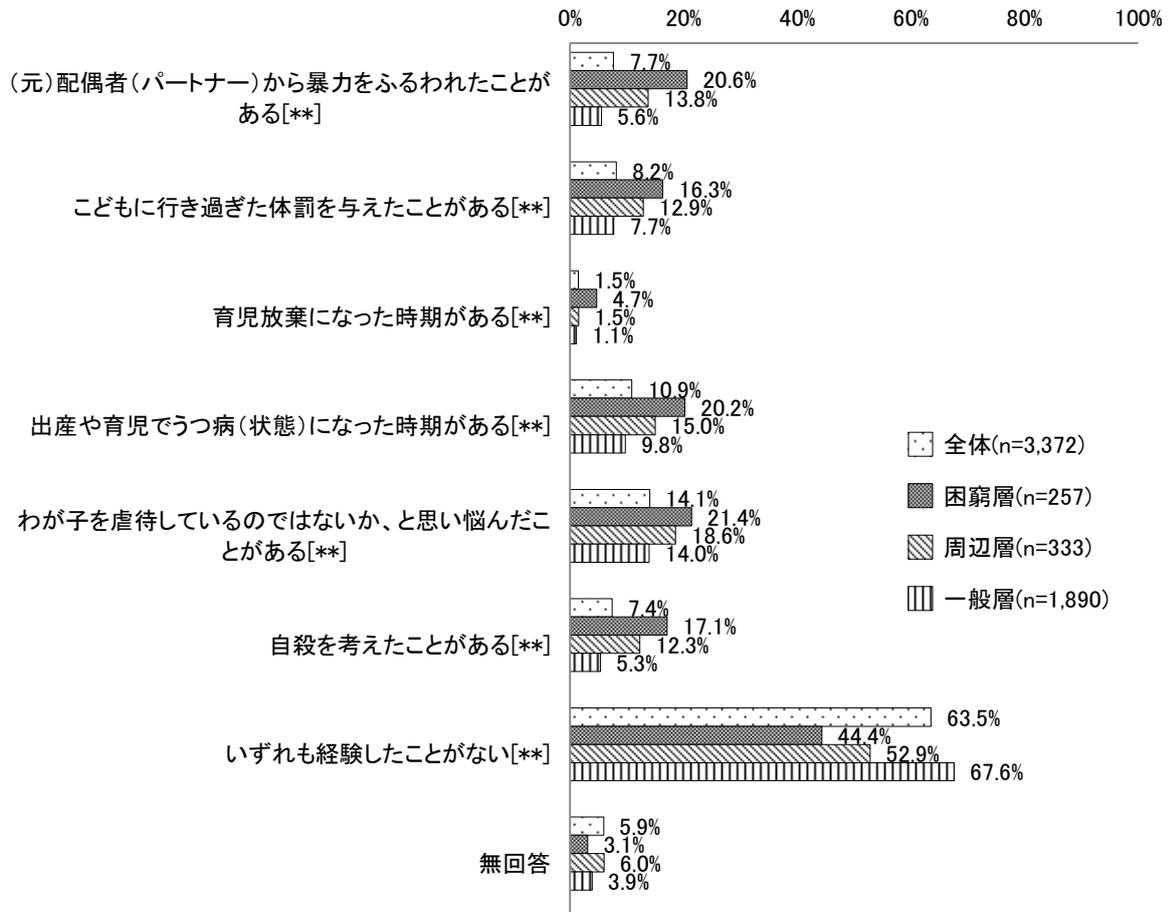
「困窮層」では、「いずれも経験したことがない」が44.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「いずれも経験したことがない」が52.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「いずれも経験したことがない」が67.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 113 お子さんをもってから経験したこと：複数回答（Q44）（生活困難度別）

<小学生>

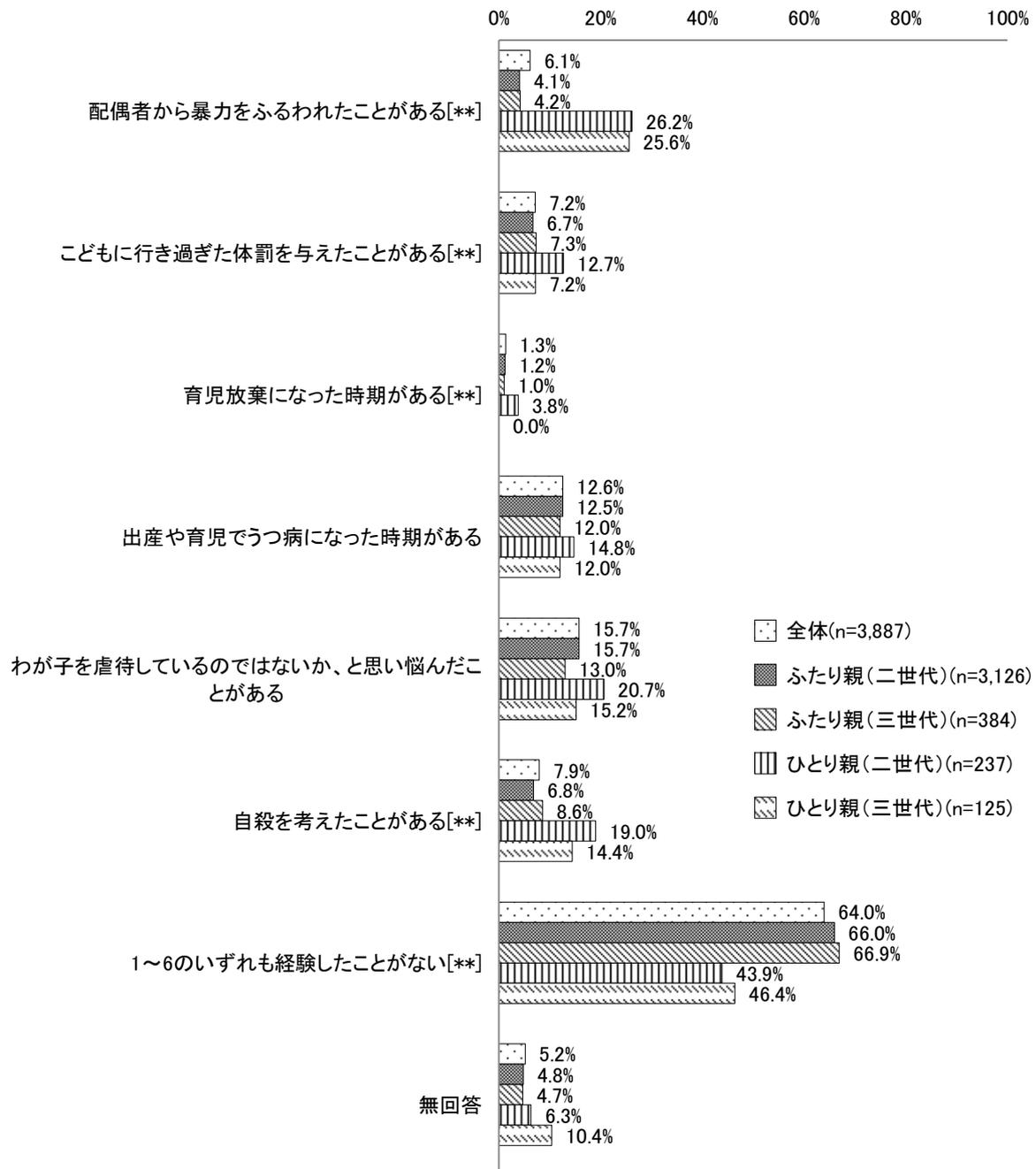


<中学生>

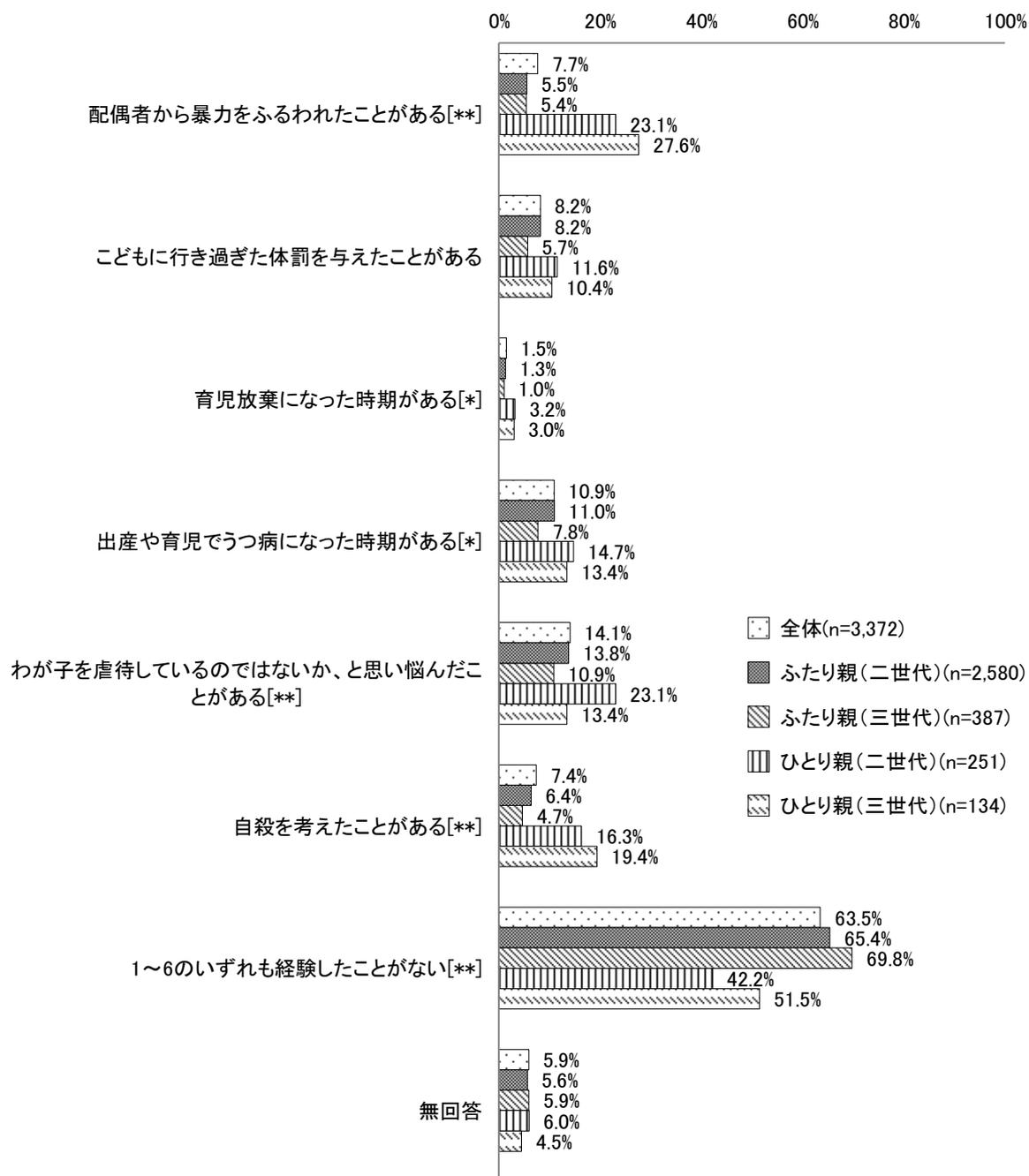


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体と比べて、「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において、「配偶者から暴力をふるわれたことがある」「自殺を考えたことがある」とする割合が高くなっている。また、「ひとり親（二世代）」では、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」とする割合も高い。

図表 114 お子さんをもってから経験したこと：複数回答（Q44）（世帯タイプ別）  
 <小学生>



<中学生>



### 11) 思いや気持ち\_がんばれば、むくわれる

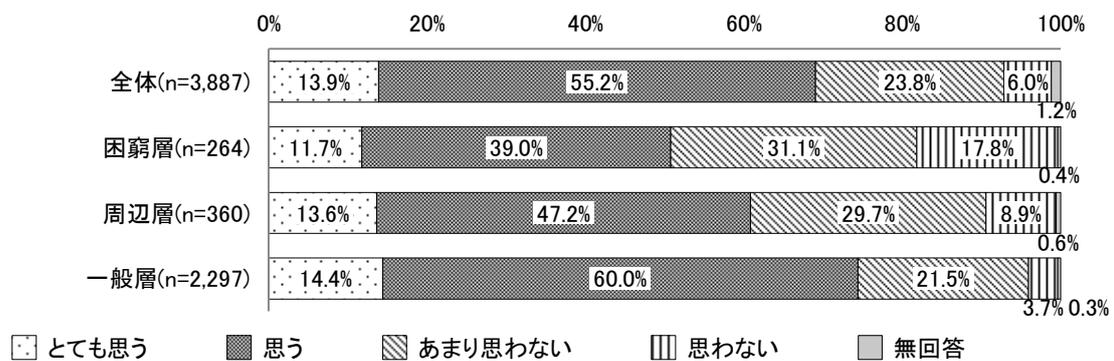
小学生の「全体」では、「思う」が55.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が23.8%となっている。

「困窮層」では、「思う」が39.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が47.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が60.0%でもっとも割合が高くなっている。

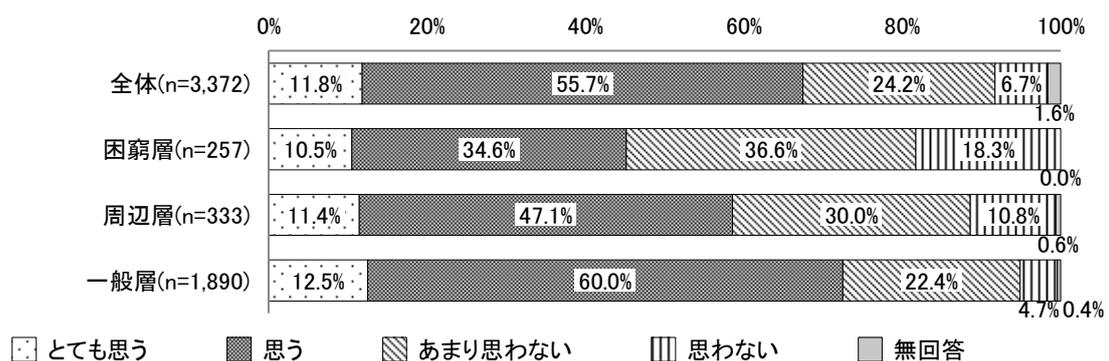
中学生の「全体」では、「思う」が55.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が24.2%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が36.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が47.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が60.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 115 思いや気持ち\_がんばれば、むくわれる：単数回答（Q45A）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

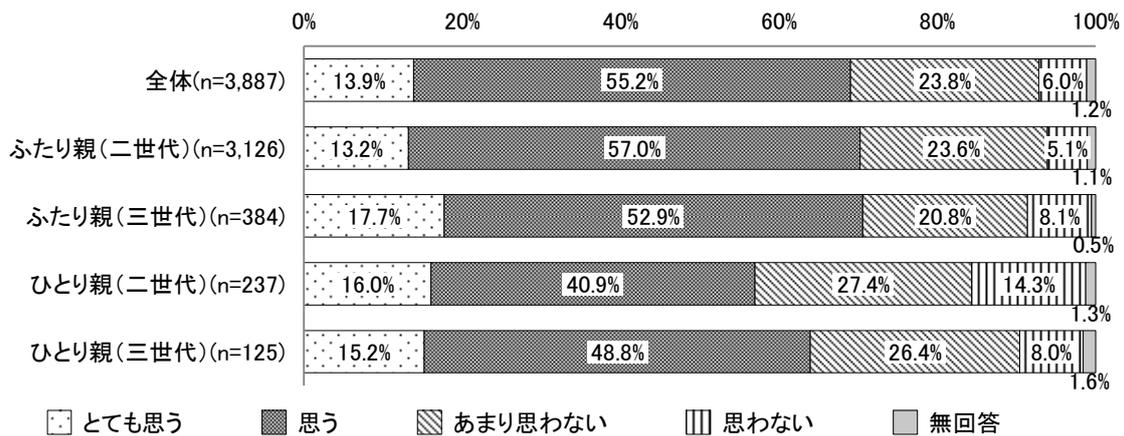


<中学生>（p<.01）

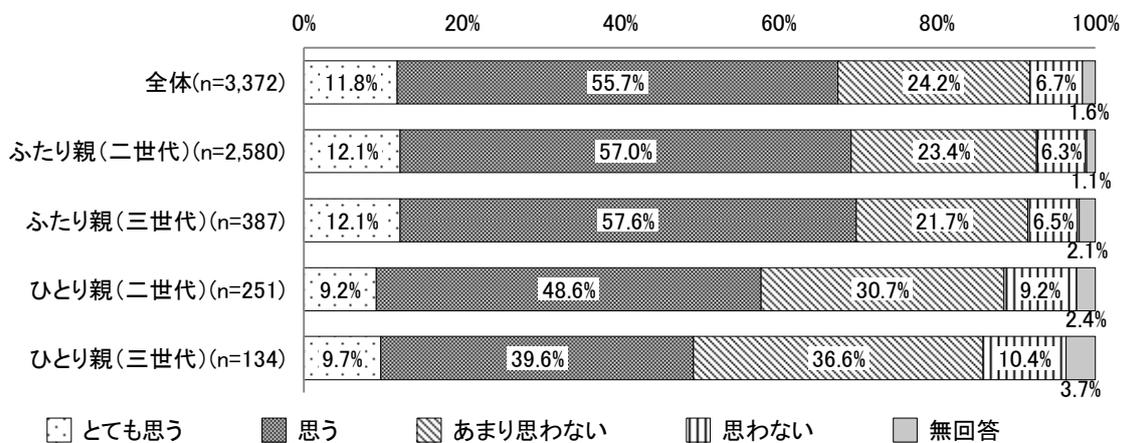


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「あまり思わない」「思わない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「あまり思わない」「思わない」とする割合が高くなっている。

図表 116 思いや気持ち\_がんばれば、むくわれる：単数回答（Q45A）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 12) 思いや気持ち\_自分は価値のある人間だ

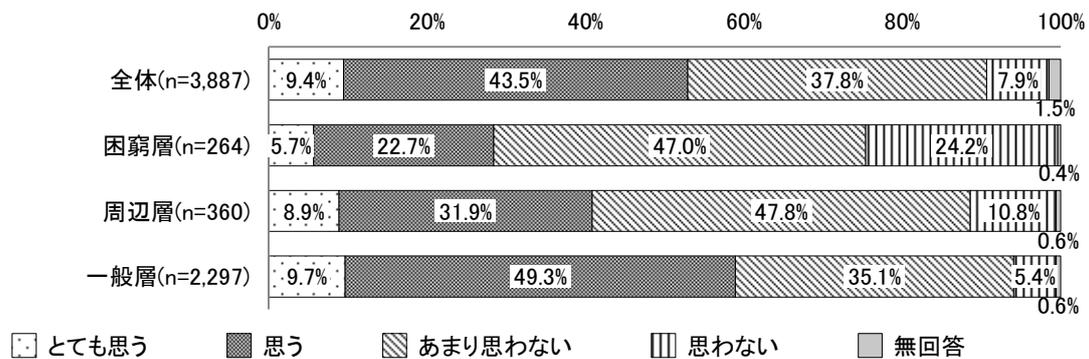
小学生の「全体」では、「思う」が43.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が37.8%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が47.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が47.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が49.3%でもっとも割合が高くなっている。

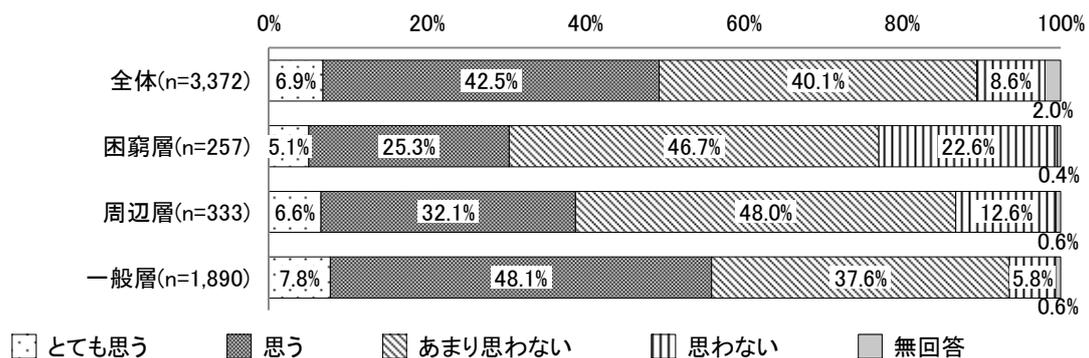
中学生の「全体」では、「思う」が42.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が40.1%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が46.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が48.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が48.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 117 思いや気持ち\_自分は価値のある人間だ：単数回答（Q45B）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

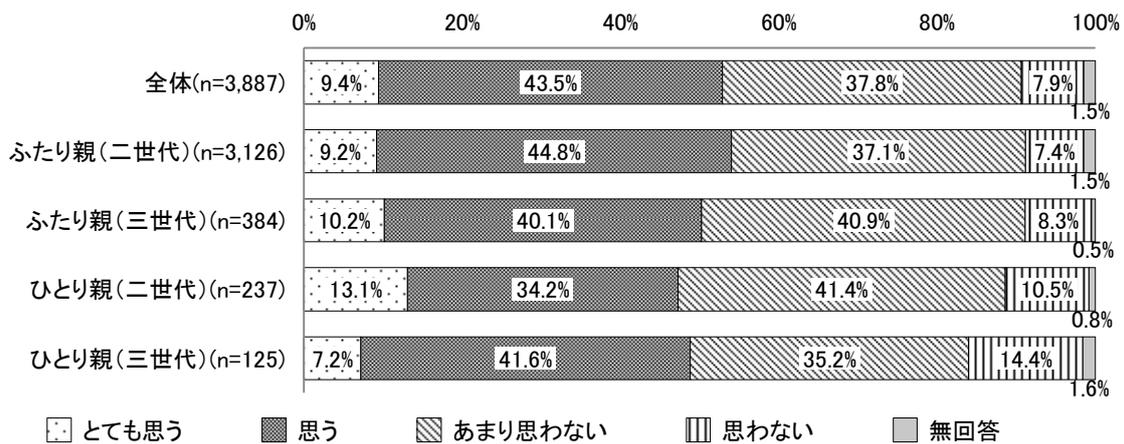


<中学生>（p<.01）

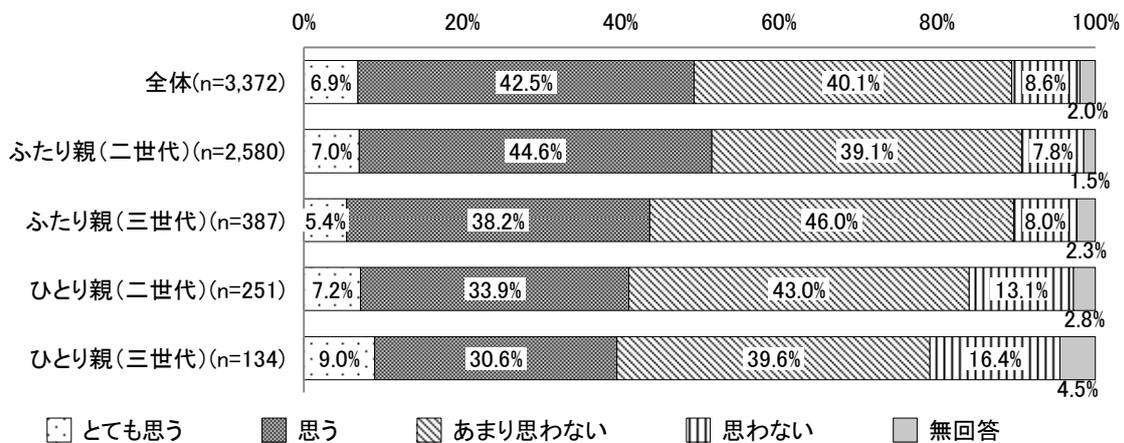


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「思わない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「思わない」とする割合が高くなっている。

図表 118 思いや気持ち\_自分は価値のある人間だ：単数回答（Q45B）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 13) 思いや気持ち\_不安に感じることもある

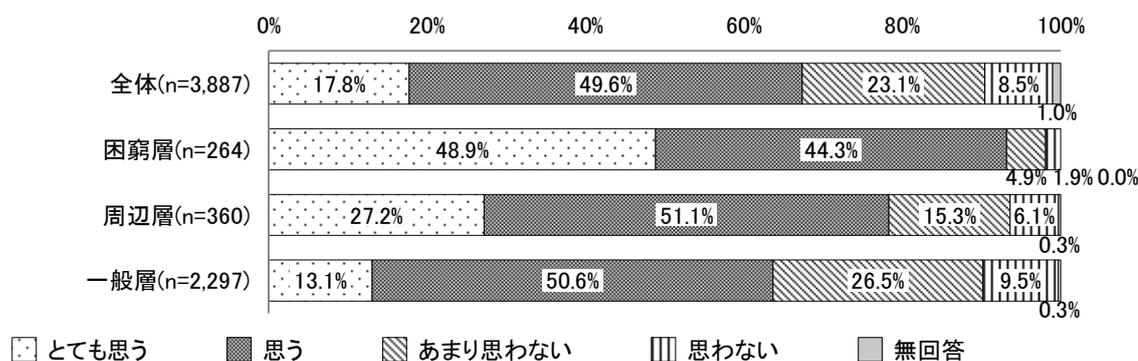
小学生の「全体」では、「思う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が23.1%となっている。

「困窮層」では、「とても思う」が48.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が51.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が50.6%でもっとも割合が高くなっている。

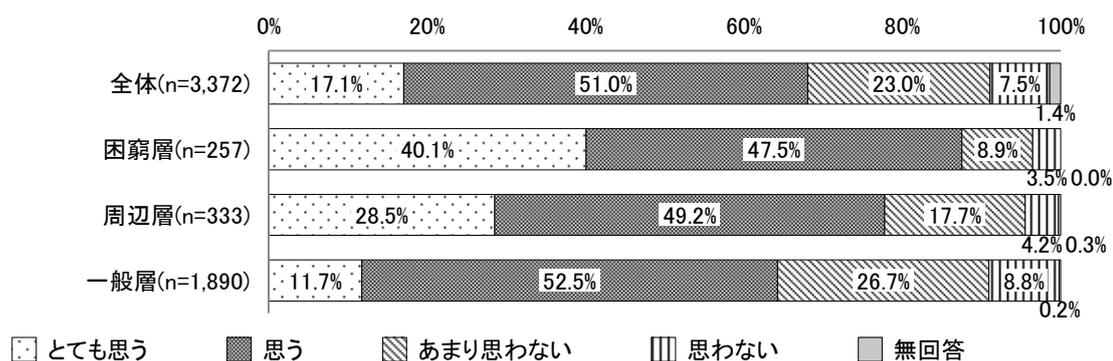
中学生の「全体」では、「思う」が51.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が23.0%となっている。

「困窮層」では、「思う」が47.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が49.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が52.5%でもっとも割合が高くなっている。

図表 119 思いや気持ち\_不安に感じることもある：単数回答（Q45C）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

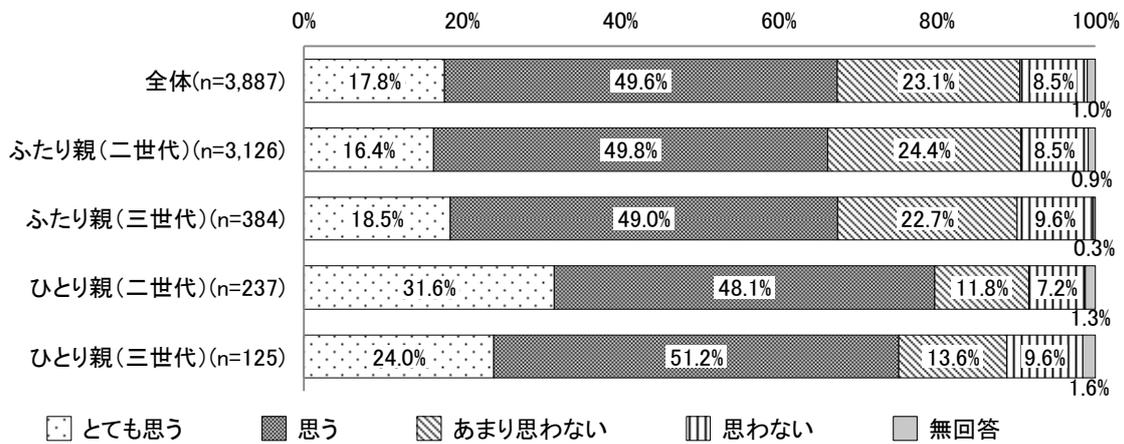


<中学生>（p<.01）

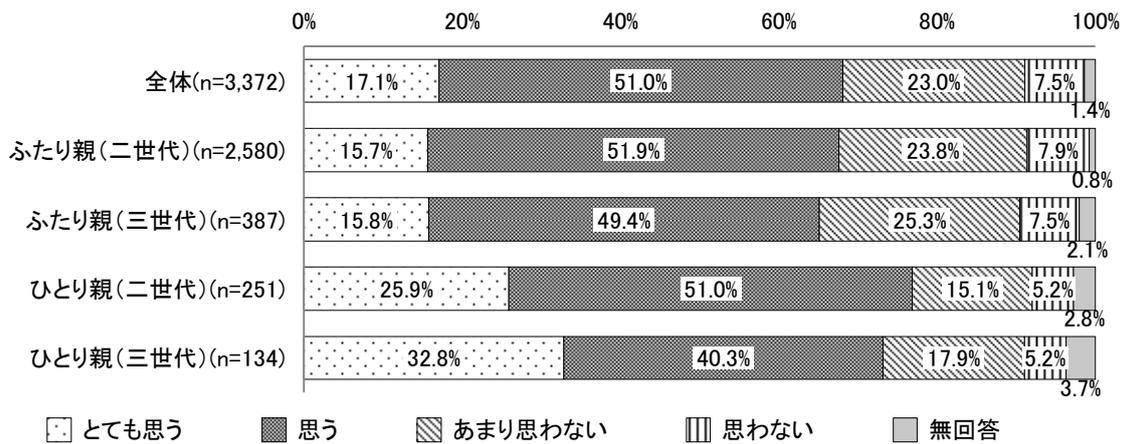


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「とても思う」とする割合が高くなっている。

図表 120 思いや気持ち\_不安に感じることもある：単数回答（Q45C）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



#### 14) 思いや気持ち\_孤独を感じることもある

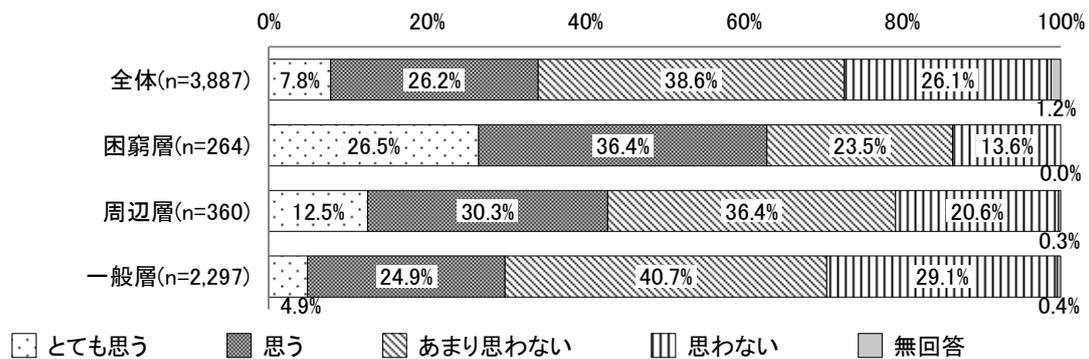
小学生の「全体」では、「あまり思わない」が 38.6%でもっとも割合が高く、次いで「思う」が 26.2%となっている。

「困窮層」では、「思う」が 36.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が 36.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「あまり思わない」が 40.7%でもっとも割合が高くなっている。

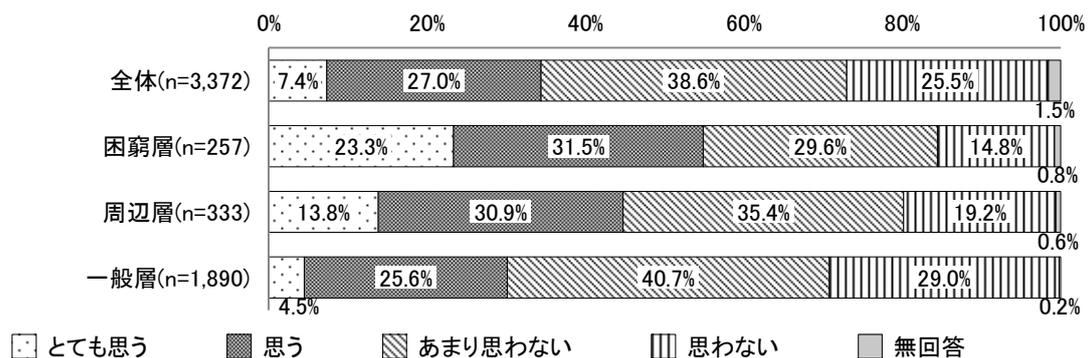
中学生の「全体」では、「あまり思わない」が 38.6%でもっとも割合が高く、次いで「思う」が 27.0%となっている。

「困窮層」では、「思う」が 31.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が 35.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「あまり思わない」が 40.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 121 思いや気持ち\_孤独を感じることもある：単数回答（Q45D）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

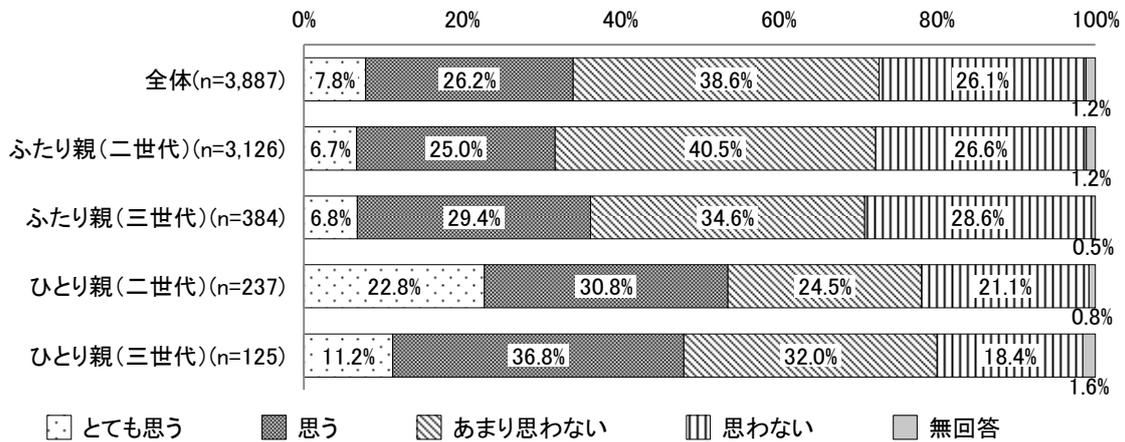


<中学生>（p<.01）

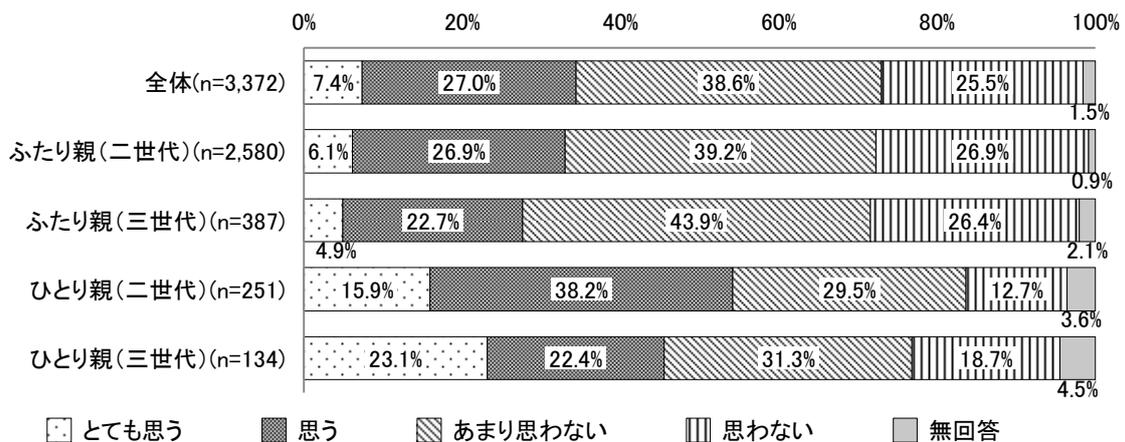


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「思う」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「思う」とする割合が高くなっている。

図表 122 思いや気持ち\_孤独を感じることもある：単数回答（Q45D）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 15) 思いや気持ち\_目標や計画は達成できる

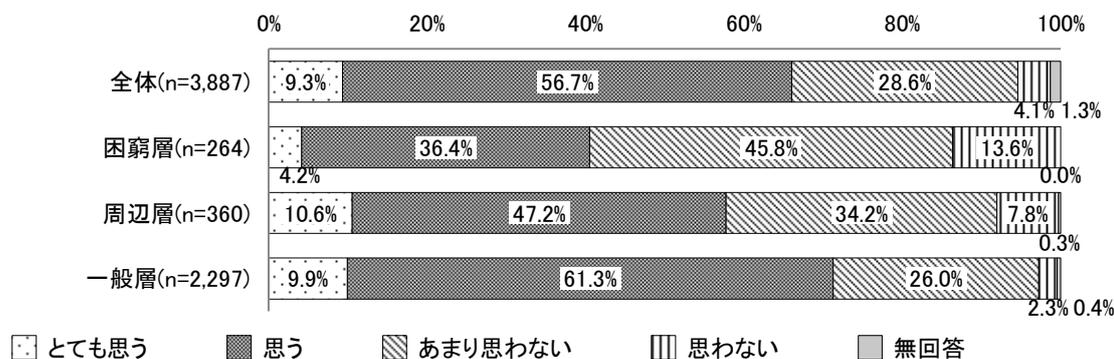
小学生の「全体」では、「思う」が56.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が28.6%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が45.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が47.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が61.3%でもっとも割合が高くなっている。

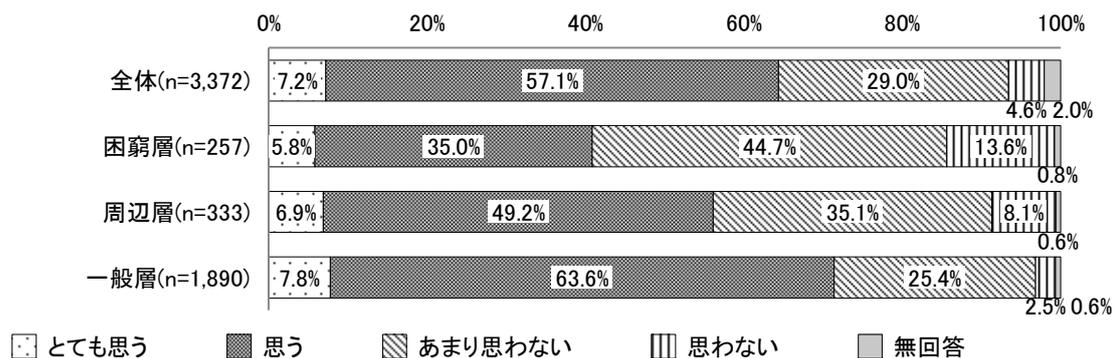
中学生の「全体」では、「思う」が57.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が29.0%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が44.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が49.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が63.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 123 思いや気持ち\_目標や計画は達成できる：単数回答（Q45E）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

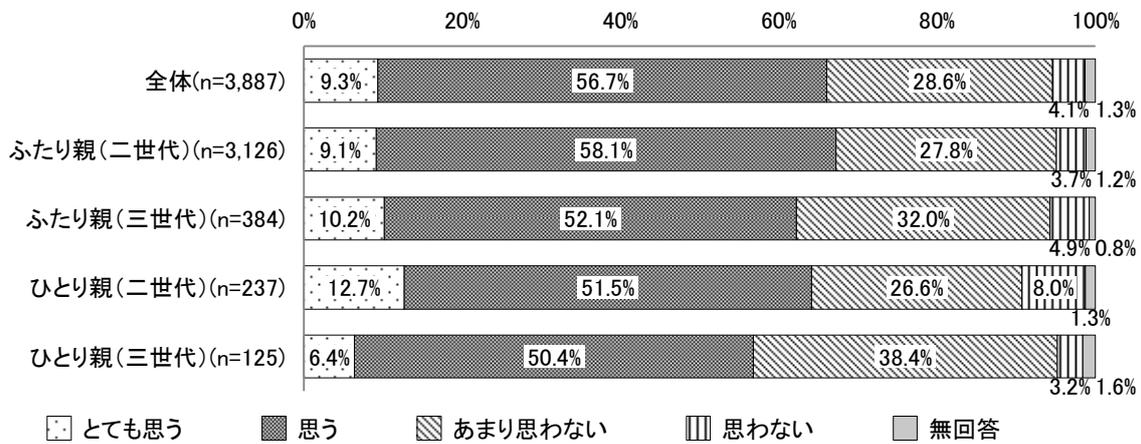


<中学生>（p<.01）

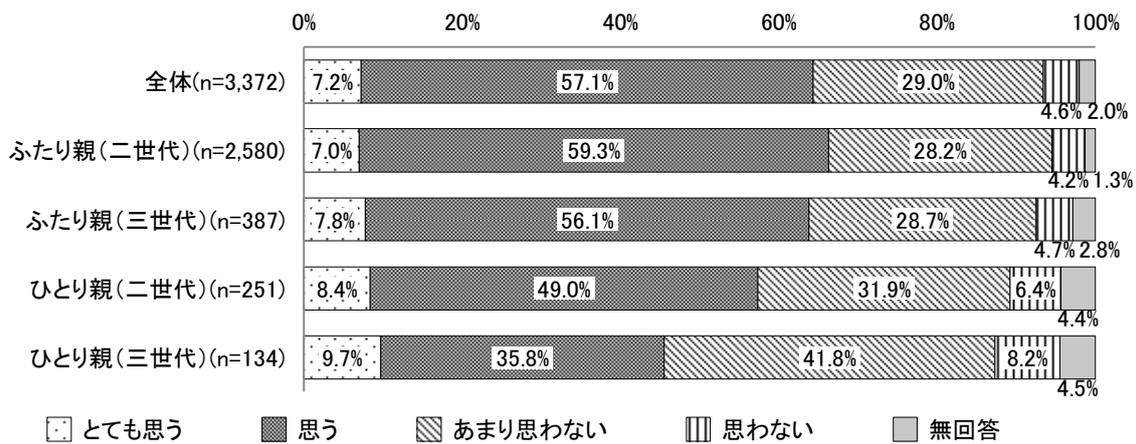


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「あまり思わない」とする割合が高くなっている。

図表 124 思いや気持ち\_目標や計画は達成できる：単数回答（Q45E）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 16) 思いや気持ち\_積極的に色々な人と話したい

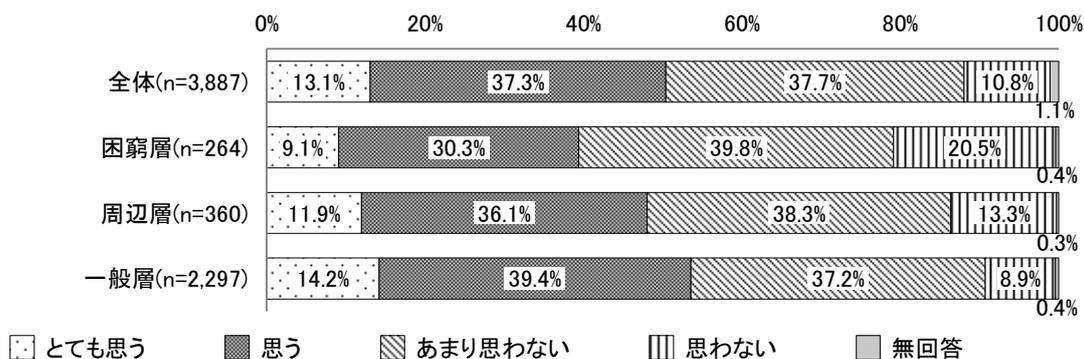
小学生の「全体」では、「あまり思わない」が 37.7%でもっとも割合が高く、次いで「思う」が 37.3%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が 39.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が 38.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が 39.4%でもっとも割合が高くなっている。

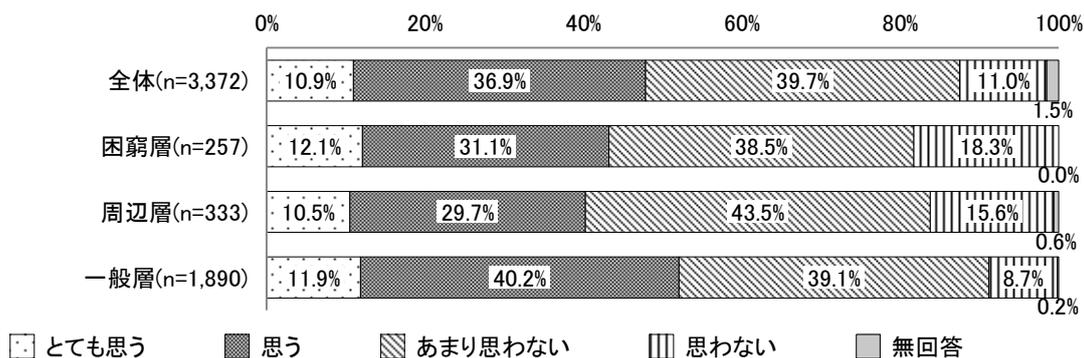
中学生の「全体」では、「あまり思わない」が 39.7%でもっとも割合が高く、次いで「思う」が 36.9%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が 38.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が 43.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が 40.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 125 思いや気持ち\_積極的に色々な人と話したい：単数回答 (Q45F) (生活困難度別)  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 17) 思いや気持ち\_今後の人生が楽しみだ

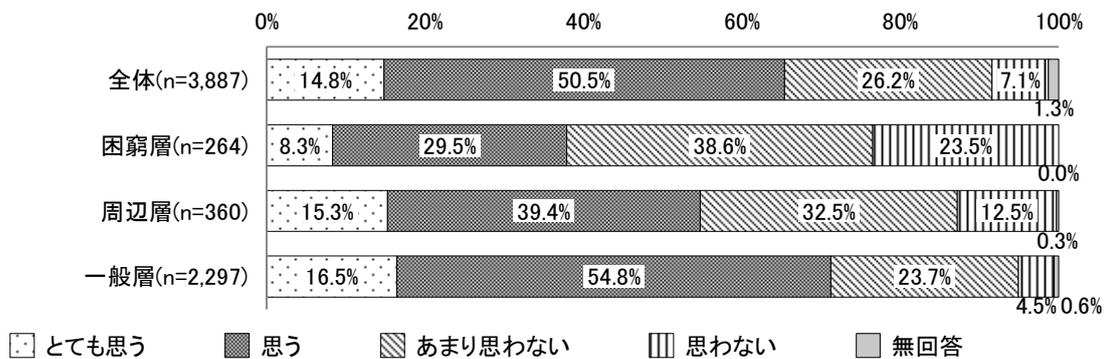
小学生の「全体」では、「思う」が50.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が26.2%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が38.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が39.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が54.8%でもっとも割合が高くなっている。

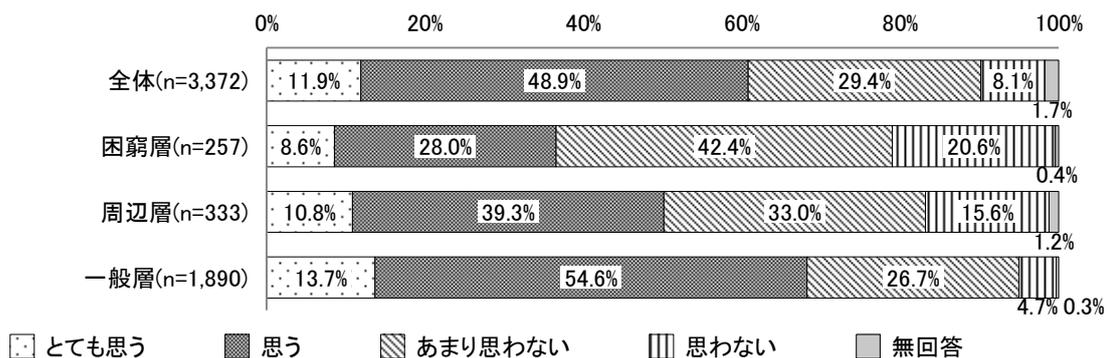
中学生の「全体」では、「思う」が48.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が29.4%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が42.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「思う」が39.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が54.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 126 思いや気持ち\_今後の人生が楽しみだ：単数回答 (Q45G) (生活困難度別)  
 <小学生> (p<.01)

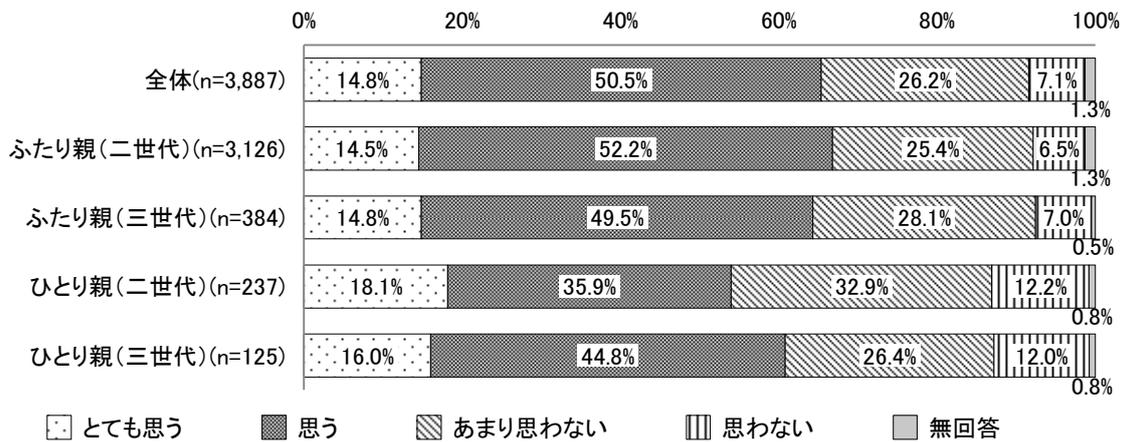


<中学生> (p<.01)

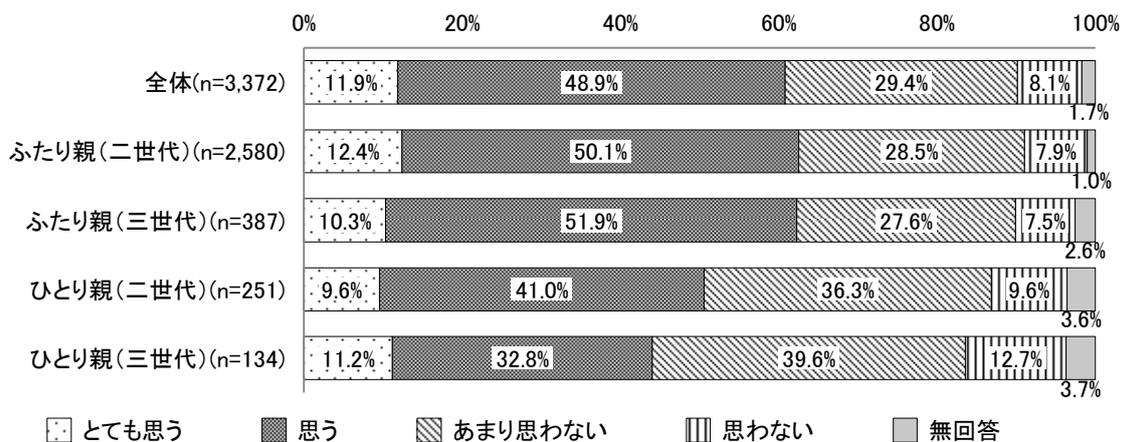


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「あまり思わない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「あまり思わない」とする割合が高くなっている。

図表 127 思いや気持ち\_今後の人生が楽しみだ：単数回答（Q45G）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 18) 思いや気持ち\_自分のことが好きだ

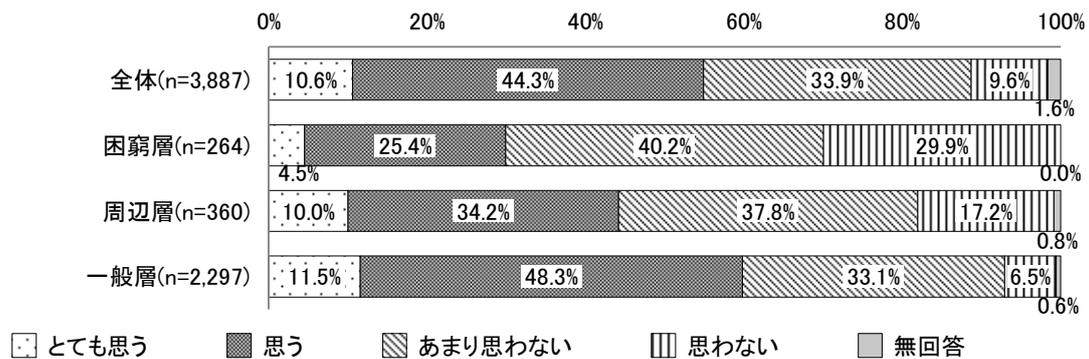
小学生の「全体」では、「思う」が44.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が33.9%となっている。

「困窮層」では、「あまり思わない」が40.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が37.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が48.3%でもっとも割合が高くなっている。

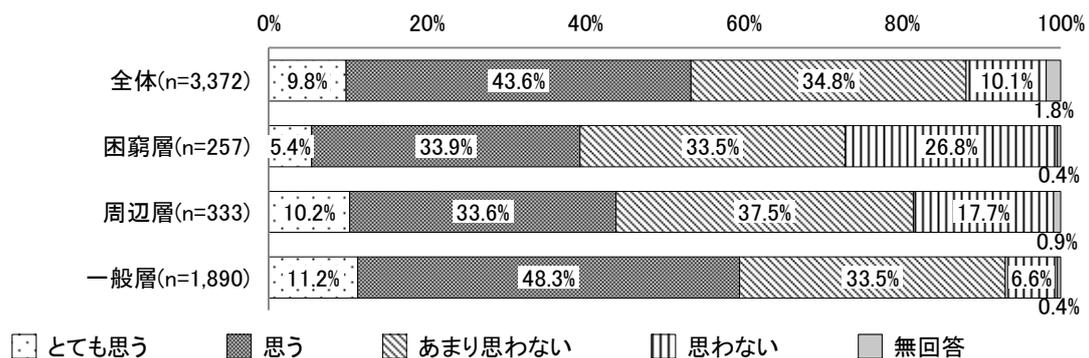
中学生の「全体」では、「思う」が43.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり思わない」が34.8%となっている。

「困窮層」では、「思う」が33.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「あまり思わない」が37.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「思う」が48.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 128 思いや気持ち\_自分のことが好きだ：単数回答（Q45H）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

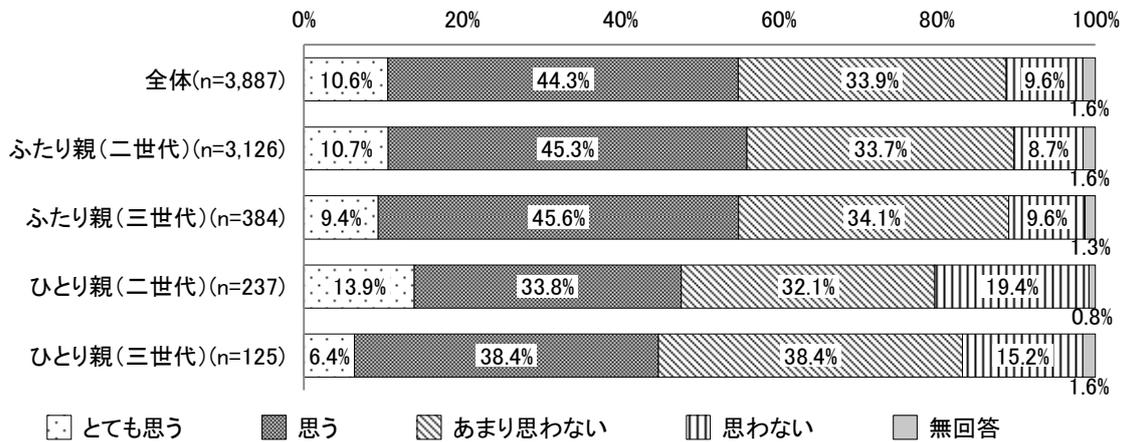


<中学生>（p<.01）

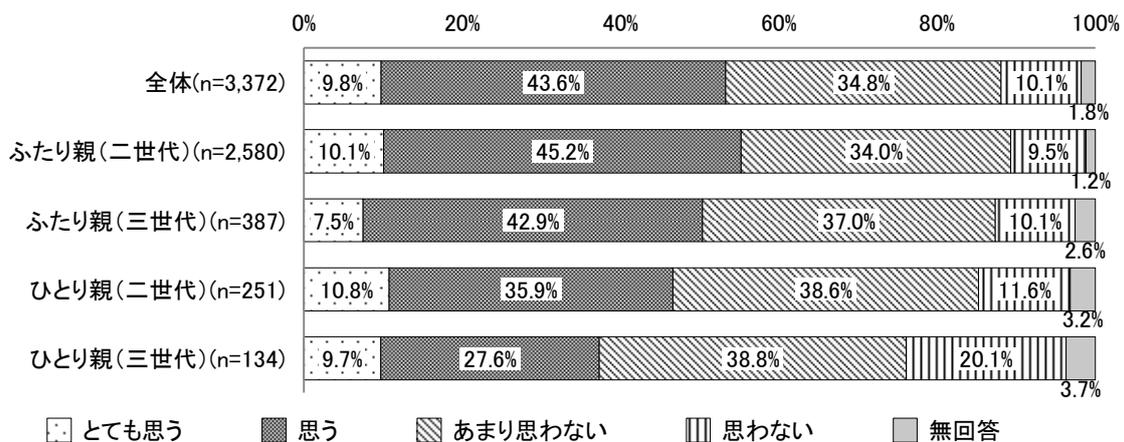


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世代）」「ひとり親（三世代）」において「思わない」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「思わない」とする割合が高くなっている。

図表 129 思いや気持ち\_自分のことが好きだ：単数回答（Q45H）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## (8) 支援の利用状況

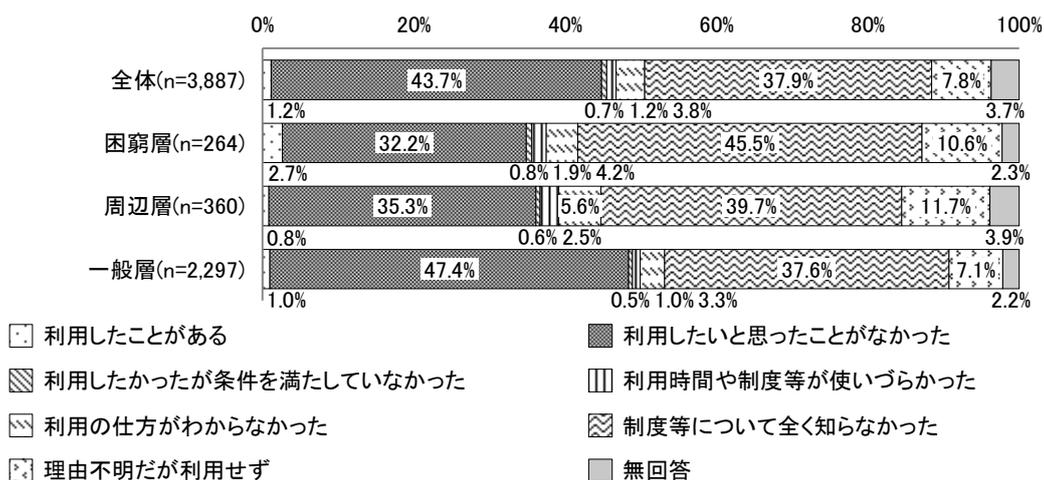
### 1) 事業や民間の取組\_子育て短期支援事業

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が43.7%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が37.9%となっている。「困窮層」では、「制度等について全く知らなかった」が45.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「制度等について全く知らなかった」が39.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が47.4%でもっとも割合が高くなっている。

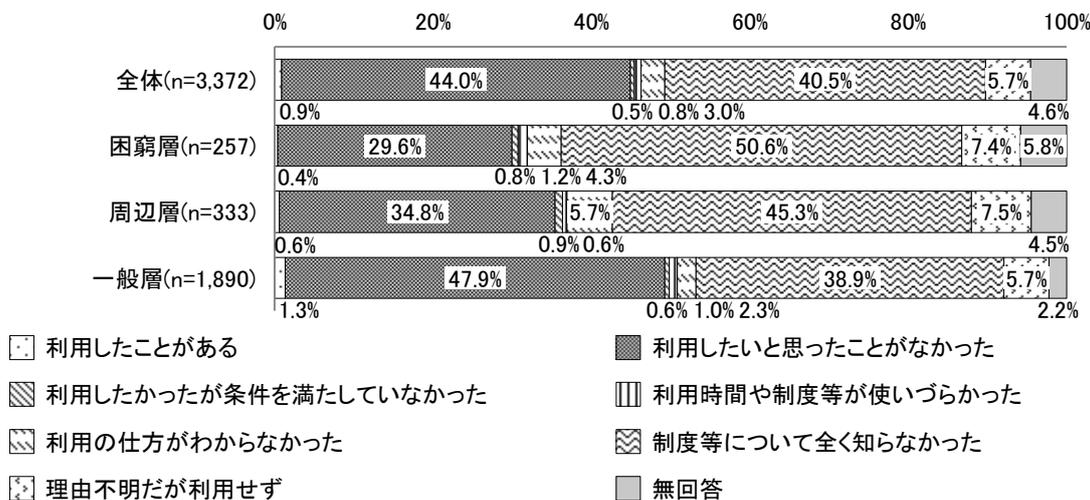
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が44.0%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が40.5%となっている。「困窮層」では、「制度等について全く知らなかった」が50.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「制度等について全く知らなかった」が45.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が47.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 130 事業や民間の取組\_子育て短期支援事業：単数回答（Q46A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

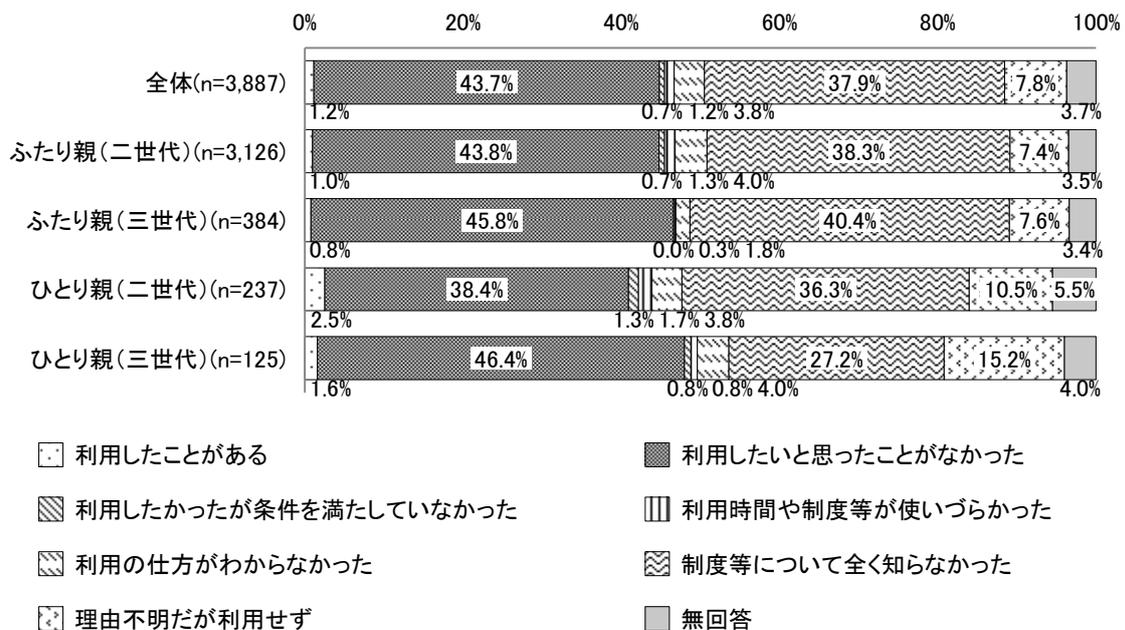


<中学生> (p<.01)

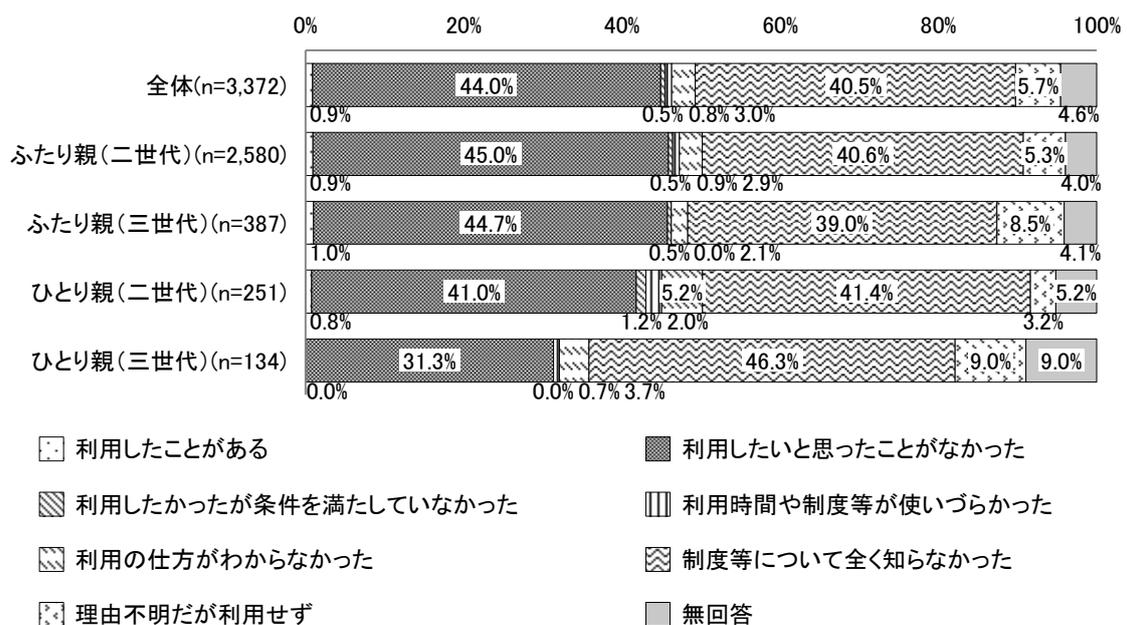


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「理由不明だが利用せず」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「利用したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 131 事業や民間の取組\_子育て短期支援事業：単数回答（Q46A）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 2) 利用したことはないが興味がある\_子育て短期支援事業

小学生の「全体」では、「選択していない」が88.4%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が11.6%となっている。

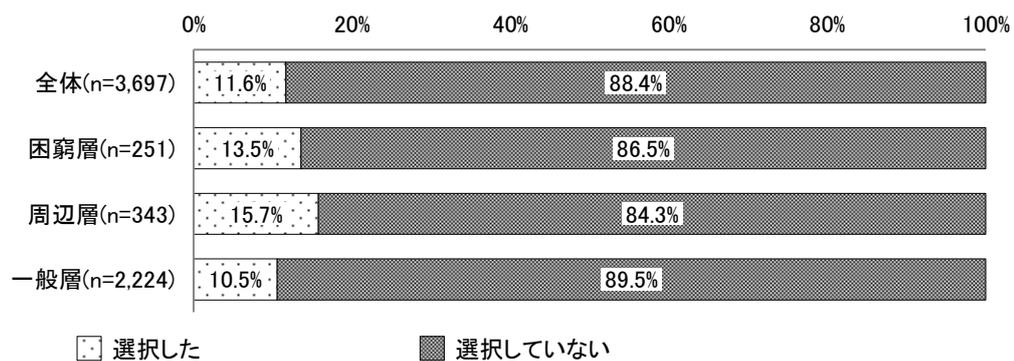
「困窮層」では、「選択していない」が86.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が84.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が89.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が91.6%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が8.4%となっている。

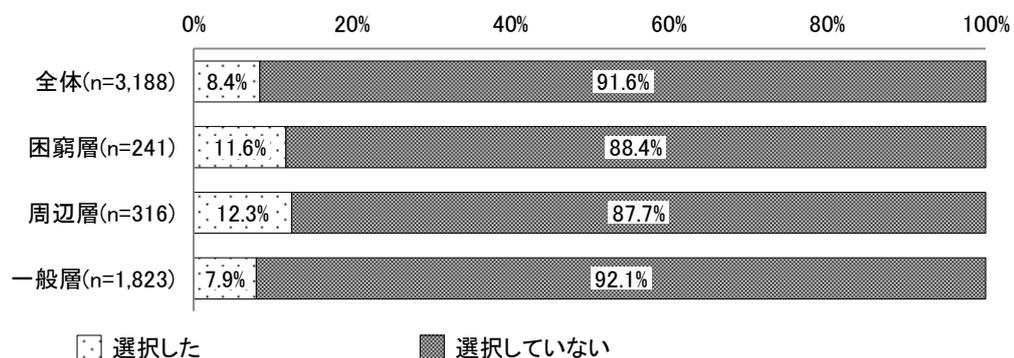
「困窮層」では、「選択していない」が88.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が87.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が92.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 132 利用したことはないが興味がある\_子育て短期支援事業：単数回答（Q46-1A）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)

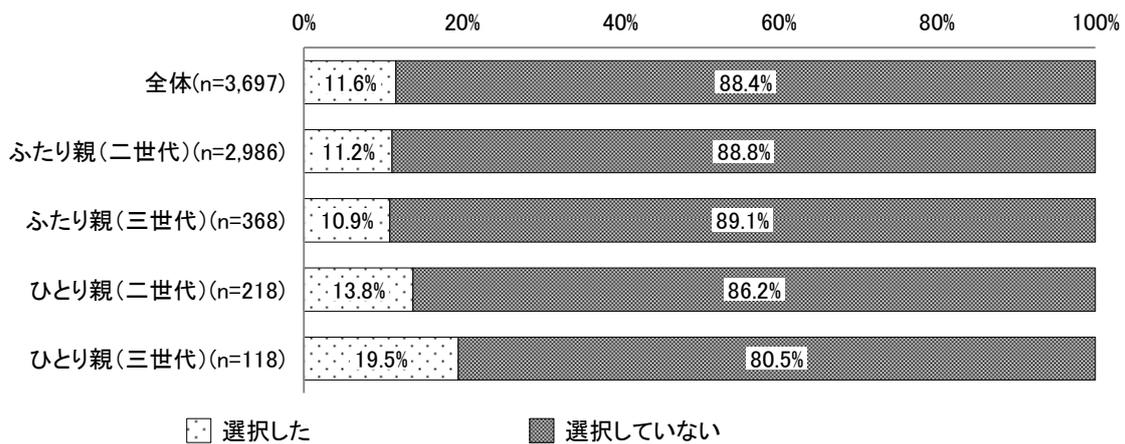


注) 対象は Q46A で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

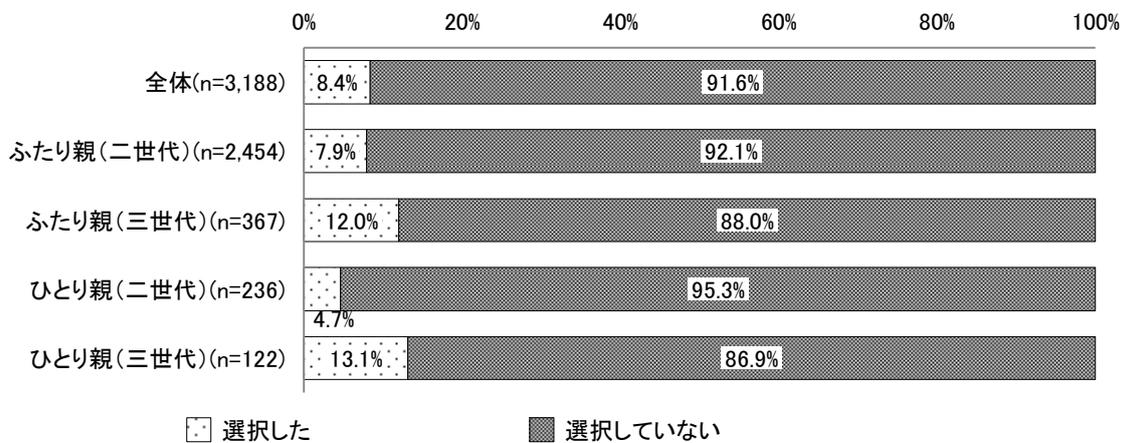
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べてひとり親（三世代）」において「選択した」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」「ひとり親（三世代）」において「選択した」とする割合が高くなっている。

図表 133 利用したことはないが興味がある\_子育て短期支援事業：単数回答（Q46-1A）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.01)



注) 対象は Q46A で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

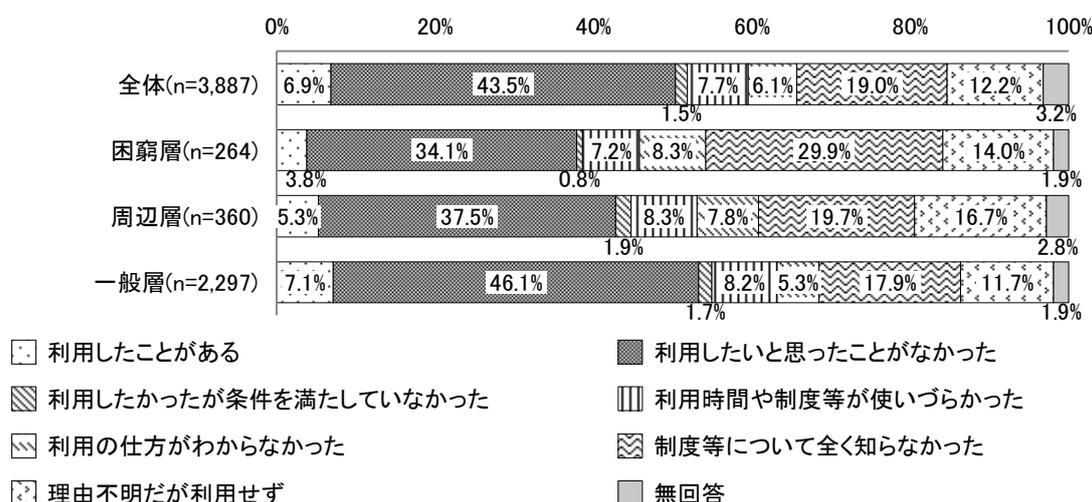
### 3) 事業や民間の取組\_ファミリー・サポート・センター

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が43.5%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が19.0%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が34.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が37.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が46.1%でもっとも割合が高くなっている。

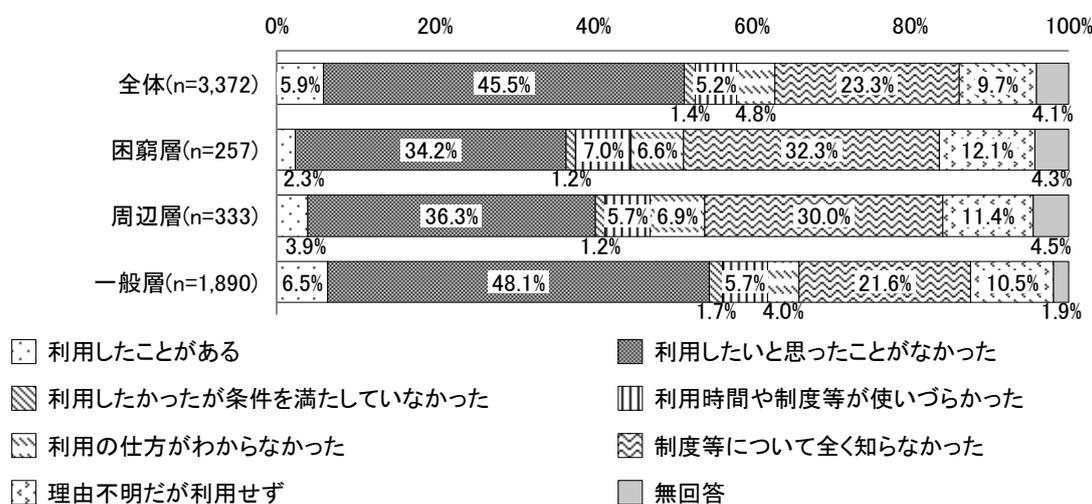
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が45.5%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が23.3%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が34.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が36.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が48.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 134 事業や民間の取組\_ファミリー・サポート・センター：単数回答 (Q46B)  
(生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



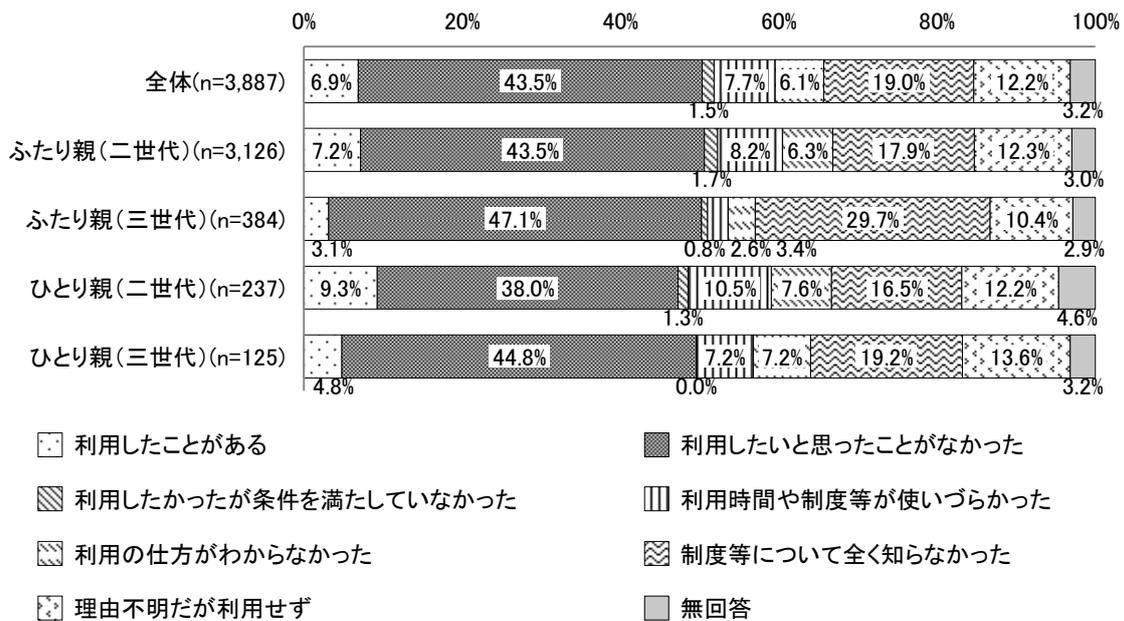
<中学生> (p<.01)



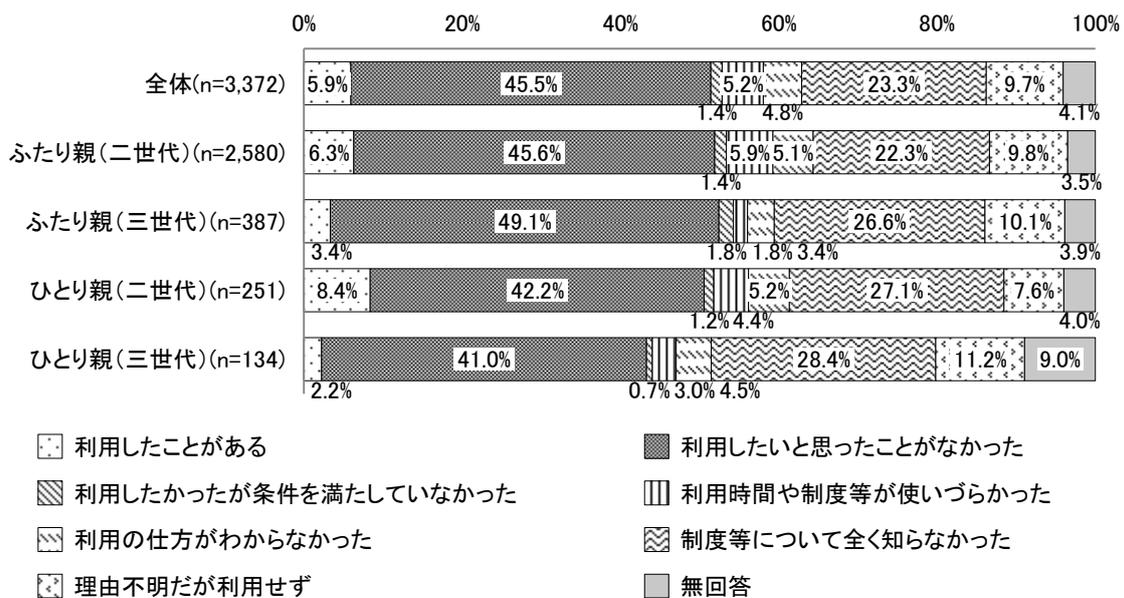
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ふたり親（三世代）」において「制度等について全く知らなかった」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（三世代）」において「制度等について全く知らなかった」とする割合が高くなっている。

図表 135 事業や民間の取組\_ファミリー・サポート・センター：単数回答（Q46B）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



#### 4) 利用したことはないが興味がある\_ファミリー・サポート・センター

小学生の「全体」では、「選択していない」が84.3%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が15.7%となっている。

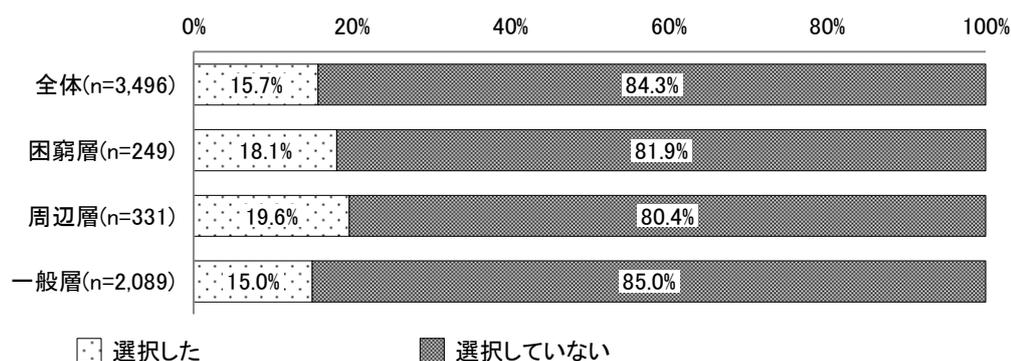
「困窮層」では、「選択していない」が81.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が80.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が85.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が87.7%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が12.3%となっている。

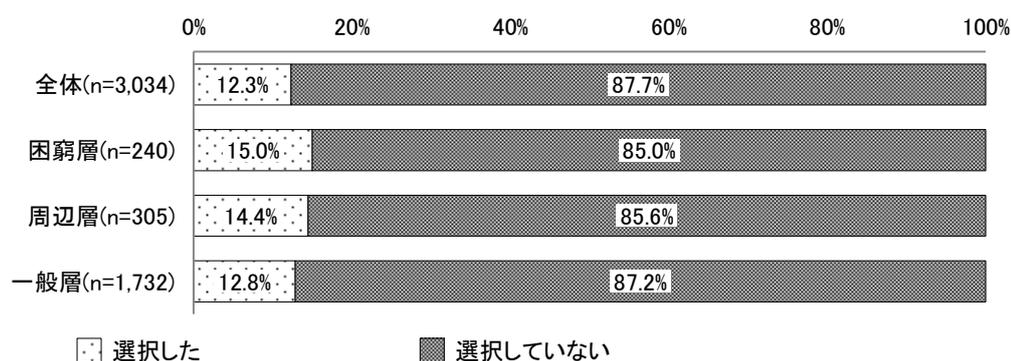
「困窮層」では、「選択していない」が85.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が85.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が87.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 136 利用したことはないが興味がある\_ファミリー・サポート・センター：単数回答  
(Q46-1B) (生活困難度別)

<小学生> (有意差なし)



<中学生> (有意差なし)



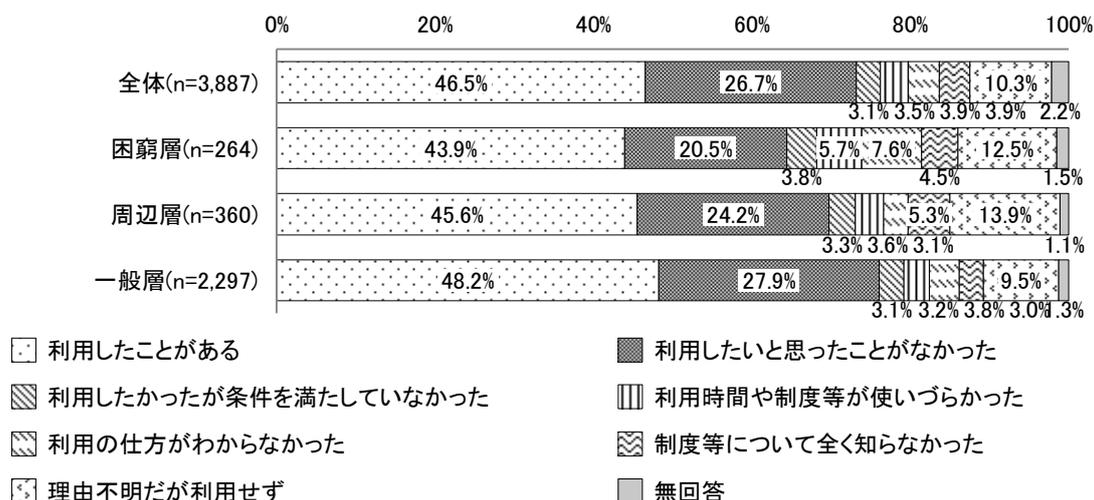
注) 対象は Q46B で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

### 5) 事業や民間の取組\_放課後に過ごせる居場所

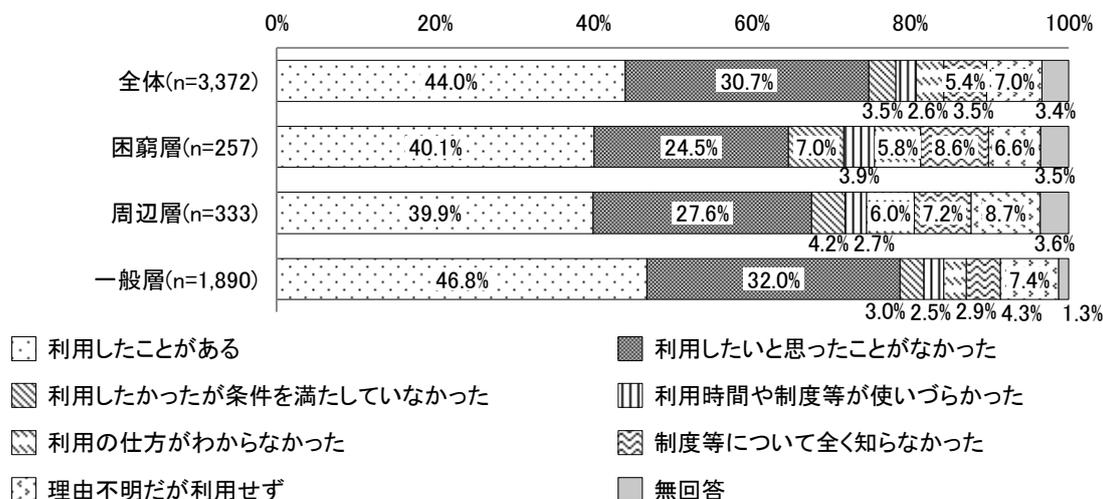
小学生の「全体」では、「利用したことがある」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」が26.7%となっている。「困窮層」では、「利用したことがある」が43.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したことがある」が45.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したことがある」が48.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「利用したことがある」が44.0%でもっとも割合が高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」が30.7%となっている。「困窮層」では、「利用したことがある」が40.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したことがある」が39.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したことがある」が46.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 137 事業や民間の取組\_放課後に過ごせる居場所：単数回答（Q46C）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）

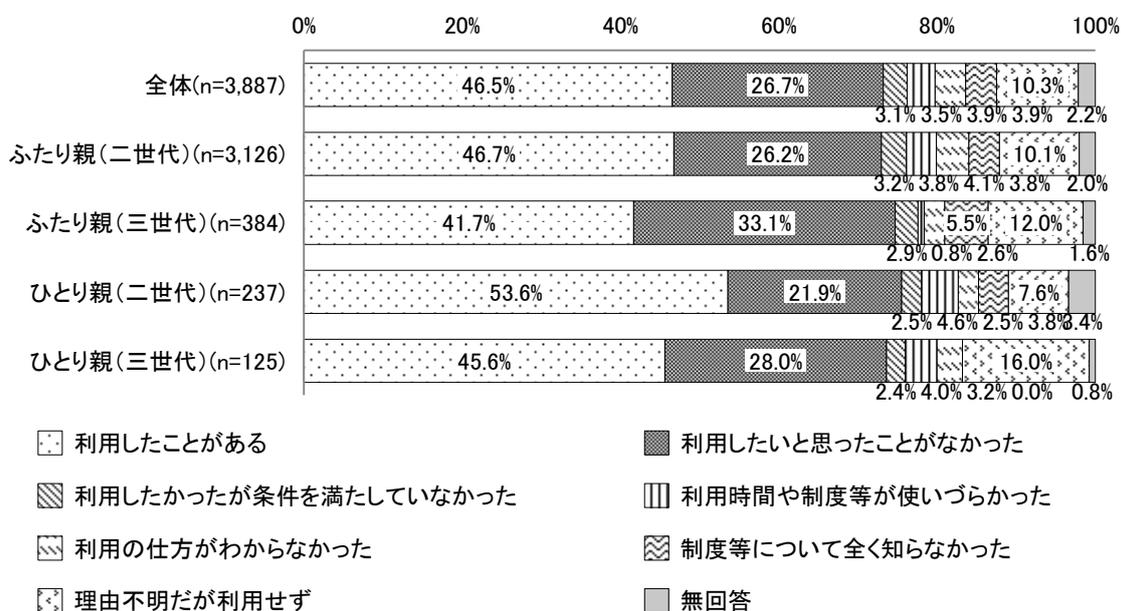


<中学生>（p<.01）

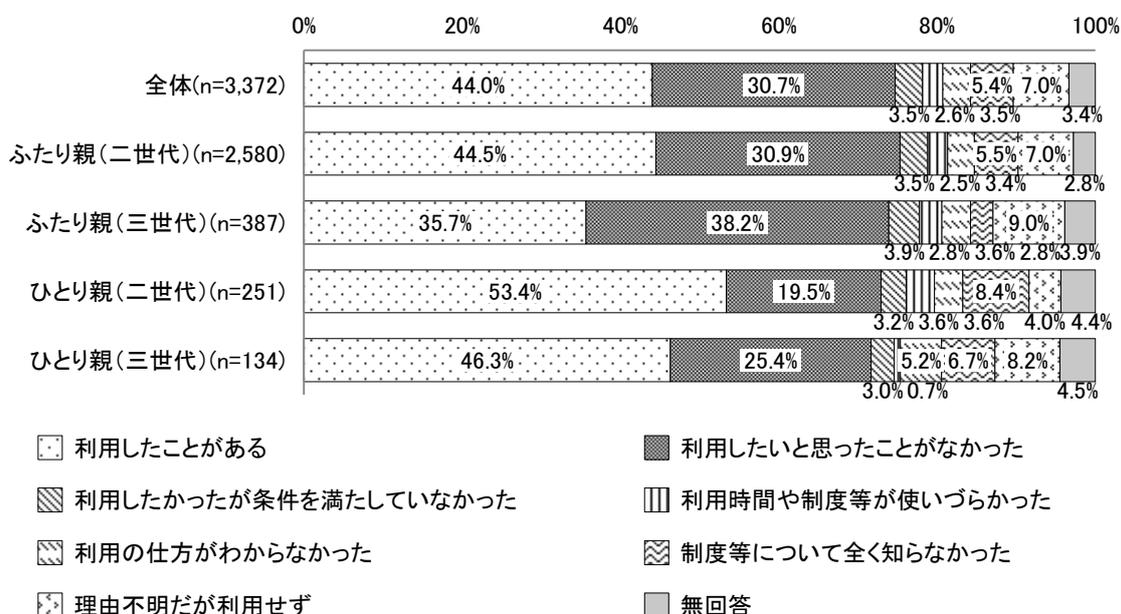


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「利用したことがある」とする割合が高くなっている。

図表 138 事業や民間の取組\_放課後に過ごせる居場所：単数回答（Q46C）（世帯タイプ別）  
 <小学生>（p<.01）



<中学生>（p<.01）



## 6) 利用したことはないが興味がある\_放課後に過ごせる居場所

小学生の「全体」では、「選択していない」が77.3%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が22.7%となっている。

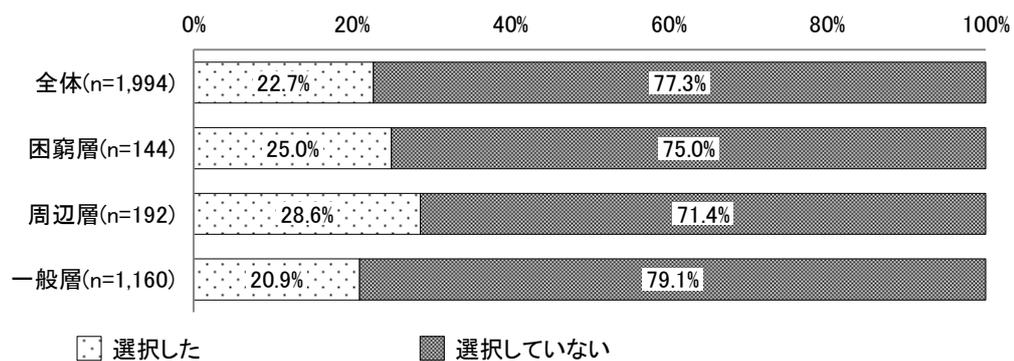
「困窮層」では、「選択していない」が75.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が71.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が79.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が84.3%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が15.7%となっている。

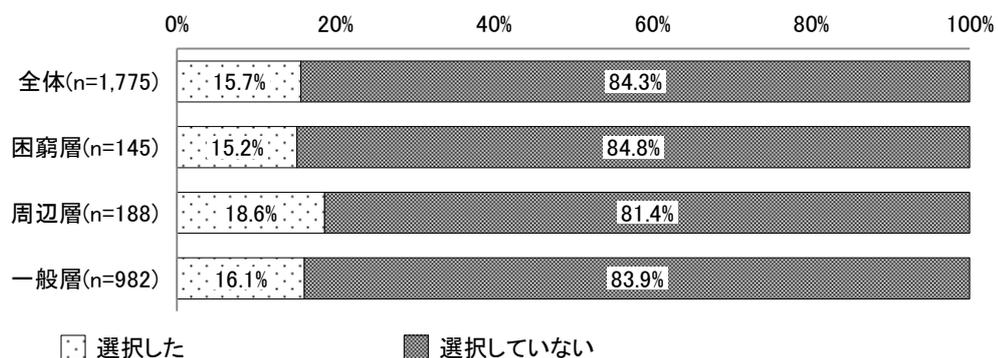
「困窮層」では、「選択していない」が84.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が81.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が83.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 139 利用したことはないが興味がある\_放課後に過ごせる居場所：単数回答（Q46-1C）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (有意差なし)



注) 対象は Q46C で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

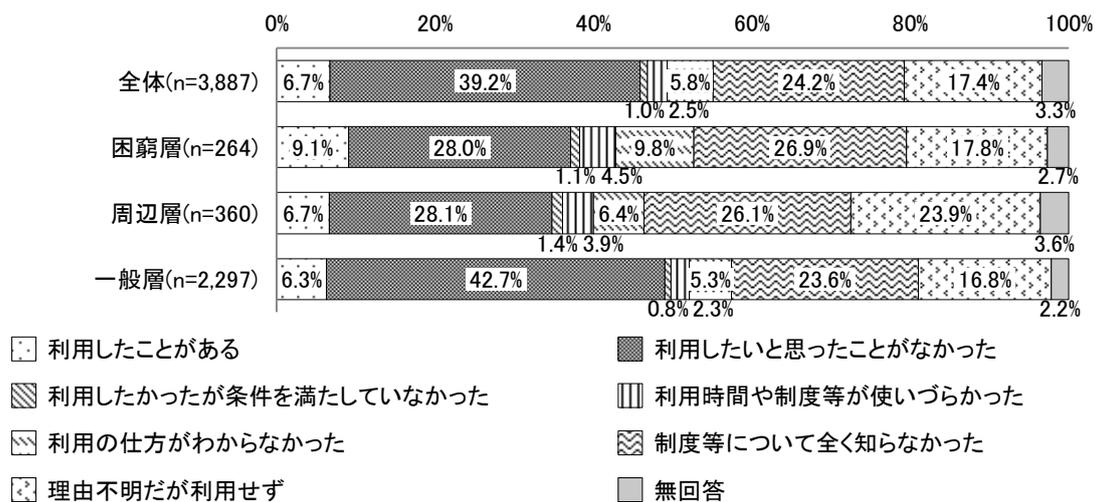
## 7) 事業や民間の取組\_学校以外が実施する学習支援

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が39.2%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が24.2%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が28.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が28.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が42.7%でもっとも割合が高くなっている。

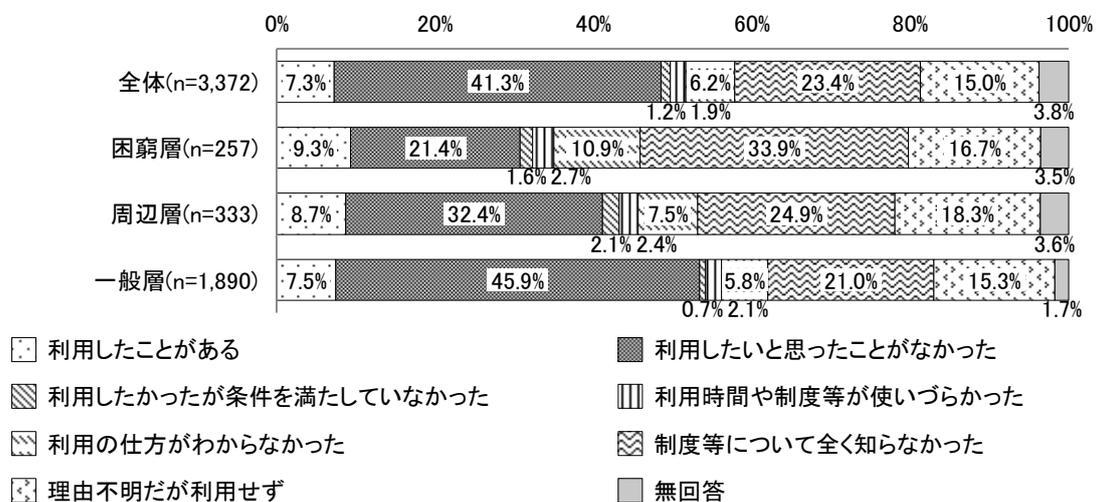
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が41.3%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が23.4%となっている。「困窮層」では、「制度等について全く知らなかった」が33.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が32.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が45.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 140 事業や民間の取組\_学校以外が実施する学習支援：単数回答（Q46D）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



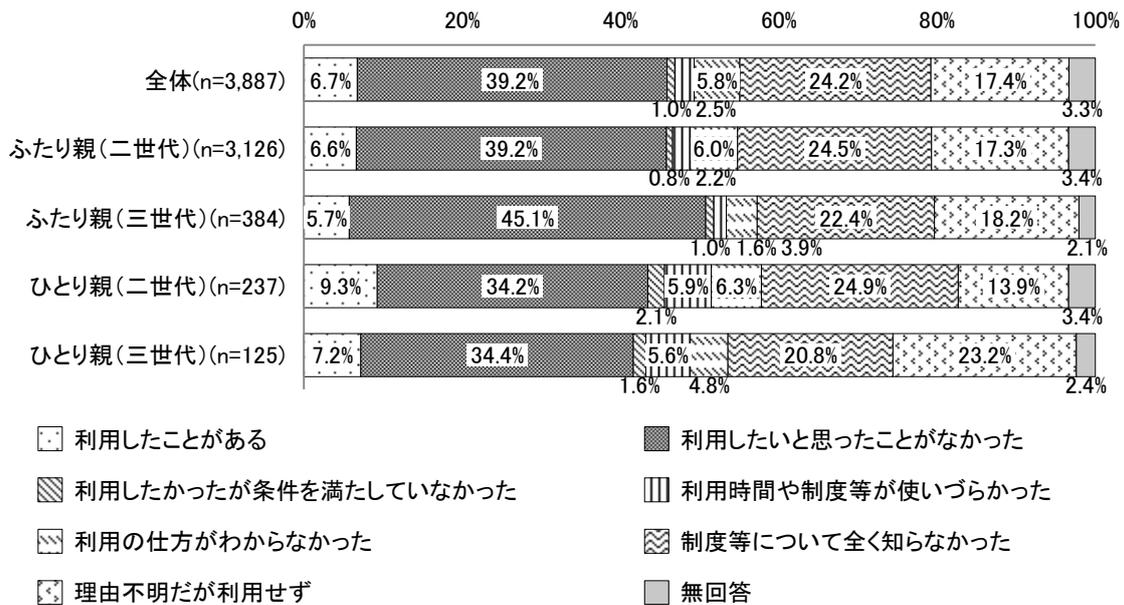
<中学生> (p<.01)



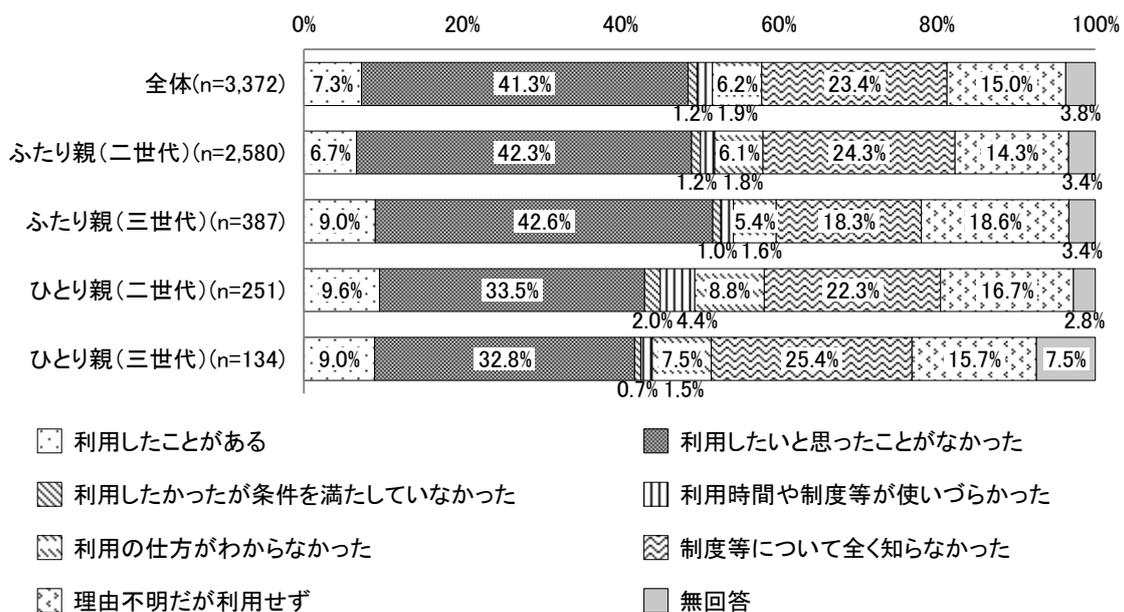
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「利用したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「利用したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 141 事業や民間の取組\_学校以外が実施する学習支援：単数回答（Q46D）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



8) 利用したことはないが興味がある\_学校以外が実施する学習支援

小学生の「全体」では、「選択していない」が76.1%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が23.9%となっている。

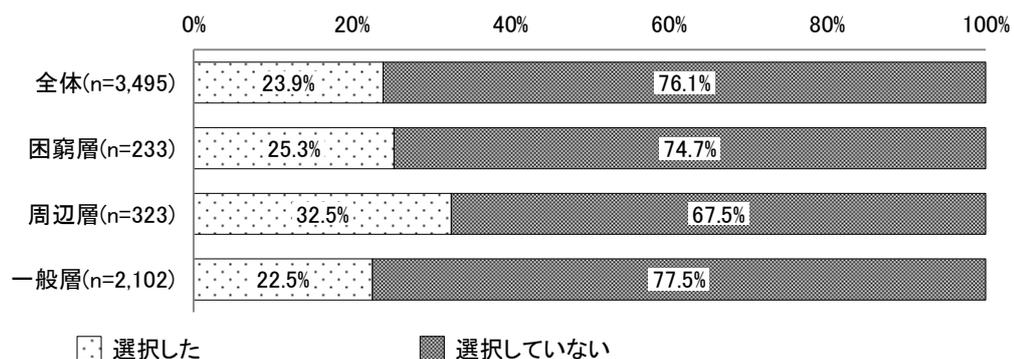
「困窮層」では、「選択していない」が74.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が67.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が77.5%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が79.1%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が20.9%となっている。

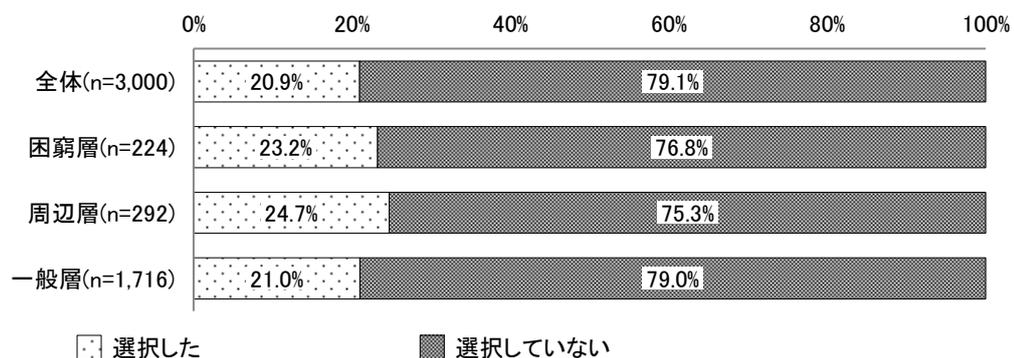
「困窮層」では、「選択していない」が76.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が75.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が79.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 142 利用したことはないが興味がある\_学校以外が実施する学習支援：単数回答（Q46-1D）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (有意差なし)



注) 対象は Q46D で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

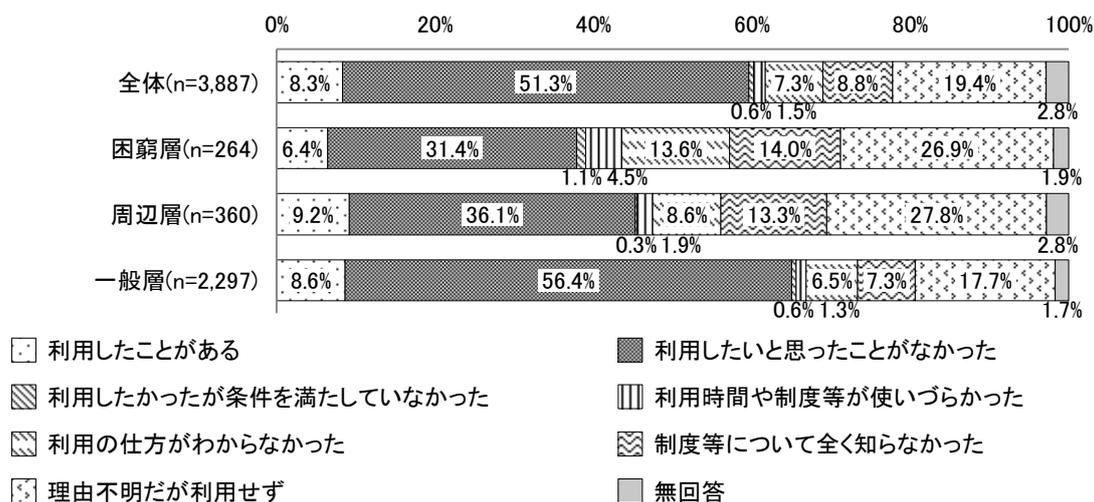
### 9) 事業や民間の取組\_こども食堂

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が51.3%でもっとも割合が高く、次いで「理由不明だが利用せず」が19.4%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が31.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が36.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が56.4%でもっとも割合が高くなっている。

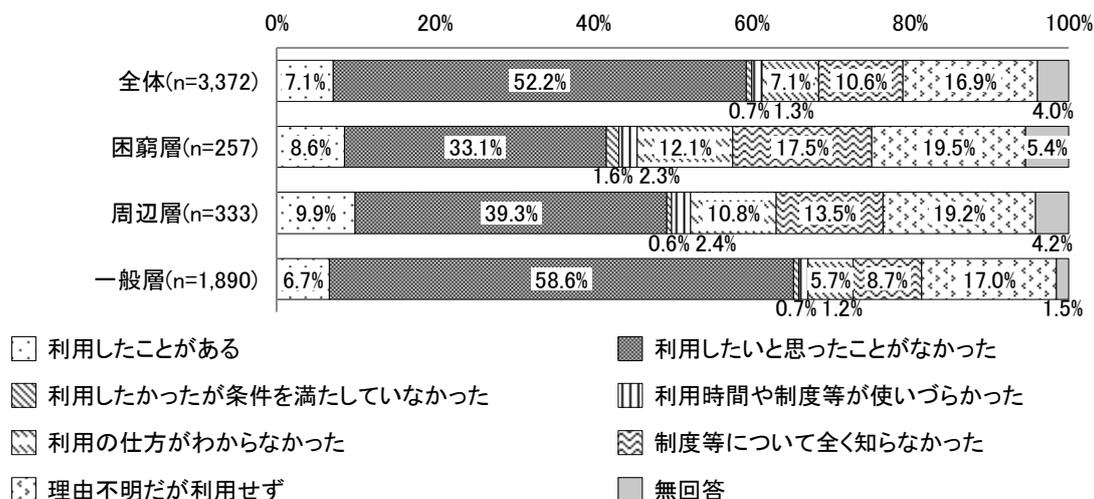
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が52.2%でもっとも割合が高く、次いで「理由不明だが利用せず」が16.9%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が33.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が39.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が58.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 143 事業や民間の取組\_こども食堂：単数回答（Q46E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

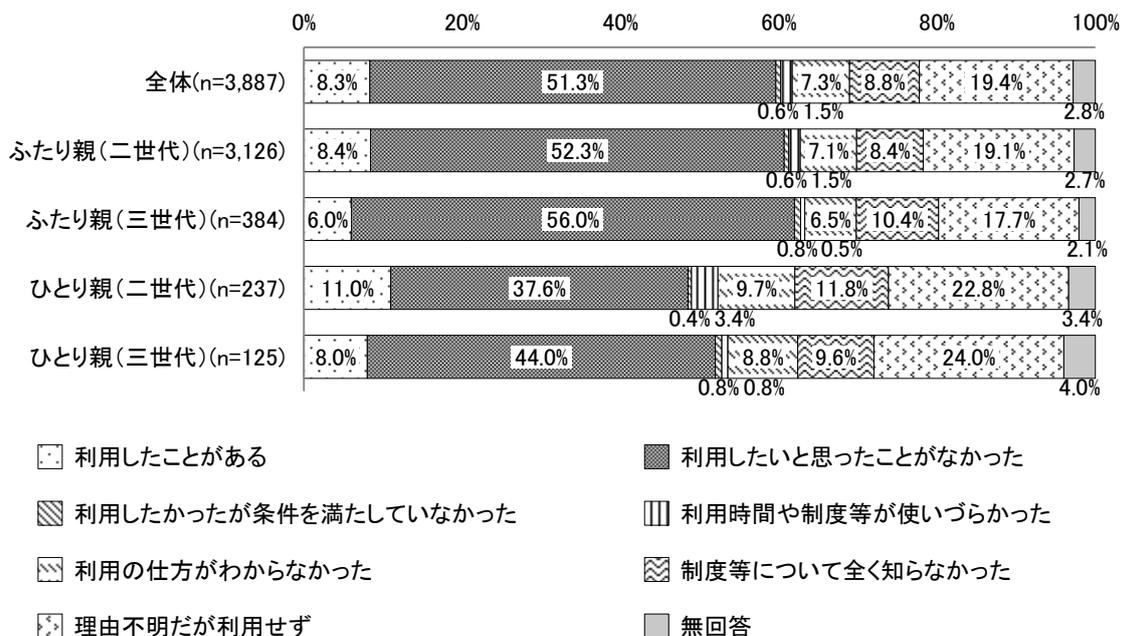


<中学生> (p<.01)

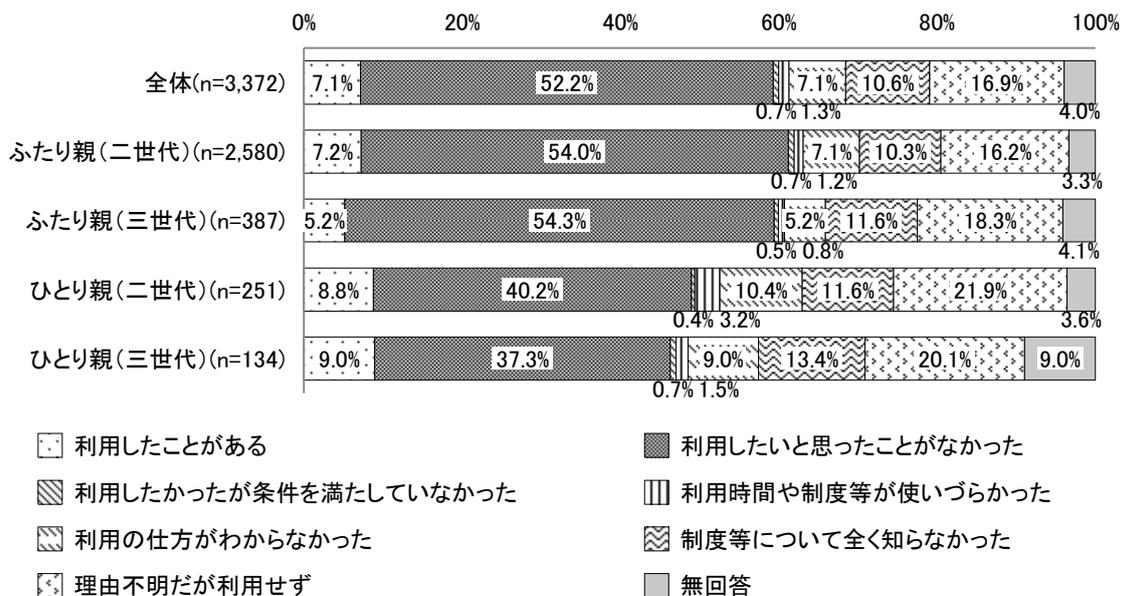


世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「理由不明だが利用せず」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「利用したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 144 事業や民間の取組\_子ども食堂：単数回答（Q46E）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 10) 利用したことはないが興味がある\_こども食堂

小学生の「全体」では、「選択していない」が75.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が24.8%となっている。

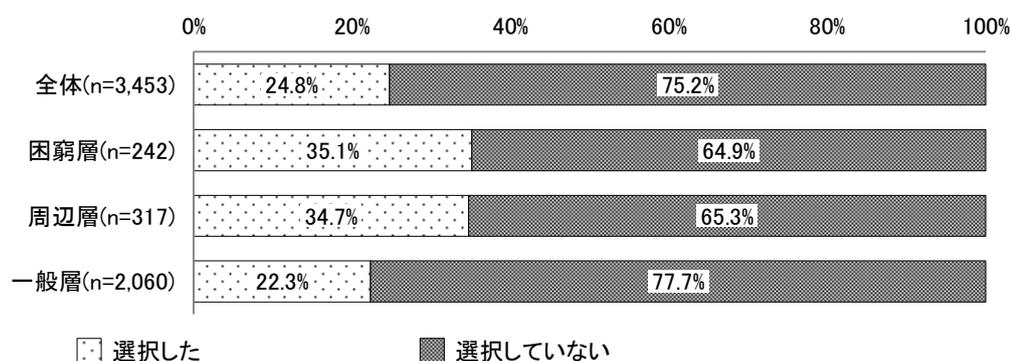
「困窮層」では、「選択していない」が64.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が65.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が77.7%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が78.5%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が21.5%となっている。

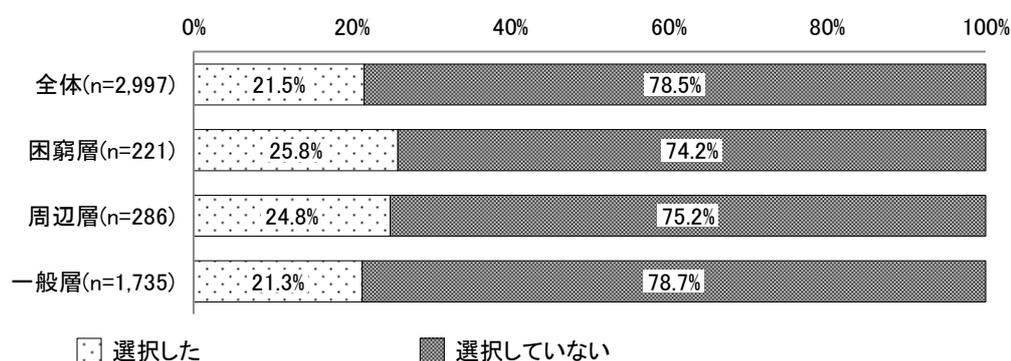
「困窮層」では、「選択していない」が74.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が75.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が78.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 145 利用したことはないが興味がある\_こども食堂：単数回答（Q46-1E）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (有意差なし)

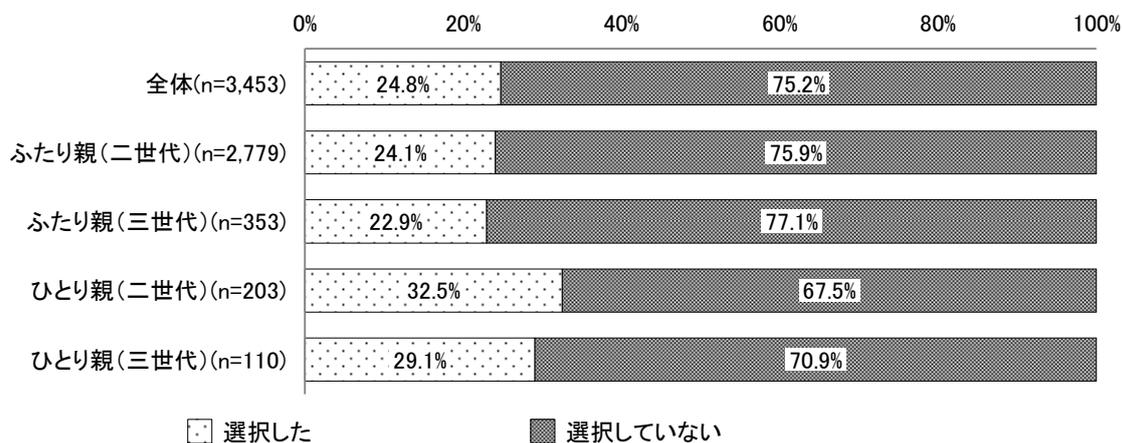


注) 対象は Q46E で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

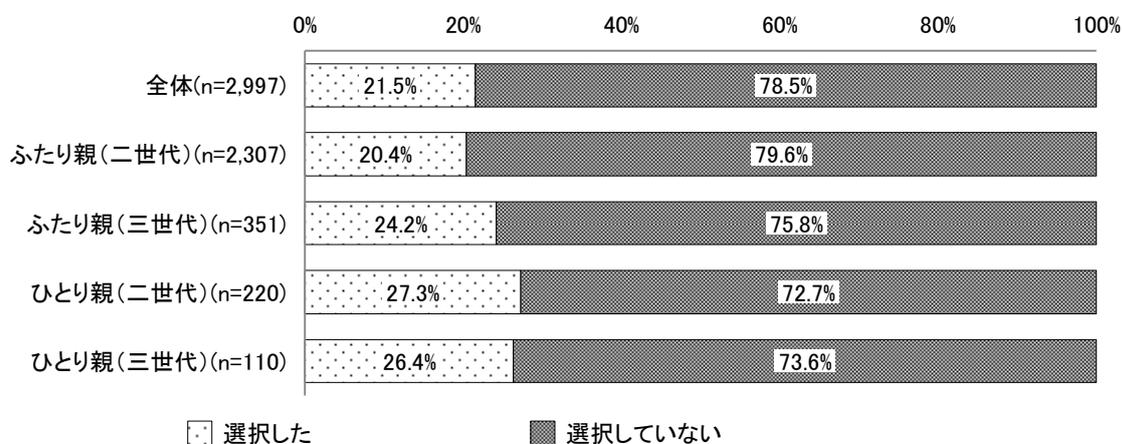
世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世代）」において「選択した」とする割合が高くなっている。

図表 146 利用したことはないが興味がある\_こども食堂：単数回答（Q46-1E）  
（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.05)



<中学生> (p<.05)



注) 対象は Q46E で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

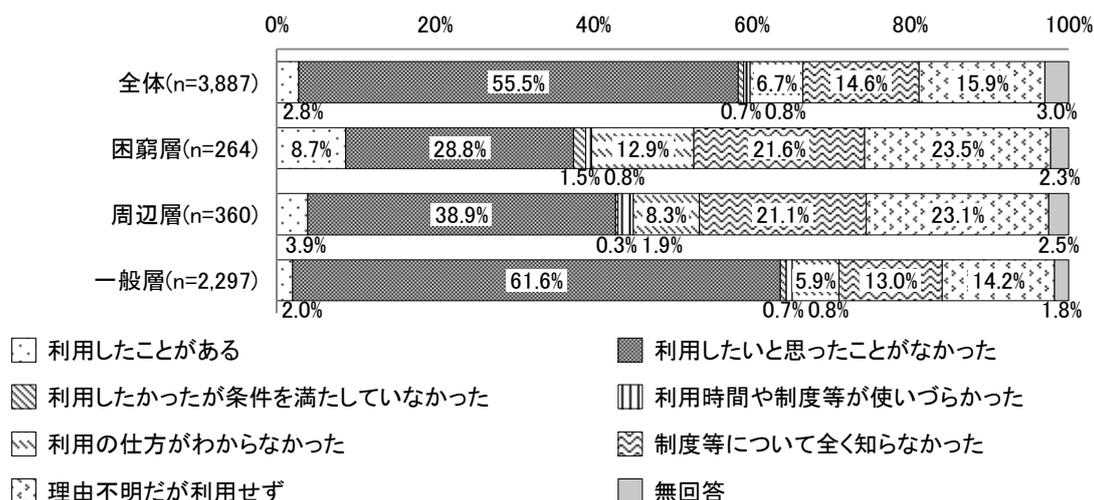
### 11) 事業や民間の取組\_フードバンク等の食料支援

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が55.5%でもっとも割合が高く、次いで「理由不明だが利用せず」が15.9%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が28.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が38.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が61.6%でもっとも割合が高くなっている。

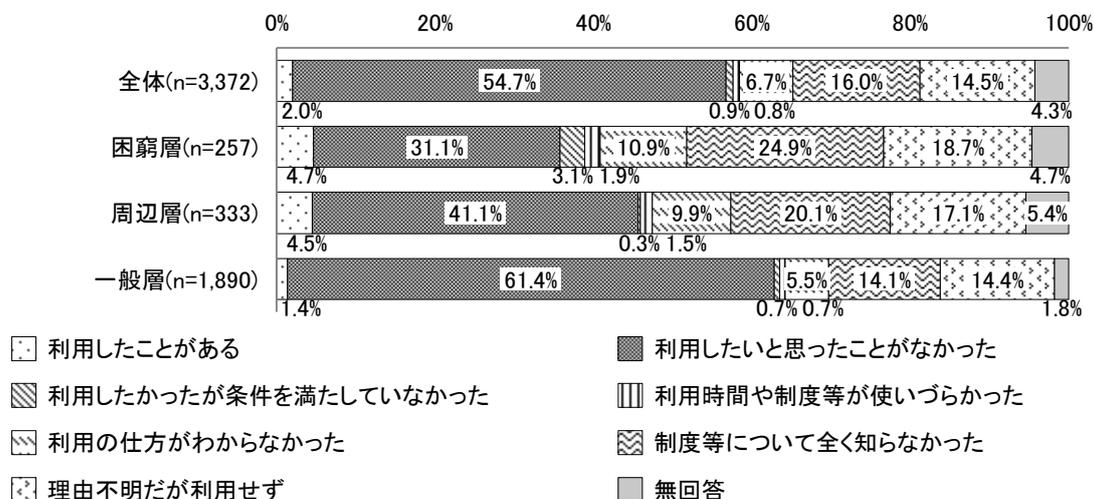
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「制度等について全く知らなかった」が16.0%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が31.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が41.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が61.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 147 事業や民間の取組\_フードバンク等の食料支援：単数回答（Q46F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)

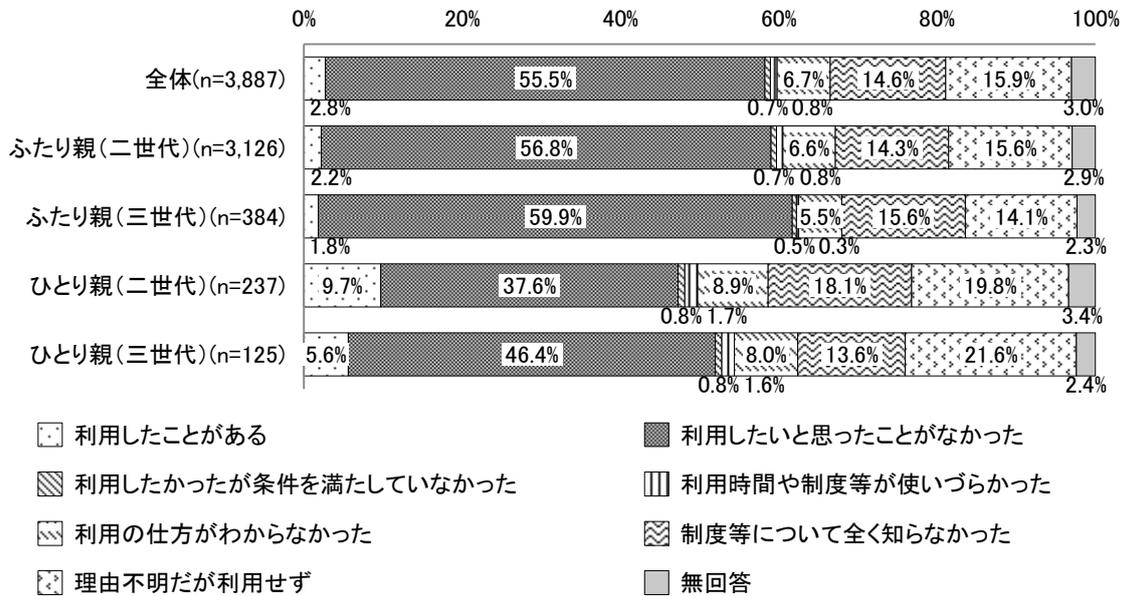


<中学生> (p<.01)

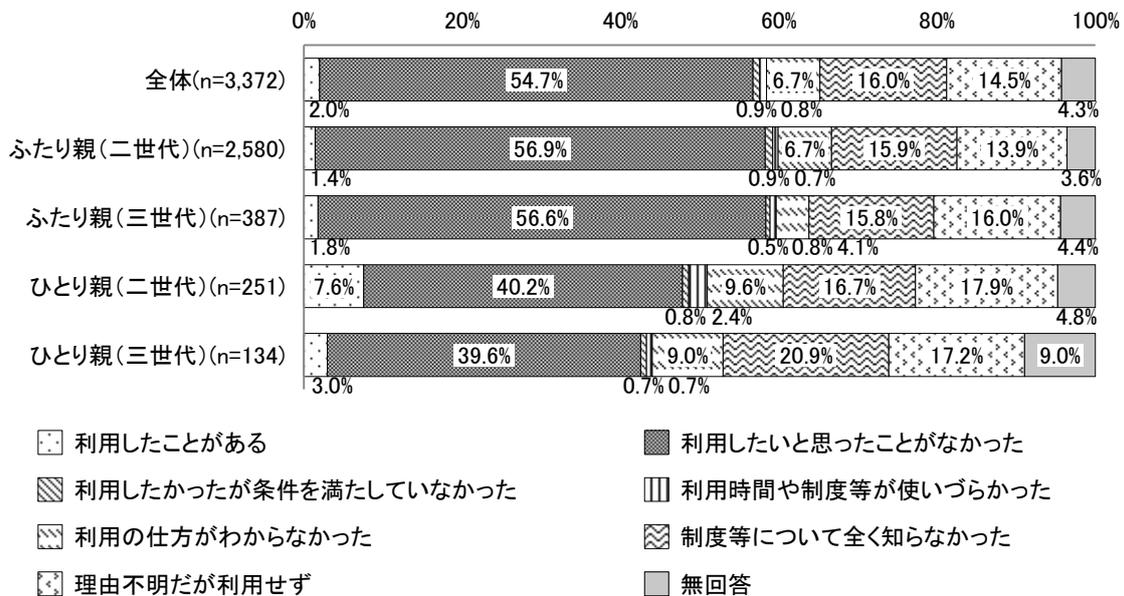


世帯タイプ別にみると、小中学生ともに、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「利用したいと思ったことがなかった」とする割合が低くなっている。

図表 148 事業や民間の取組\_フードバンク等の食料支援：単数回答（Q46F）（世帯タイプ別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 12) 利用したことはないが興味がある\_フードバンク等の食料支援

小学生の「全体」では、「選択していない」が80.8%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が19.2%となっている。

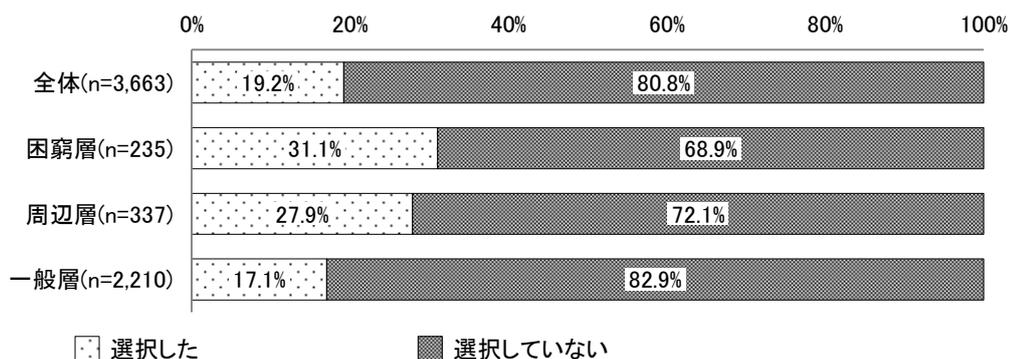
「困窮層」では、「選択していない」が68.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が72.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が82.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が82.0%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が18.0%となっている。

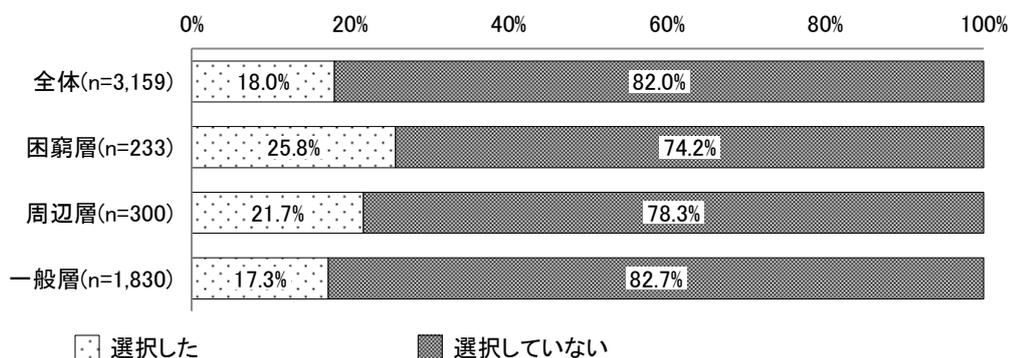
「困窮層」では、「選択していない」が74.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が78.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が82.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 149 利用したことはないが興味がある\_フードバンク等の食料支援：単数回答（Q46-1F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)

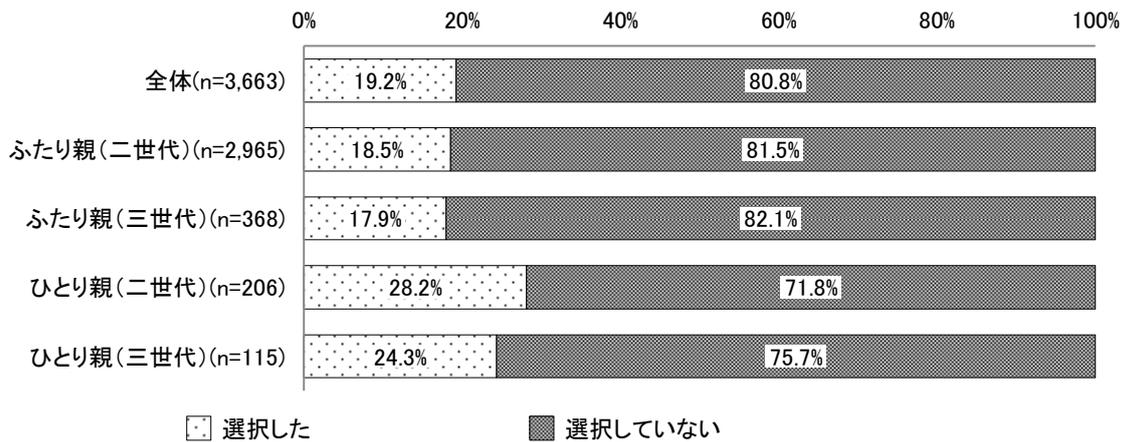


注) 対象は Q46F で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

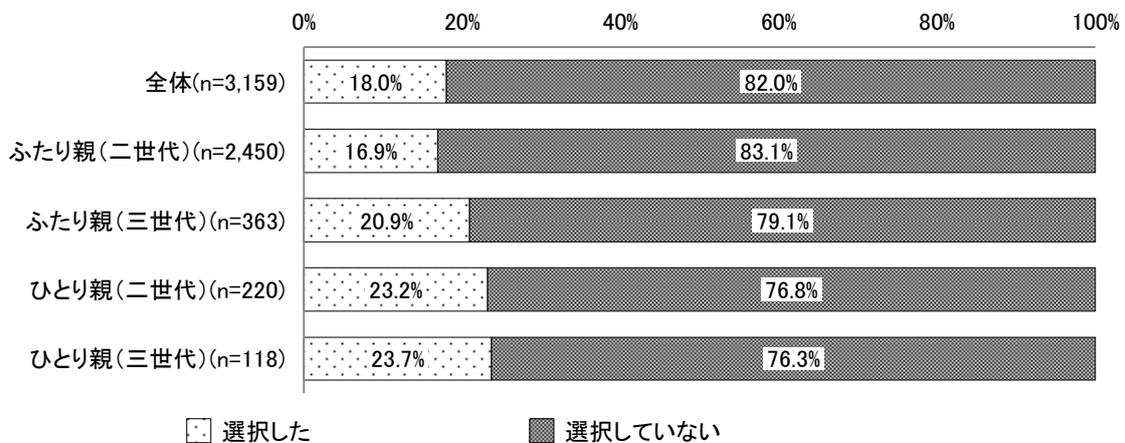
世帯タイプ別にみると、小学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」において「選択した」とする割合が高くなっている。中学生では、全体に比べて「ひとり親（二世帯）」「ひとり親（三世帯）」において「選択した」とする割合が高くなっている。

図表 150 利用したことはないが興味がある\_フードバンク等の食料支援：単数回答（Q46-1F）（世帯タイプ別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.05)



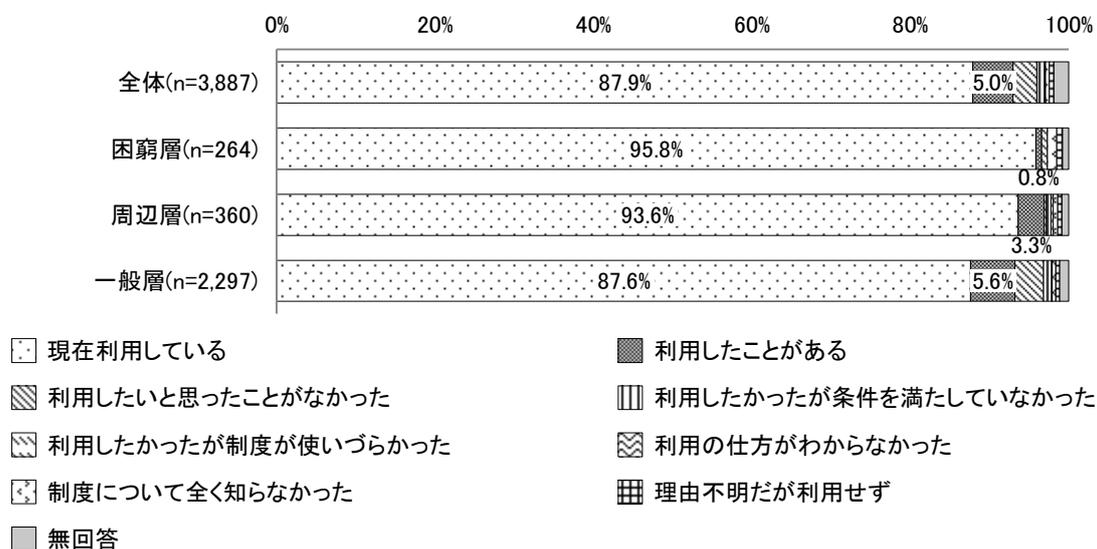
注) 対象は Q46F で「利用したことがある」以外を選択した者に限定

### 13) 公的扶助、支援制度等\_児童手当

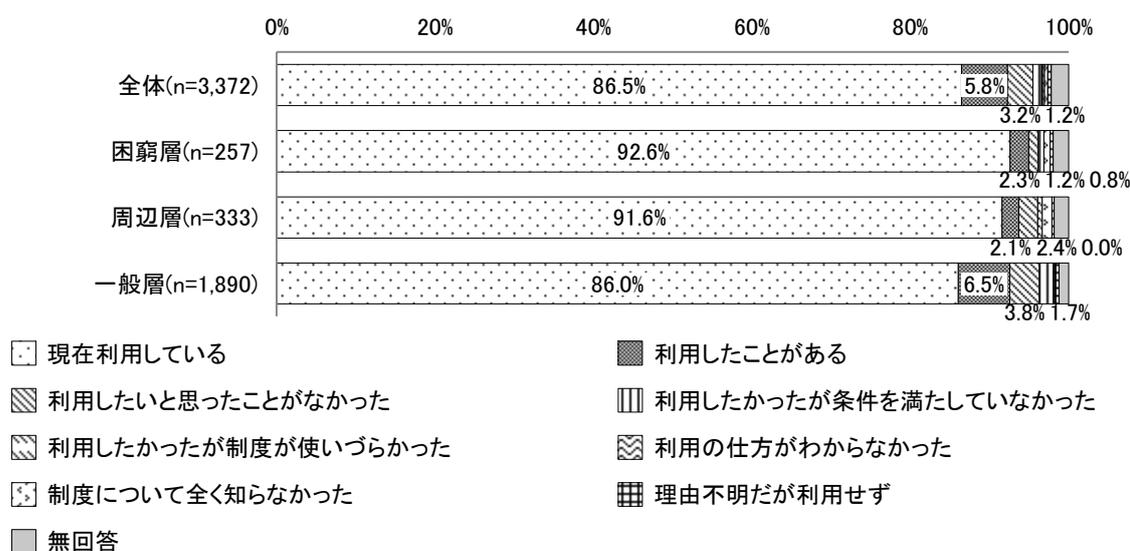
小学生の「全体」では、「現在利用している」が87.9%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことがある」が5.0%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が95.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「現在利用している」が93.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「現在利用している」が87.6%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「現在利用している」が86.5%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことがある」が5.8%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が92.6%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「現在利用している」が91.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「現在利用している」が86.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 151 公的扶助、支援制度等\_児童手当：単数回答（Q47A）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）



<中学生>（検定不可）



<数値表：小学生>

	合計	Q47A 公的扶助、支援制度等 児童手当								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,887	87.9	5.0	3.0	1.0	0.0	0.1	0.5	0.5	1.9
困窮層	264	95.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8	0.8
周辺層	360	93.6	3.3	0.3	0.6	0.0	0.3	0.6	0.6	0.8
一般層	2,297	87.6	5.6	3.7	1.0	0.0	0.0	0.4	0.5	1.1

<数値表：中学生>

	合計	Q47A 公的扶助、支援制度等 児童手当								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,372	86.5	5.8	3.2	1.2	0.1	0.3	0.4	0.4	2.2
困窮層	257	92.6	2.3	1.2	0.8	0.0	0.0	0.8	0.4	1.9
周辺層	333	91.6	2.1	2.4	0.0	0.0	0.6	1.2	0.3	1.8
一般層	1,890	86.0	6.5	3.8	1.7	0.0	0.2	0.2	0.4	1.2

#### 14) 利用したことはないが興味がある\_児童手当

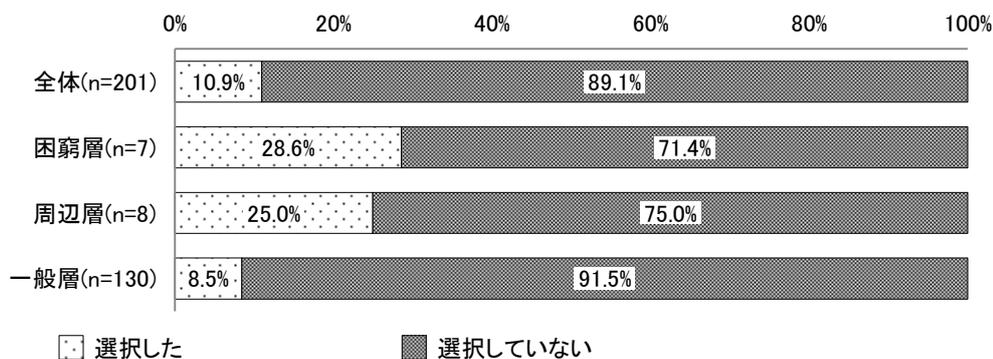
小学生の「全体」では、「選択していない」が 89.1%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が 10.9%となっている。

「困窮層」では、「選択していない」が 71.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が 75.0%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が 91.5%でもっとも割合が高くなっている。

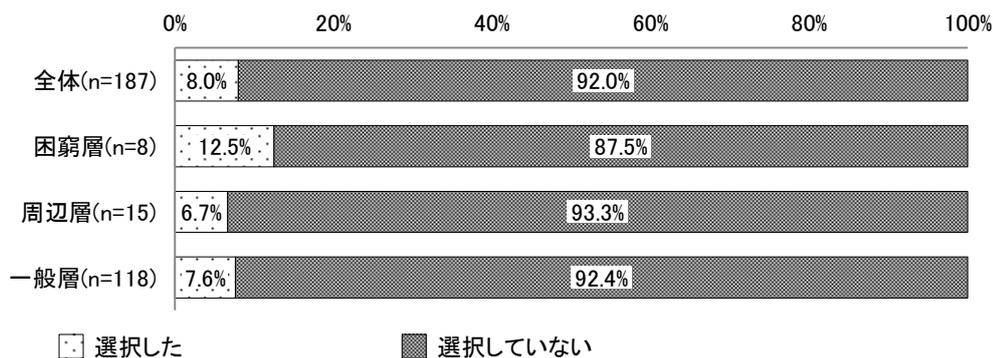
中学生の「全体」では、「選択していない」が 92.0%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が 8.0%となっている。

「困窮層」では、「選択していない」が 87.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が 93.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が 92.4%でもっとも割合が高くなっている。

図表 152 利用したことはないが興味がある\_児童手当：単数回答（Q47-1A）（生活困難度別）  
 <小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



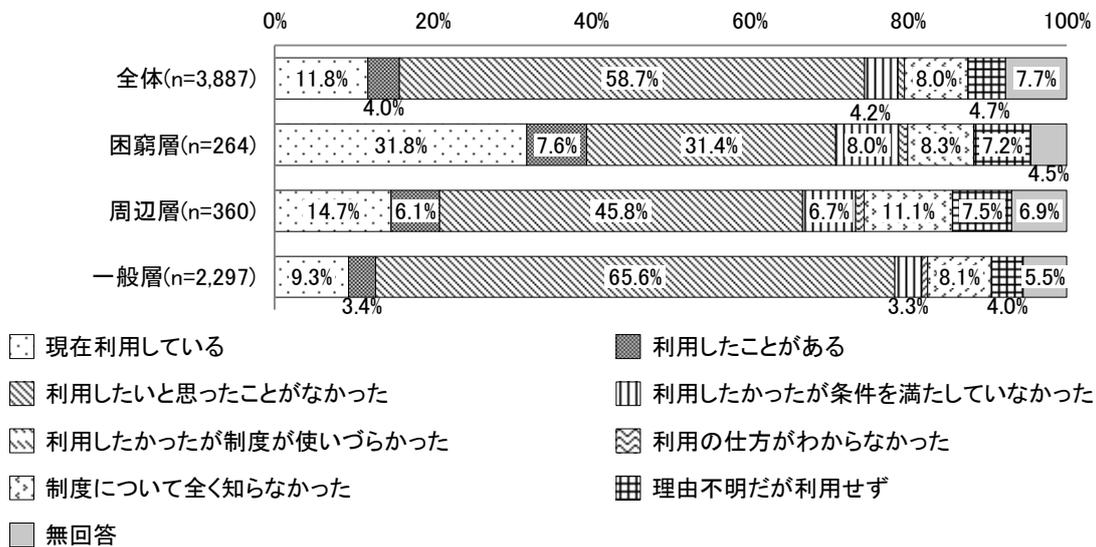
注) 対象は Q47A で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

15) 公的扶助、支援制度等\_児童扶養手当

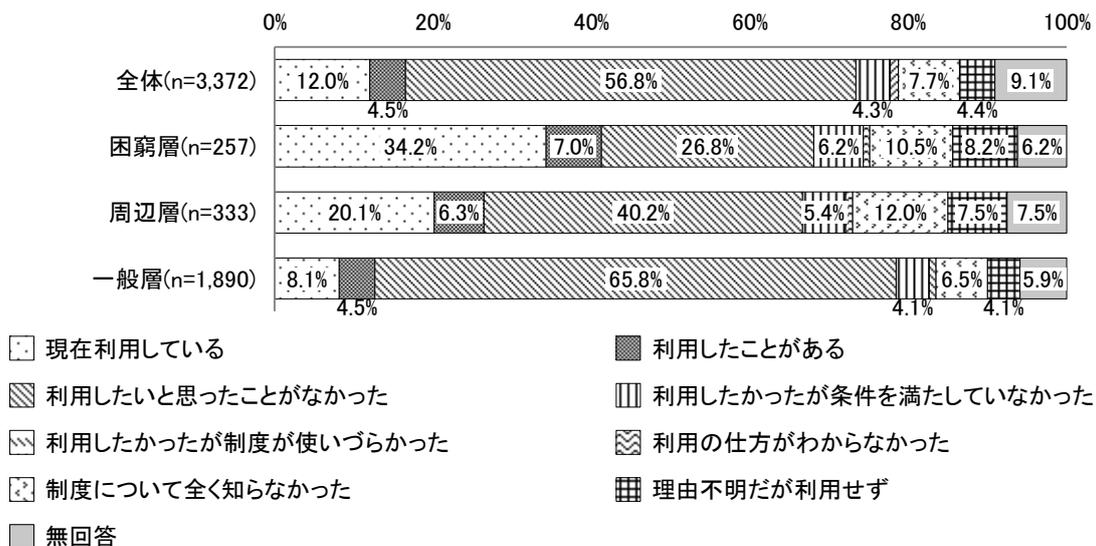
小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 58.7%でもっとも割合が高く、次いで「現在利用している」が 11.8%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が 31.8%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 45.8%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 65.6%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 56.8%でもっとも割合が高く、次いで「現在利用している」が 12.0%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が 34.2%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 40.2%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が 65.8%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 153 公的扶助、支援制度等\_児童扶養手当：単数回答（Q47B）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q47B 公的扶助、支援制度等 児童扶養手当								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,887	11.8	4.0	58.7	4.2	0.1	0.8	8.0	4.7	7.7
困窮層	264	31.8	7.6	31.4	8.0	0.0	1.1	8.3	7.2	4.5
周辺層	360	14.7	6.1	45.8	6.7	0.0	1.1	11.1	7.5	6.9
一般層	2,297	9.3	3.4	65.6	3.3	0.1	0.7	8.1	4.0	5.5

<数値表：中学生>

	合計	Q47B 公的扶助、支援制度等 児童扶養手当								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,372	12.0	4.5	56.8	4.3	0.1	1.0	7.7	4.4	9.1
困窮層	257	34.2	7.0	26.8	6.2	0.0	0.8	10.5	8.2	6.2
周辺層	333	20.1	6.3	40.2	5.4	0.0	0.9	12.0	7.5	7.5
一般層	1,890	8.1	4.5	65.8	4.1	0.1	0.8	6.5	4.1	5.9

### 16) 利用したことはないが興味がある\_児童扶養手当

小学生の「全体」では、「選択していない」が93.4%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.6%となっている。

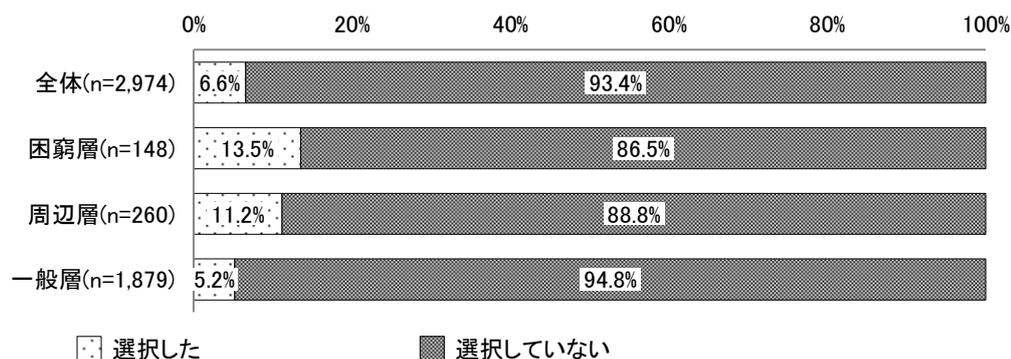
「困窮層」では、「選択していない」が86.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が88.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が94.8%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が93.5%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.5%となっている。

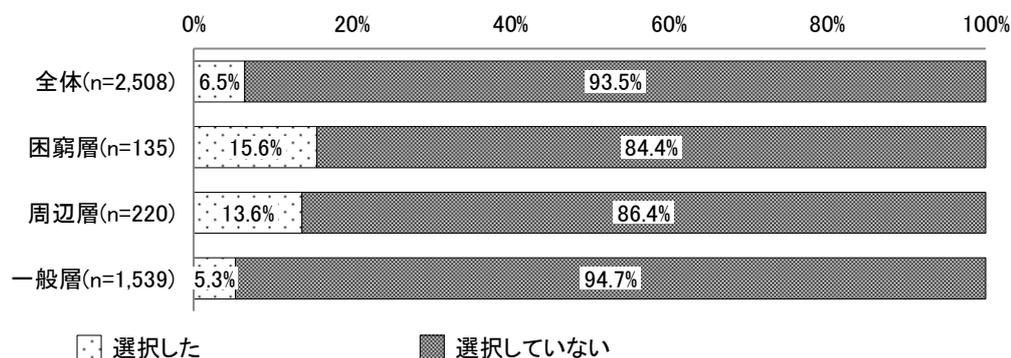
「困窮層」では、「選択していない」が84.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が86.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が94.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 154 利用したことはないが興味がある\_児童扶養手当：単数回答（Q47-1B）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



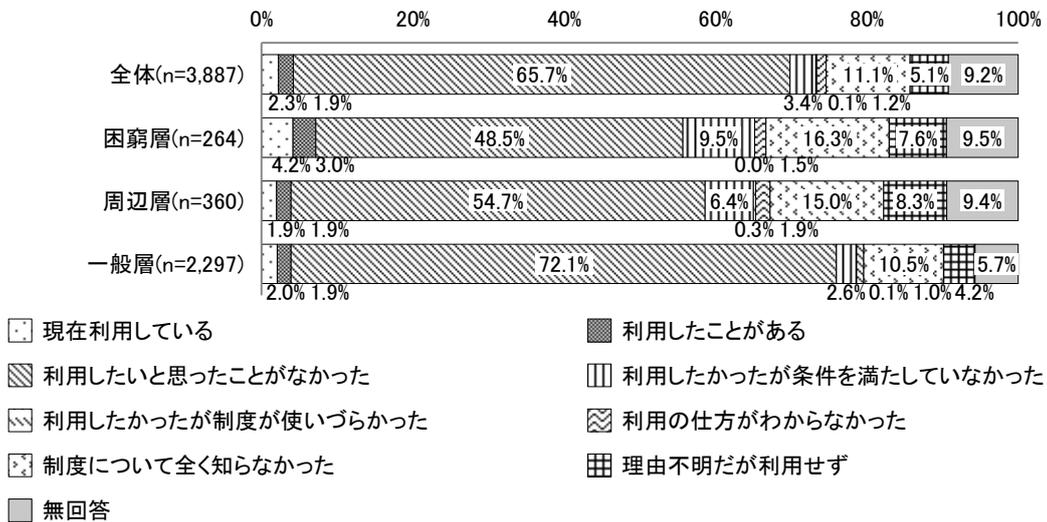
注) 対象は Q47B で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

17) 公的扶助、支援制度等\_特別児童扶養手当

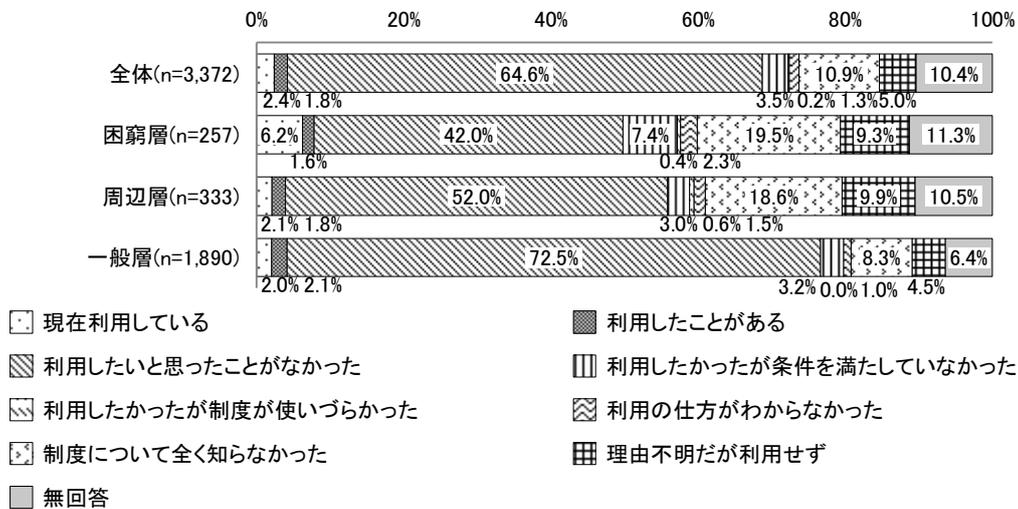
小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が65.7%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が11.1%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が48.5%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が54.7%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が72.1%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が64.6%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が10.9%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が42.0%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が52.0%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が72.5%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 155 公的扶助、支援制度等\_特別児童扶養手当：単数回答（Q47C）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 18) 利用したことはないが興味がある\_特別児童扶養手当

小学生の「全体」では、「選択していない」が93.8%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.2%となっている。

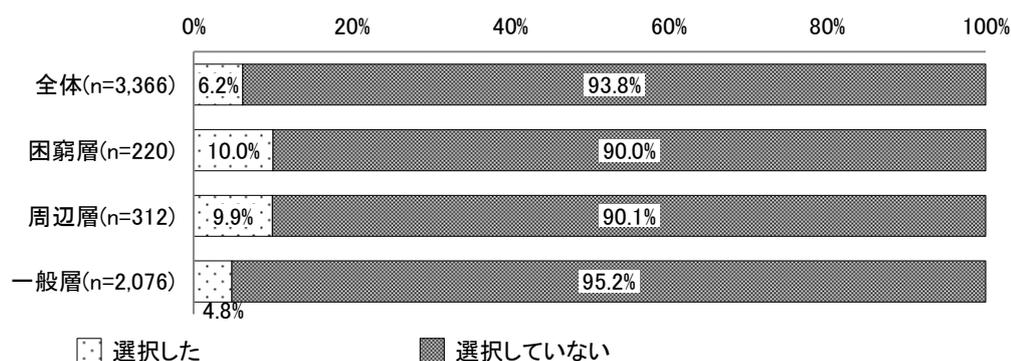
「困窮層」では、「選択していない」が90.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が90.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が95.2%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が93.7%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.3%となっている。

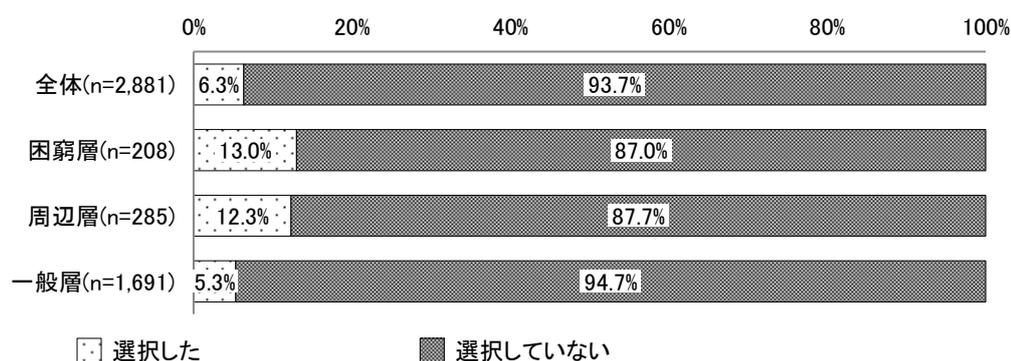
「困窮層」では、「選択していない」が87.0%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が87.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が94.7%でもっとも割合が高くなっている。

図表 156 利用したことはないが興味がある\_特別児童扶養手当：単数回答（Q47-1C）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



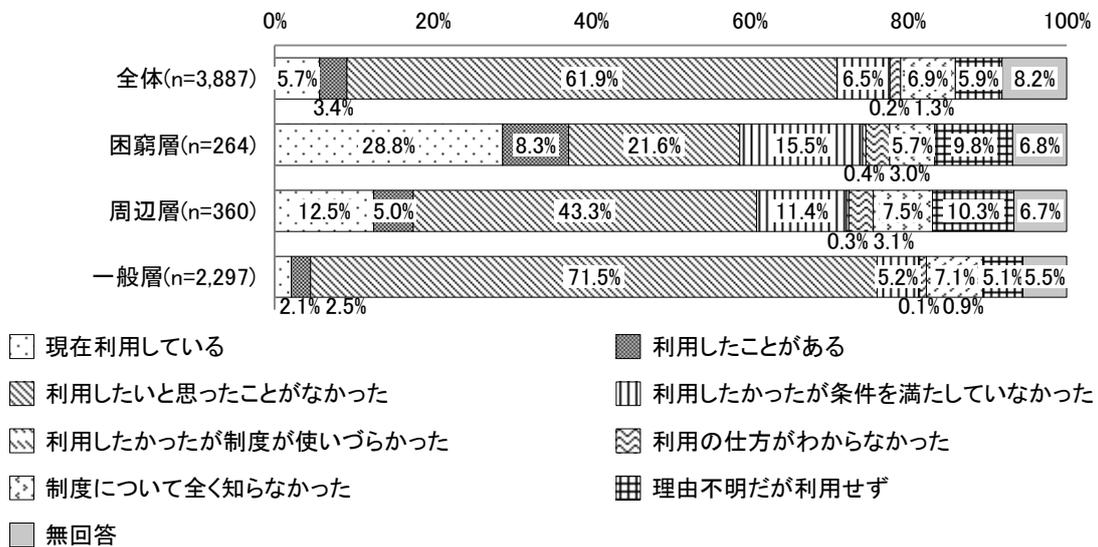
注) 対象は Q47C で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

### 19) 公的扶助、支援制度等\_就学援助費

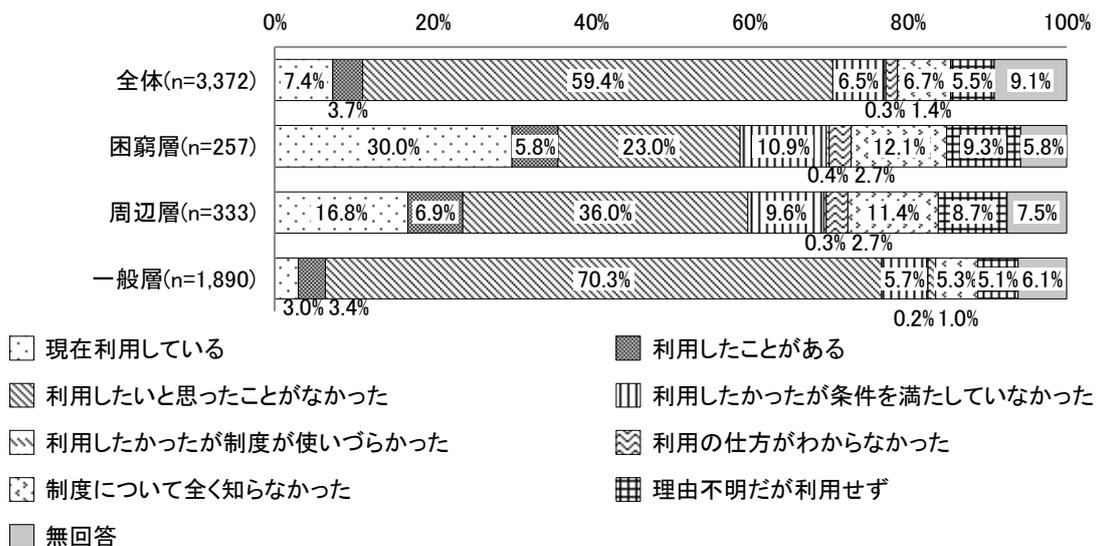
小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が61.9%でもっとも割合が高く、次いで「制度について知らなかった」が6.9%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が28.8%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が43.3%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が71.5%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が59.4%でもっとも割合が高く、次いで「現在利用している」が7.4%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が30.0%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が36.0%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が70.3%でもっとも割合が高くなっている。

図表 157 公的扶助、支援制度等\_就学援助費：単数回答（Q47D）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）



<中学生>（p<.01）



## 20) 利用したことはないが興味がある\_就学援助費

小学生の「全体」では、「選択していない」が92.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が7.8%となっている。

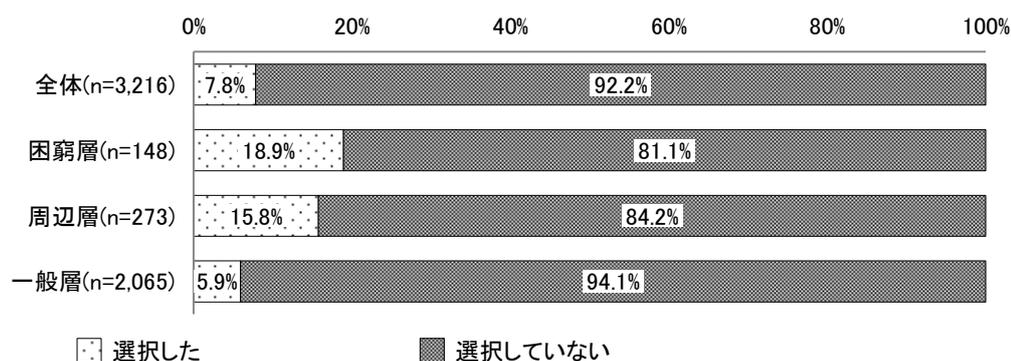
「困窮層」では、「選択していない」が81.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が84.2%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が94.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が92.5%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が7.5%となっている。

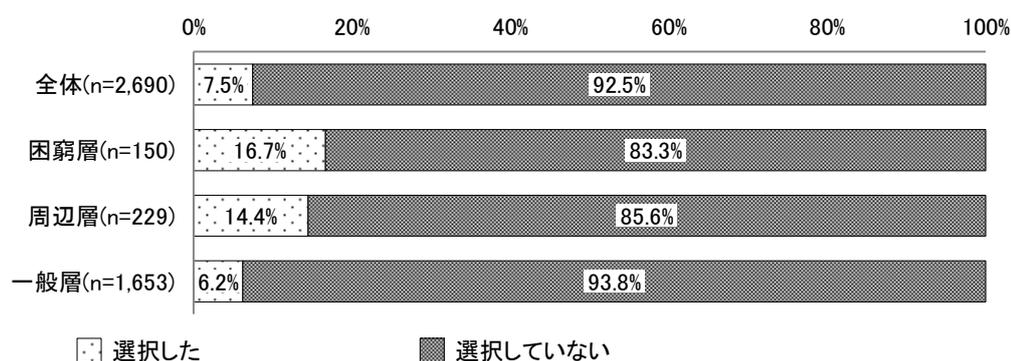
「困窮層」では、「選択していない」が83.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が85.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が93.8%でもっとも割合が高くなっている。

図表 158 利用したことはないが興味がある\_就学援助費：単数回答（Q47-1D）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



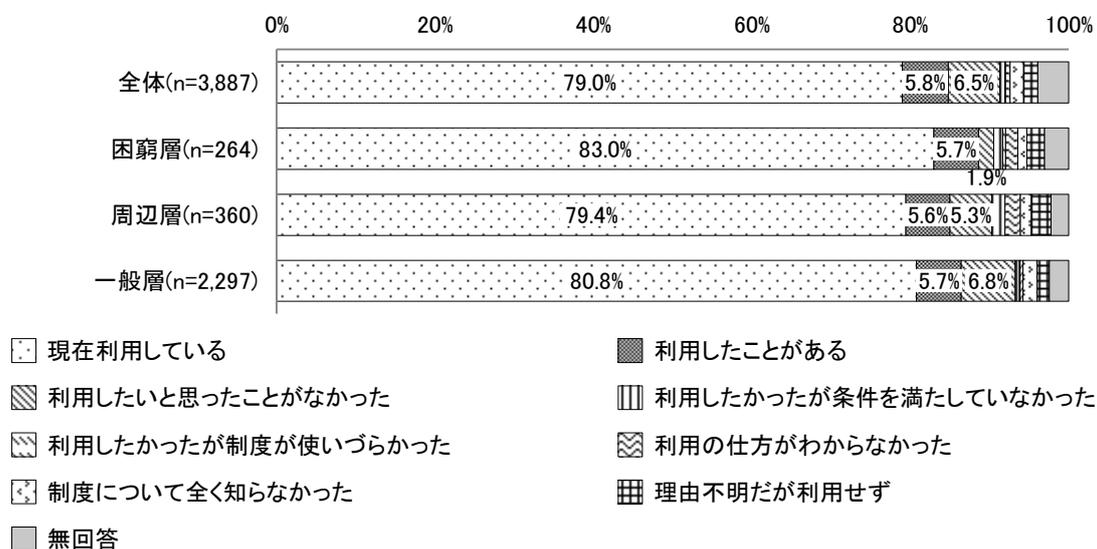
注) 対象は Q47D で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

## 21) 公的扶助、支援制度等\_子ども医療費助成

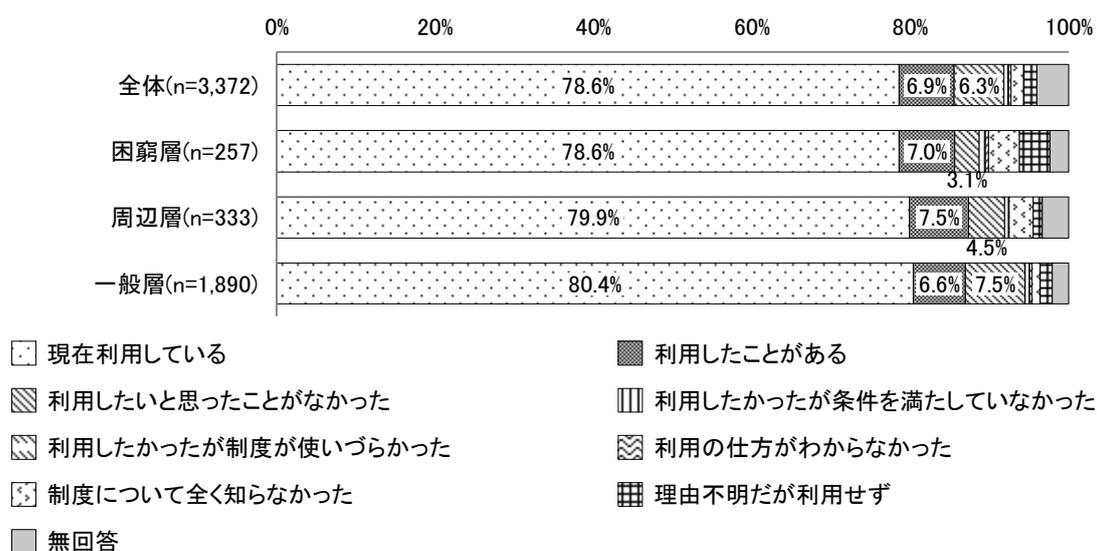
小学生の「全体」では、「現在利用している」が79.0%でもっとも割合が高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」が6.5%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が83.0%、「周辺層」では、「現在利用している」が79.4%、「一般層」では、「現在利用している」が80.8%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「現在利用している」が78.6%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことがある」が6.9%となっている。「困窮層」では、「現在利用している」が78.6%、「周辺層」では、「現在利用している」が79.9%、「一般層」では、「現在利用している」が80.4%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 159 公的扶助、支援制度等\_子ども医療費助成：単数回答（Q47E）（生活困難度別）  
 <小学生>（p<.01）



<中学生>（p<.01）



<数値表：小学生>

	合計	Q47E 公的扶助、支援制度等 子ども医療費助成								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,887	79.0	5.8	6.5	0.6	0.1	0.6	1.7	1.8	3.9
困窮層	264	83.0	5.7	1.9	1.1	0.4	1.5	1.1	2.3	3.0
周辺層	360	79.4	5.6	5.3	1.7	0.0	1.9	1.4	2.5	2.2
一般層	2,297	80.8	5.7	6.8	0.5	0.1	0.3	1.8	1.6	2.4

<数値表：中学生>

	合計	Q47E 公的扶助、支援制度等 子ども医療費助成								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,372	78.6	6.9	6.3	0.5	0.1	0.3	1.6	1.6	4.1
困窮層	257	78.6	7.0	3.1	0.8	0.0	0.4	3.9	3.9	2.3
周辺層	333	79.9	7.5	4.5	0.6	0.0	0.0	3.0	1.2	3.3
一般層	1,890	80.4	6.6	7.5	0.6	0.1	0.3	1.1	1.5	2.1

## 22) 利用したことはないが興味がある\_子ども医療費助成

小学生の「全体」では、「選択していない」が82.7%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が17.3%となっている。

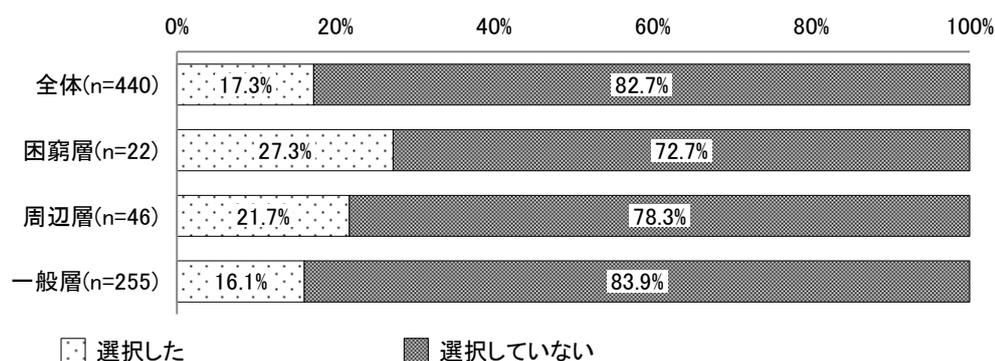
「困窮層」では、「選択していない」が72.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が78.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が83.9%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が82.9%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が17.1%となっている。

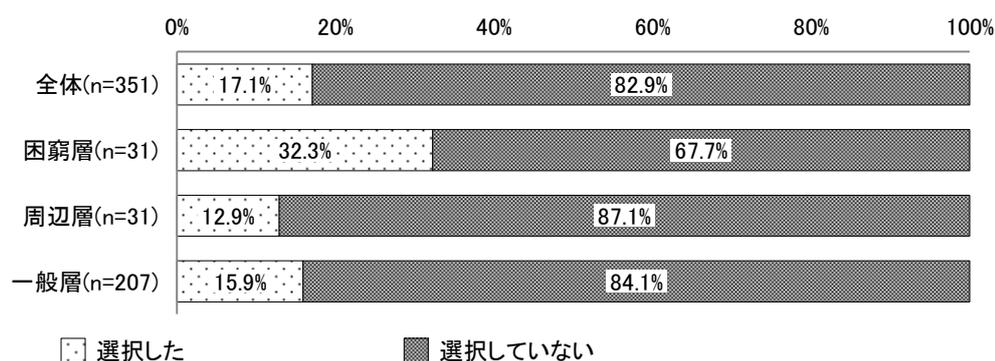
「困窮層」では、「選択していない」が67.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が87.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が84.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 160 利用したことはないが興味がある\_子ども医療費助成：単数回答（Q47-1E）（生活困難度別）

<小学生>（有意差なし）



<中学生>（有意差なし）



注) 対象は Q47E で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

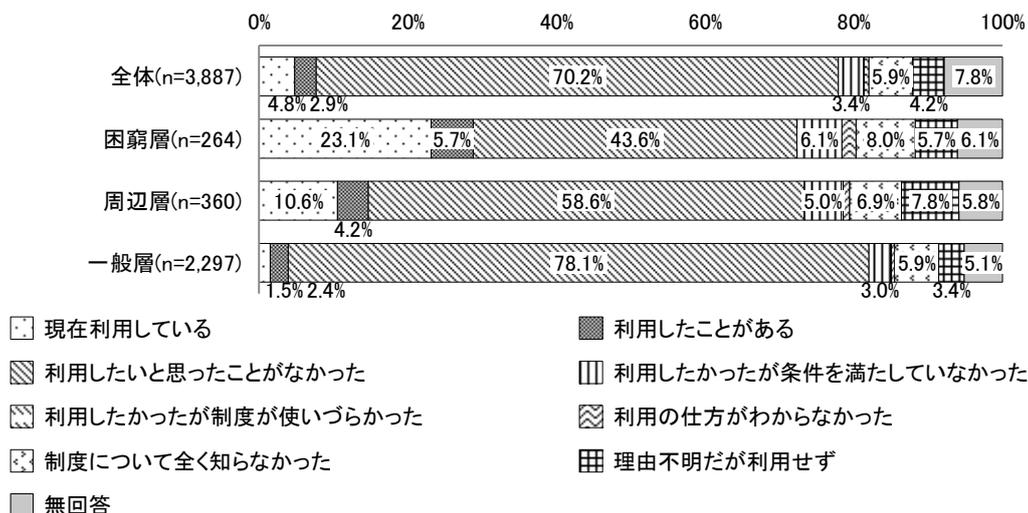
### 23) 公的扶助、支援制度等\_ひとり親家庭等医療費等助成

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が70.2%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が5.9%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が43.6%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が58.6%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が78.1%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

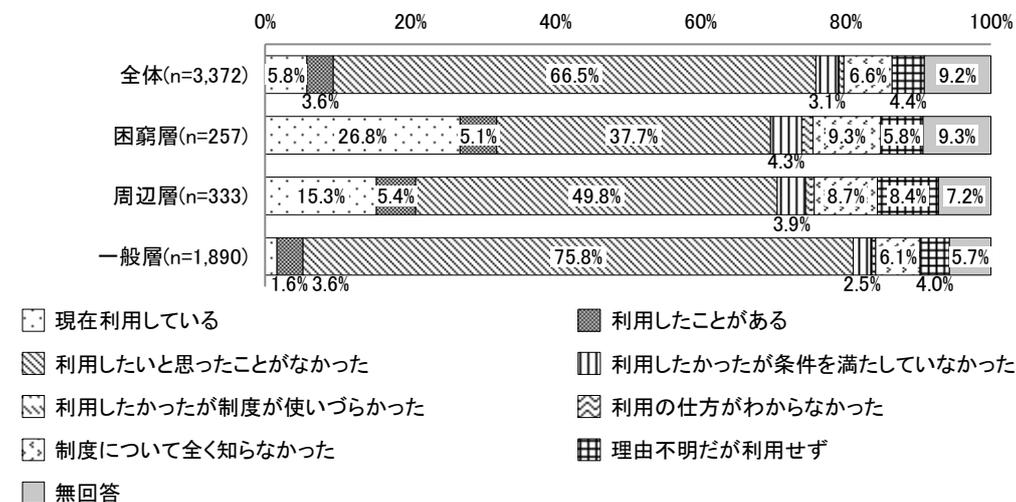
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が66.5%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が6.6%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が37.7%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が49.8%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が75.8%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 161 公的扶助、支援制度等\_ひとり親家庭等医療費等助成：単数回答（Q47F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



<数値表：小学生>

	合計	Q47F 公的扶助、支援制度等 ひとり親家庭等医療費等助成								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使えなかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,887	4.8	2.9	70.2	3.4	0.1	0.6	5.9	4.2	7.8
困窮層	264	23.1	5.7	43.6	6.1	0.0	1.9	8.0	5.7	6.1
周辺層	360	10.6	4.2	58.6	5.0	0.3	0.8	6.9	7.8	5.8
一般層	2,297	1.5	2.4	78.1	3.0	0.1	0.4	5.9	3.4	5.1

<数値表：中学生>

	合計	Q47F 公的扶助、支援制度等 ひとり親家庭等医療費等助成								
		現在利用している	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したが条件を満たしていなかった	利用したが制度が使えなかった	利用の仕方がわからなかった	制度について全く知らなかった	理由不明だが利用せず	無回答
全体	3,372	5.8	3.6	66.5	3.1	0.1	0.7	6.6	4.4	9.2
困窮層	257	26.8	5.1	37.7	4.3	0.0	1.6	9.3	5.8	9.3
周辺層	333	15.3	5.4	49.8	3.9	0.0	1.2	8.7	8.4	7.2
一般層	1,890	1.6	3.6	75.8	2.5	0.1	0.5	6.1	4.0	5.7

## 24) 利用したことはないが興味がある\_ひとり親家庭等医療費等助成

小学生の「全体」では、「選択していない」が94.8%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が5.2%となっている。

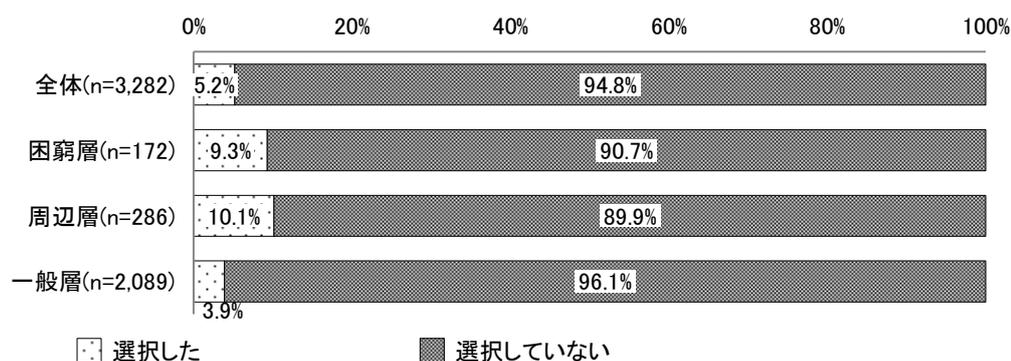
「困窮層」では、「選択していない」が90.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が89.9%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が96.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が94.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が5.8%となっている。

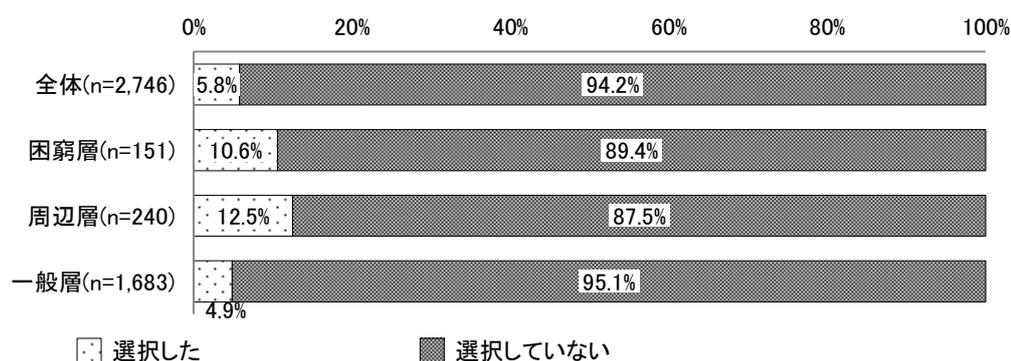
「困窮層」では、「選択していない」が89.4%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が87.5%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が95.1%でもっとも割合が高くなっている。

図表 162 利用したことはないが興味がある\_ひとり親家庭等医療費等助成：単数回答（Q47-1F）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



注) 対象は Q47F で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

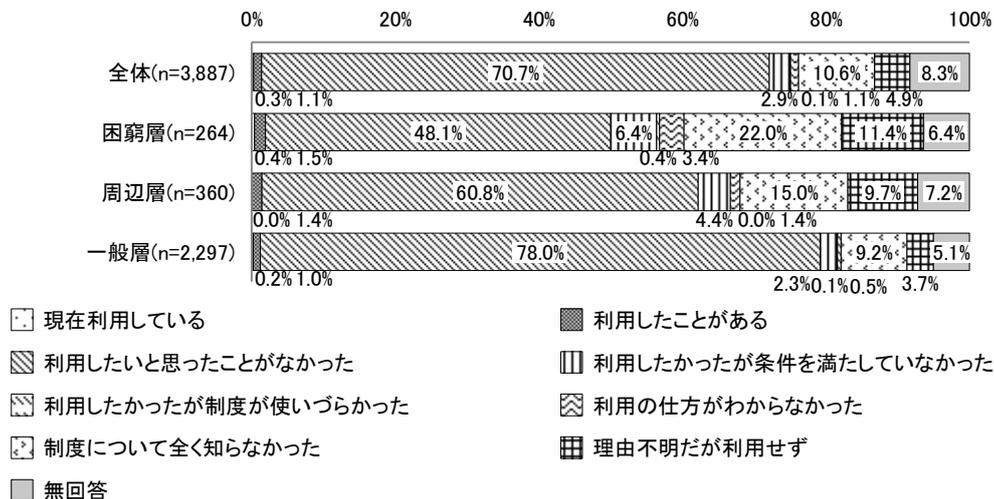
## 25) 公的扶助、支援制度等\_母子・父子・寡婦福祉資金

小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が70.7%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が10.6%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が48.1%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が60.8%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が78.0%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

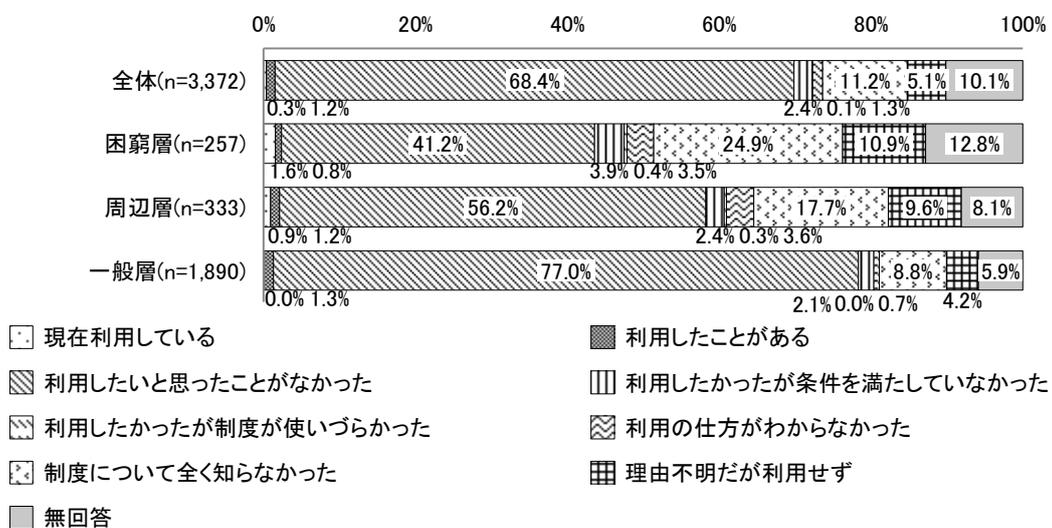
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が68.4%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が11.2%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が41.2%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が56.2%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が77.0%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 163 公的扶助、支援制度等\_母子・父子・寡婦福祉資金：単数回答 (Q47G)  
(生活困難度別)

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 26) 利用したことはないが興味がある\_母子・父子・寡婦福祉資金

小学生の「全体」では、「選択していない」が94.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が5.8%となっている。

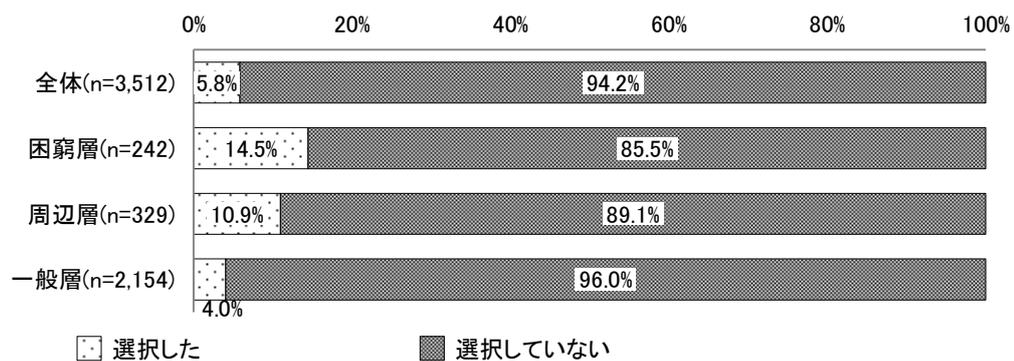
「困窮層」では、「選択していない」が85.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が89.1%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が96.0%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が93.9%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.1%となっている。

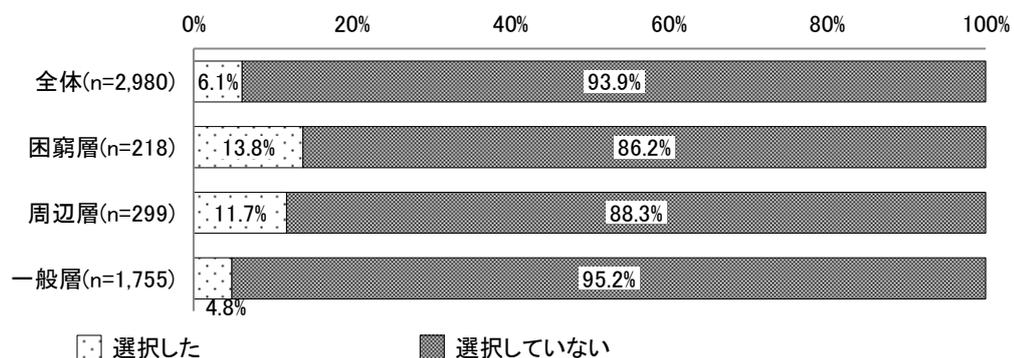
「困窮層」では、「選択していない」が86.2%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が88.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が95.2%でもっとも割合が高くなっている。

図表 164 利用したことはないが興味がある\_母子・父子・寡婦福祉資金：単数回答（Q47-1G）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



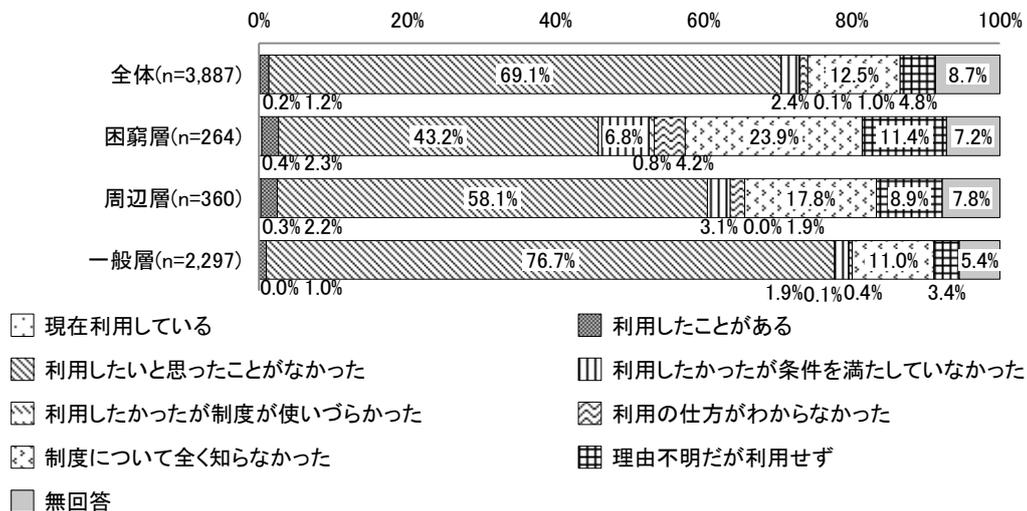
注) 対象は Q47G で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

## 27) 公的扶助、支援制度等\_生活福祉資金

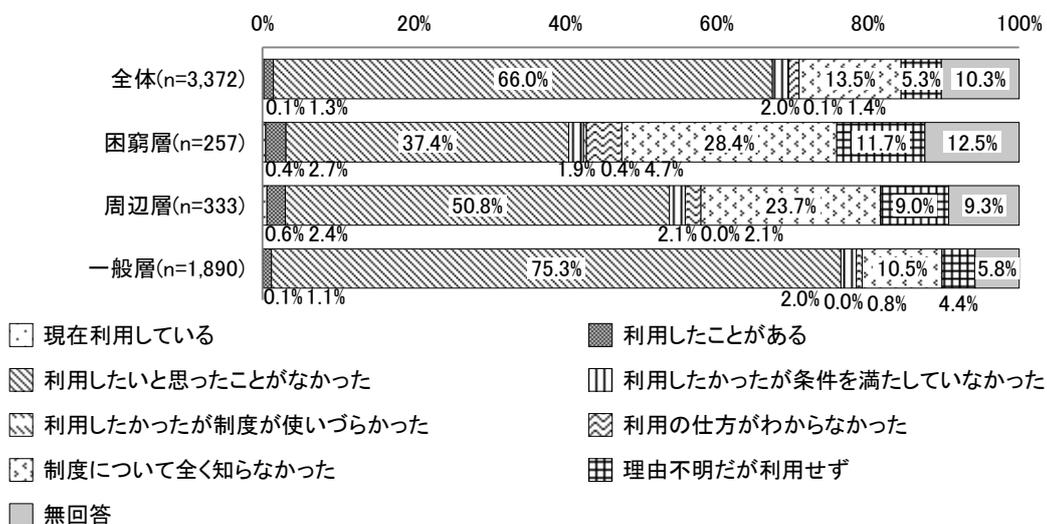
小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が69.1%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が12.5%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が43.2%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が58.1%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が76.7%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が66.0%でもっとも割合が高く、次いで「制度について全く知らなかった」が13.5%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が37.4%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が50.8%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が75.3%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 165 公的扶助、支援制度等\_生活福祉資金：単数回答（Q47H）（生活困難度別）  
 <小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



## 28) 利用したことはないが興味がある\_生活福祉資金

小学生の「全体」では、「選択していない」が94.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が5.8%となっている。

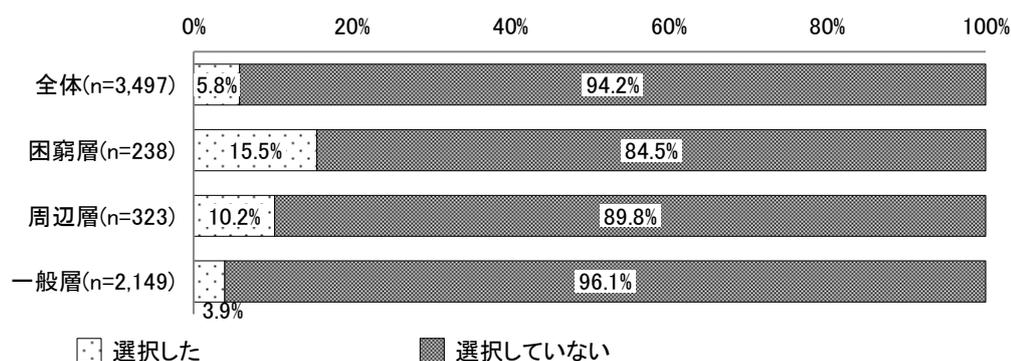
「困窮層」では、「選択していない」が84.5%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が89.8%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が96.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「選択していない」が93.4%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が6.6%となっている。

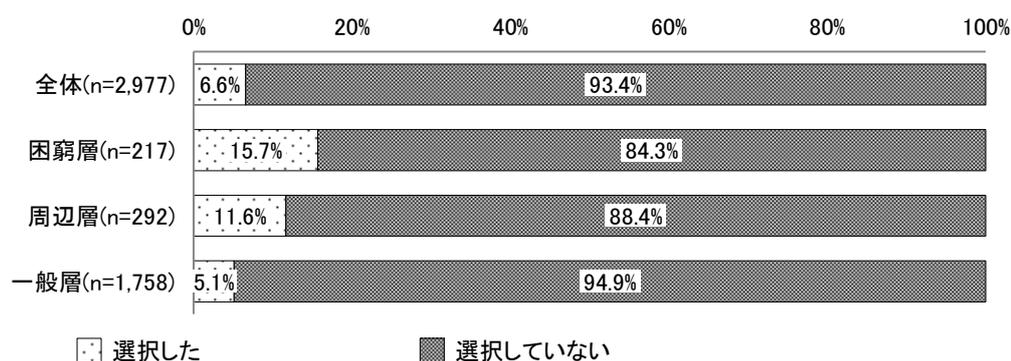
「困窮層」では、「選択していない」が84.3%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が88.4%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が94.9%でもっとも割合が高くなっている。

図表 166 利用したことはないが興味がある\_生活福祉資金：単数回答（Q47-1H）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



注) 対象は Q47H で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

## 29) 公的扶助、支援制度等\_生活保護

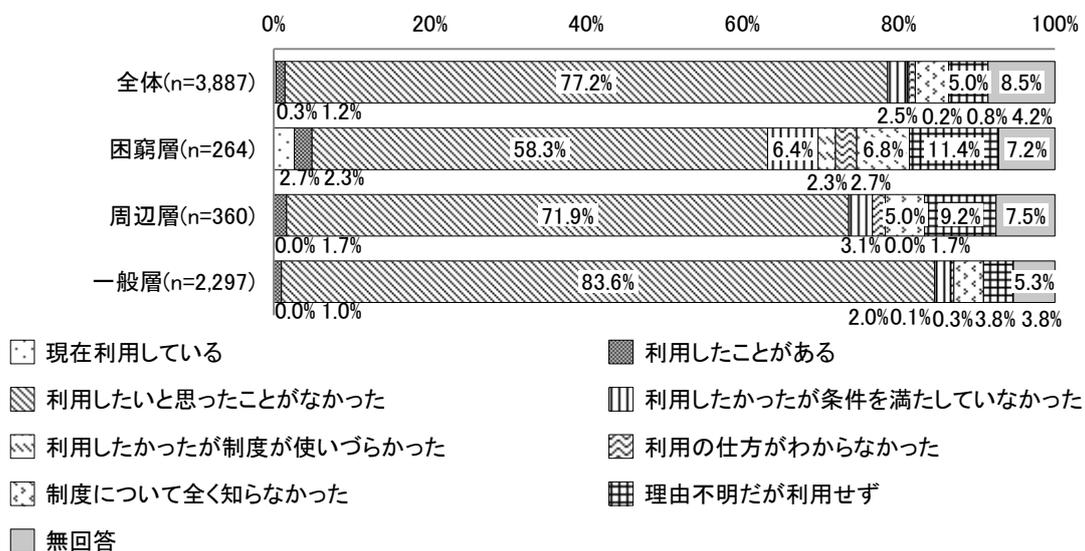
小学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が77.2%でもっとも割合が高く、次いで「理由不明だが利用せず」が5.0%となっている。

「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が58.3%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が71.9%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が83.6%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

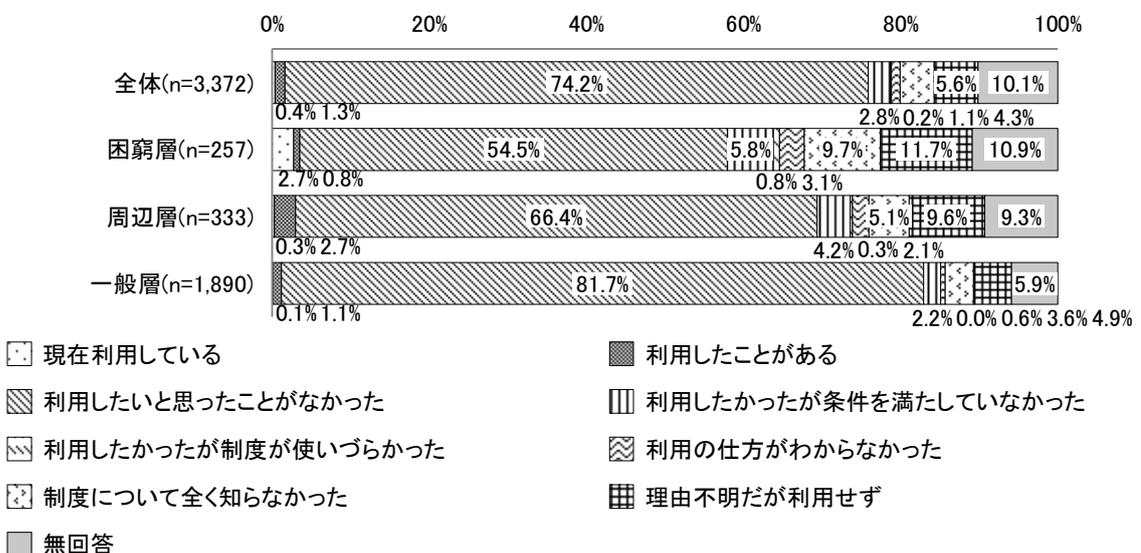
中学生の「全体」では、「利用したいと思ったことがなかった」が74.2%でもっとも割合が高く、次いで「理由不明だが利用せず」が5.6%となっている。「困窮層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が54.5%、「周辺層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が66.4%、「一般層」では、「利用したいと思ったことがなかった」が81.7%でそれぞれもっとも割合が高くなっている。

図表 167 公的扶助、支援制度等\_生活保護：単数回答（Q47I）（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



### 30) 利用したことはないが興味がある\_生活保護

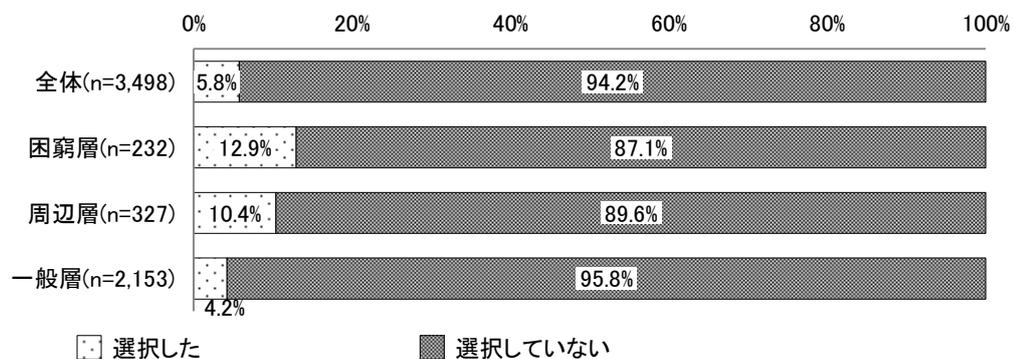
小学生の「全体」では、「選択していない」が 94.2%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が 5.8%となっている。

「困窮層」では、「選択していない」が 87.1%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が 89.6%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が 95.8%でもっとも割合が高くなっている。

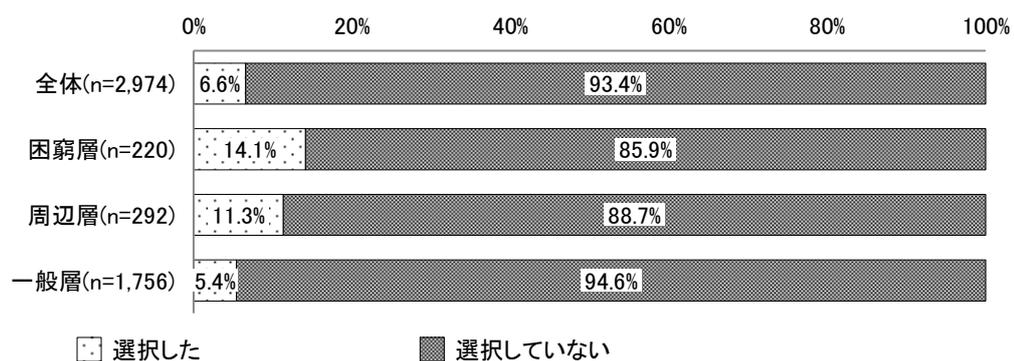
中学生の「全体」では、「選択していない」が 93.4%でもっとも割合が高く、次いで「選択した」が 6.6%となっている。

「困窮層」では、「選択していない」が 85.9%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「選択していない」が 88.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「選択していない」が 94.6%でもっとも割合が高くなっている。

図表 168 利用したことはないが興味がある\_生活保護：単数回答（Q47-1I）（生活困難度別）  
 <小学生>（ $p<.01$ ）



<中学生>（ $p<.01$ ）



注) 対象は Q47I で「現在利用している」「利用したことがある」以外を選択した者に限定

### 31) 公的機関への相談状況\_市役所、町村役場の窓口

小学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 61.1%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 25.5%となっている。

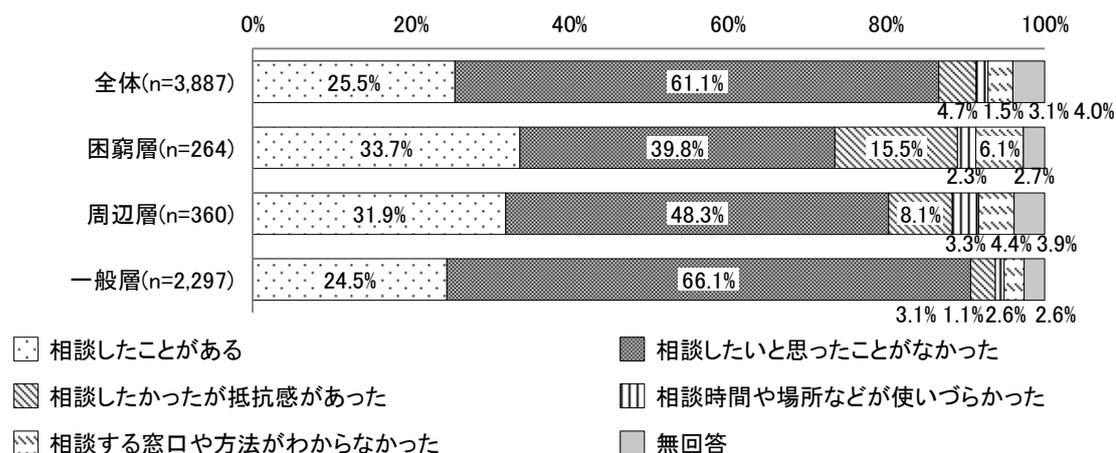
「困窮層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 39.8%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 48.3%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 66.1%でもっとも割合が高くなっている。

中学生の「全体」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 61.7%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことがある」が 24.4%となっている。

「困窮層」では、「相談したことがある」が 37.7%でもっとも割合が高くなっている。「周辺層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 57.7%でもっとも割合が高くなっている。「一般層」では、「相談したいと思ったことがなかった」が 69.0%でもっとも割合が高くなっている。

図表 169 公的機関への相談状況\_市役所、町村役場の窓口：単数回答（Q48A）  
（生活困難度別）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)

